

DS 4

取扱説明書



DS AUTOMOBILES



ごあいさつ

このたびはDS4をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、DS4 の取り扱いについて記載してあります。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。

本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。

車に添え付けられているメンテナンスノート(整備手帳)は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。



おことわり

- ・ 本書は、欧州で発売されている車をもとに作成しております。
また、車の改良のために予告なく仕様が変更されることがあります。
- ・ したがって、本書に掲載されている写真、イラスト、仕様などの記載内容が実際の車と異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書は、紙面の都合上、右ハンドル車を例にとりて説明しています。左ハンドル車では、イラストや写真が実際の車と異なることがあります。
- ・ 本書は、DS4 シリーズで採用している装備の使用方法を解説するもので、個々の装備の装着の有無を保証するものではありません。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。

また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた 3 種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

警告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

注意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。



取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

 このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる（死亡や傷害の）おそれがあることを示しています。

はじめに

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

DS4 に使用する消耗品やアクセサリー類は、当社の純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類のなかには、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。DS シリーズ車本来の安全性や耐久性を損なわないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

DS4 の非合法的な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがあります。また、車の保証修理が受けられなくなることがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、当社指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。当社純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故にいたるおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、当社指定サービス工場にご相談ください。

また、当社が供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいは当社の指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故等に関わる損害の補償をいたしません。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車(廃車)を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。

具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質(フロン等)の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社(輸入事業者を含む)、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

●リサイクルへの取り組み

当社では、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。

DS4 は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。

車の総重量のうち、90% は何らかの形でリサイクルすることが可能です。

すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。

金属部品も同様に、100% の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。

なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

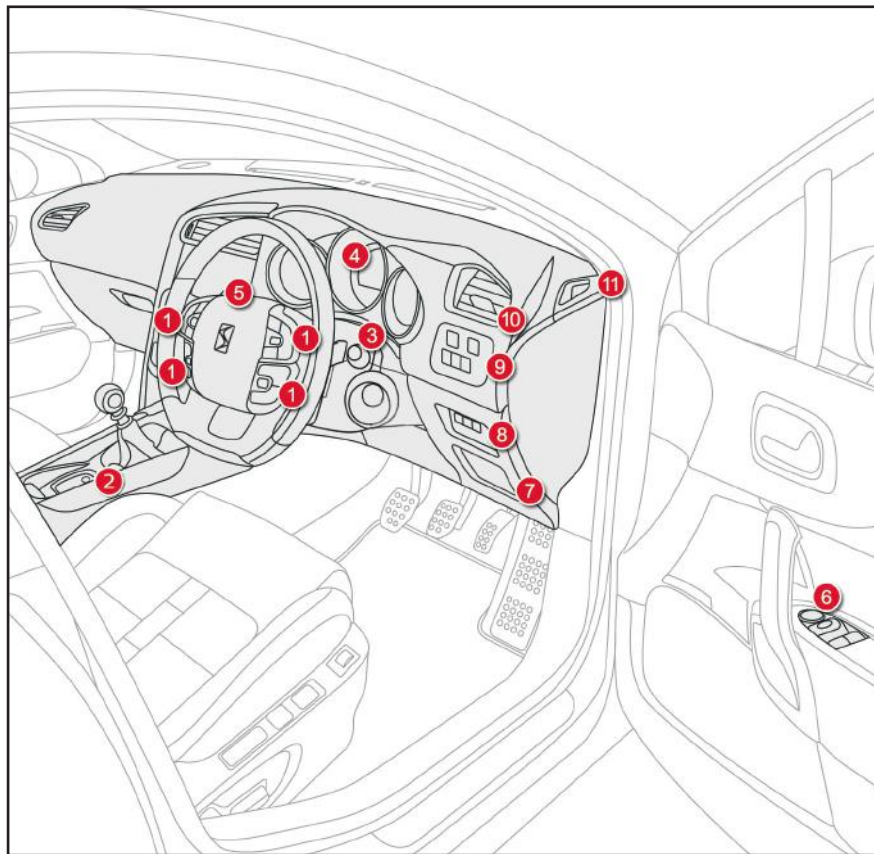
当社指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。

当社指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。

特にエアコンに使用されている冷媒ガス(フロン：HFC134a)は、地球温暖化につながるため大気に放出してはなりません。回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。

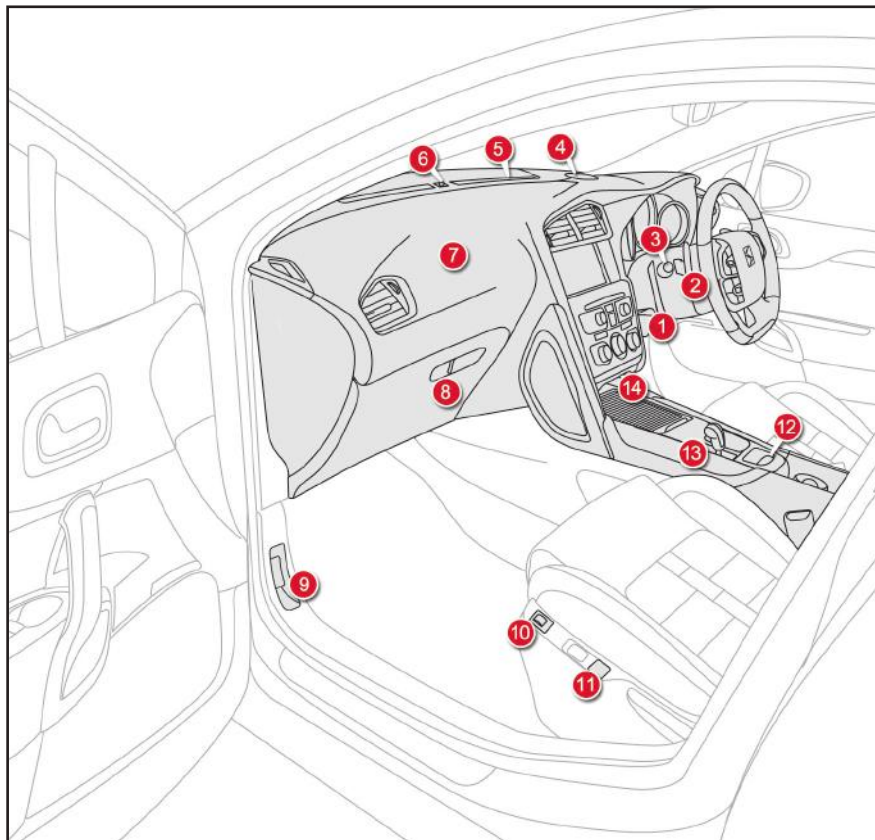
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

DS4 操作・使用方法早わかり



- ①：ステアリングスイッチ
- ②：START/STOP スイッチ
- ③：トリップコンピューター、ワイパーコントロールレバー
- ④：インストルメントパネル
- ⑤：運転席エアバッグ、ホーン
- ⑥：パワーウィンドウスイッチ、電動ドアミラースイッチ
- ⑦：小物入れ
- ⑧：チャイルドセーフティスイッチ
- ⑨：フュエルリッドスイッチ、ESC キャンセルスイッチ、パーキングアシスタンスキャンセルスイッチ、ECO OFF スイッチ、ブラインドスポットモニタースイッチ
- ⑩：ダッシュボード吹き出し口
- ⑪：サイドウィンドウ吹き出し口

本書のイラストは日本仕様ではないため、実車と異なることがあります。

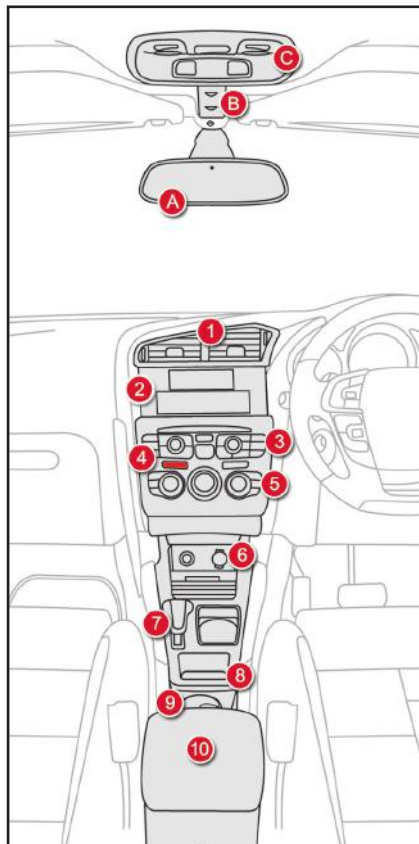


- ①：ステアリング位置調節ロックレバー
- ②：パドルスイッチ *
- ③：ライトコントロールスイッチ、方向指示器スイッチ、フォグランプスイッチ
- ④：スピーカー（Tweeter）
- ⑤：フロントウィンドウ吹き出し口
- ⑥：日射センサー
- ⑦：助手席エアバッグ
- ⑧：グローブボックス、助手席エアバッグキャンセルスイッチ、ヒューズボックス
- ⑨：ボンネット解除レバー
- ⑩：フロントシートヒーター *
- ⑪：アクティブランバーサポートスイッチ
- ⑫：エレクトリックパーキングブレーキ
- ⑬：シフトレバー *
- ⑭：シガーライター*、12V 電源ソケット *

* 仕様により異なります。

本書のイラストは日本仕様ではないため、実車と異なることがあります。

DS4 操作・使用方法早わかり



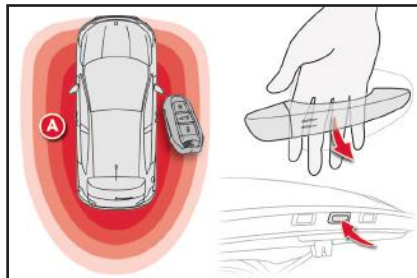
- A: バックミラー
B: アンビエンスイルミネーション
C: ルームランプ、マップランプ

- ①: ダッシュボード中央吹き出し口
②: 小物入れ
③: オーディオパネル *
④: センタースイッチパネル
⑤: エアコンパネル
⑥: シガーライター* / 12V 電源ソケット *
⑦: シフトレバー *
⑧: エレクトリックパーキングブレーキ
⑨: 灰皿 *
⑩: 小物入れ * / フロントアームレスト *

* 仕様により異なります。

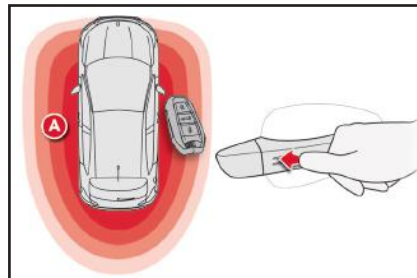
本書のイラストは日本仕様ではないため、実車と異なることがあります。

スマートキー (→ P.2-2)



車の解錠

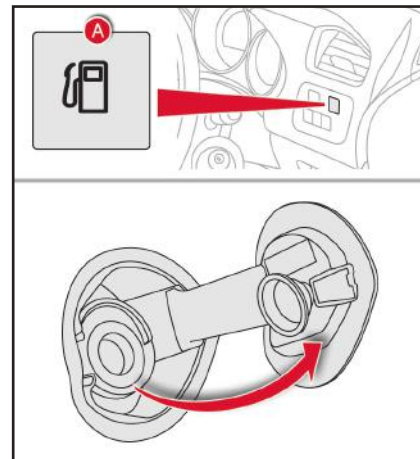
車両周辺の検知エリア **A** 内でスマートキーを携帯してフロントドアハンドルに手を通す、またはテールゲートのスイッチを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。



車の施錠

車両周辺の検知エリア **A** にスマートキーがあるときに、フロントドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

●フュエルリッド (給油口) (→ P.2-17)



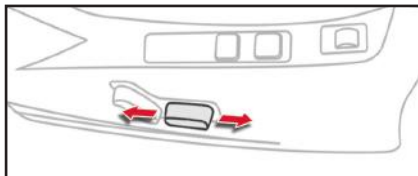
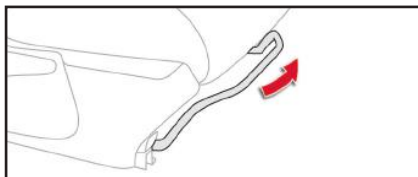
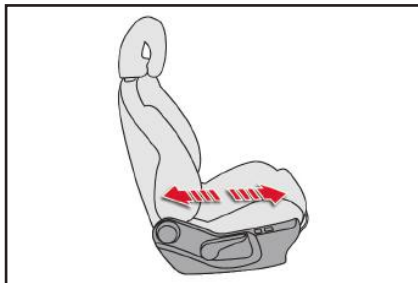
スイッチ **A** を押すとフュエルリッドが自動的に開きます。

燃料タンクの容量は約 60 リットルです。

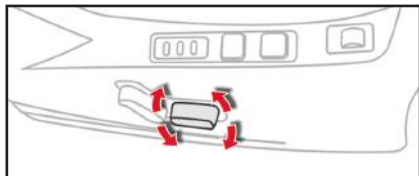
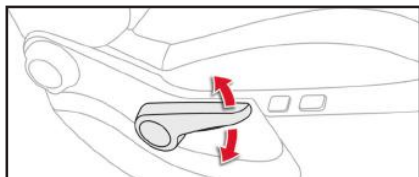
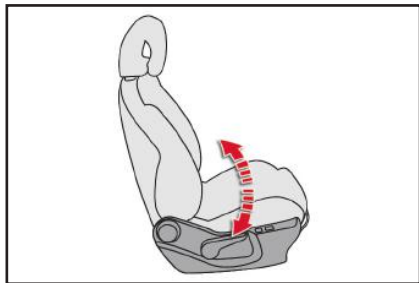
DS4 操作・使用方法早わかり

●フロントシートの調整 (→ P. 1-2)

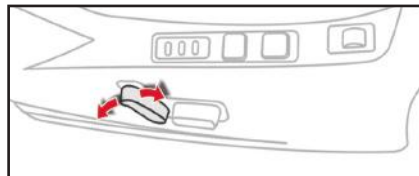
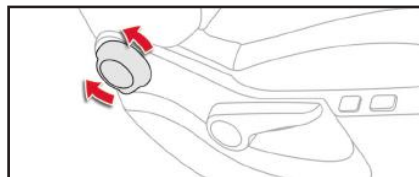
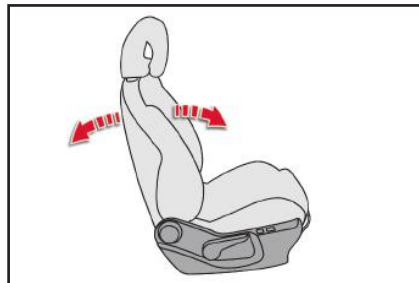
シートの前後調整



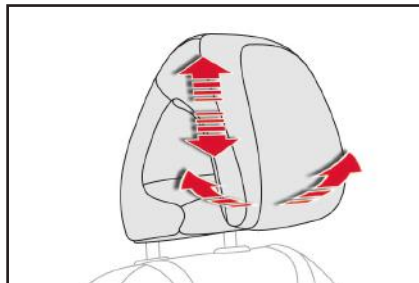
シートの高さ調整



バックレストの角度調整

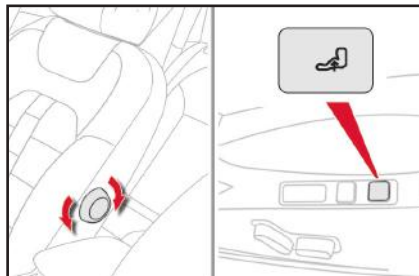


●フロントヘッドレストの調整 (→ P. 1-4)



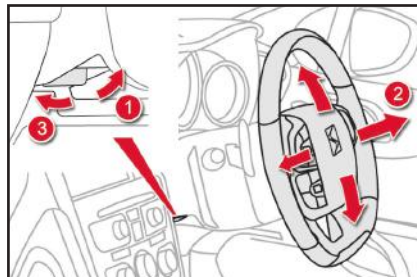
ヘッドレストの上端と乗員の頭の上が揃うように、ヘッドレストを上下および前後に動かして調整します。

●ランバーサポート (→ P. 1-5)



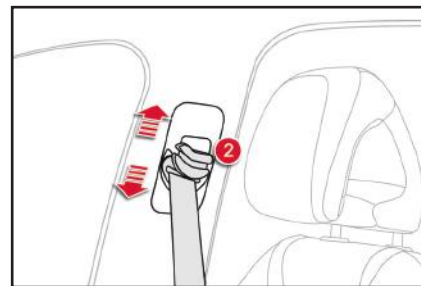
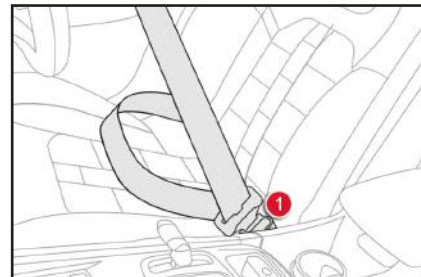
ダイヤルを回す、またはスイッチの前後を押して調整します。

●チルトステアリング (→ P. 3-4)



1. チルトステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングの高さ、奥行きを調整します。
3. チルトステアリングをロックします。

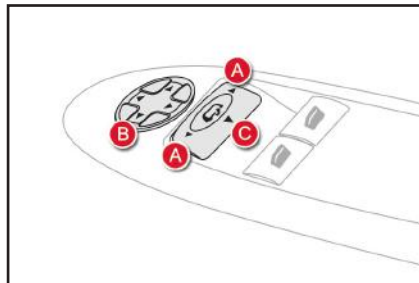
●フロントシートベルト (→ P. 1-10)



1. シートベルトのプレートバックルに差し込みます。
2. シートベルトの高さを調整します。

DS4 操作・使用方法早わかり

●電動ドアミラー (→ P. 1-6)



ドアミラーの調整

1. スイッチ **C** を、調整するドアミラー側 (**A**) に動かします。
2. スイッチ **B** で角度を調整します。
3. スイッチ **C** を中央の位置に戻します。

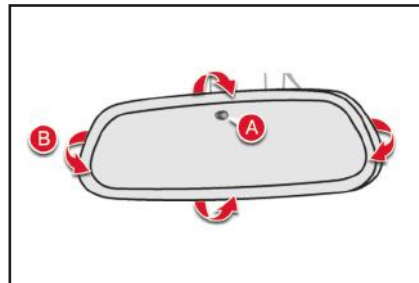
ドアミラーの格納

スイッチ **C** を中央にして手前に引きま
す。

後退時のミラー位置自動調整

シフトレバーを **R** に入れると、あらかじめ設定した位置にドアミラーの角度が変化し、後方側面が見やすくなります。

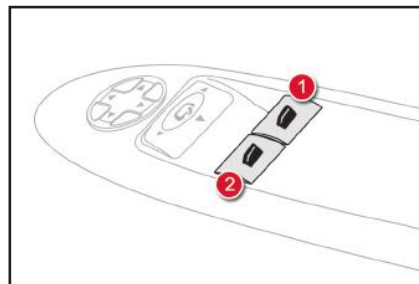
●バックミラーの調整 (→ P. 1-7)



A. 自動防眩センサー

B. ミラー角度調整

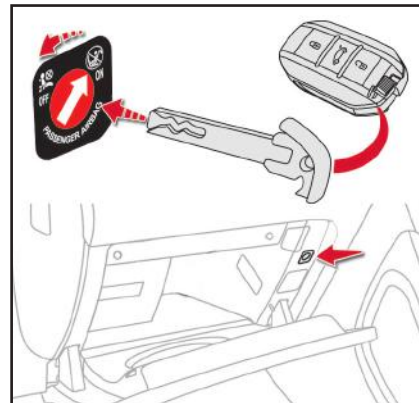
●パワーウィンドウ (→ P. 2-11)



①: 運転席側ウィンドウ開閉スイッチ

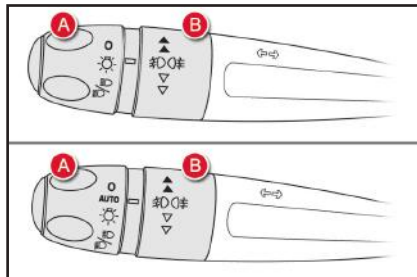
②: 助手席側ウィンドウ開閉スイッチ

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ (→ P.1-19)



1. グローブボックスを開きます。
2. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチにキーを差し込みます。
4. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは前向きチャイルドシートを取り付けた場合、 **ON** にします。後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には必ず **OFF** にします。
5. そのまま緊急用キーを抜きます。

●ライトスイッチ (→ P.4-19)



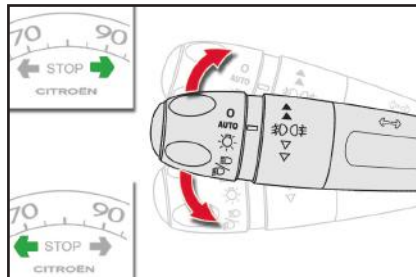
リング A

-  すべてのライトが消灯します。
-  オートライトが機能します。*
-  ポジションランプおよびテールランプが点灯します。
-  ロービームが点灯します。ハイビームに切り換える場合はスイッチレバーを手前に引きます。

リング B

-  フロントフォグランプ、リアフォグランプが点灯／消灯します。

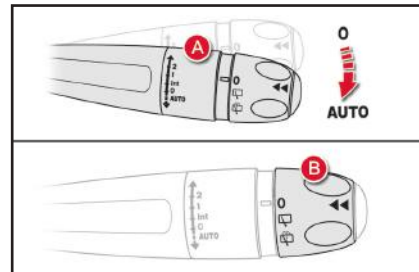
●方向指示器 (→ P.4-26)



ライトスイッチレバーを上下に動かします。

車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして離すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●ワイパー／ウォッシャー (→ P.4-27)



レバー A フロントワイパー

AUTO モードにする

レバー A を押し下げます。

AUTO モードを解除する

レバー A を再び下げると AUTO モードが解除されます。

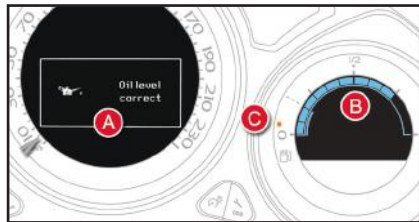
リング B リアワイパー

-  停止
-  間欠作動
-  ウォッシャー

* 仕様により異なります。

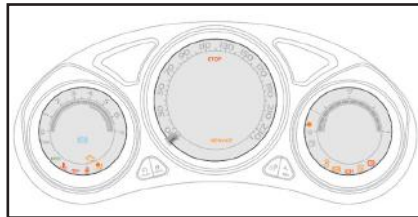
DS4 操作・使用方法早わかり

●インストルメントパネル (→ P.4-2)



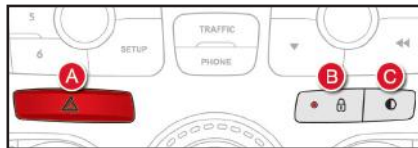
- A. イグニッションがオンになるとオイルの量が適切であることを示す **Oil level correct** が数秒間点灯します。
- B. イグニッションがオンになると、燃料計のバーが残量を表示します。
- C. エンジンがかかると、燃料残量警告灯が消灯します。
(燃料不足の場合を除く)

●警告灯 (→ P.4-8)



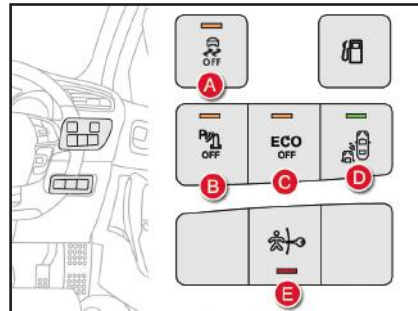
イグニッションをオンにすると、オレンジと赤の警告灯が点灯します。エンジンがかかっても消灯しないランプがあれば、その箇所に異常があることがあります。当社指定サービス工場にご相談ください。

●センタースイッチパネル



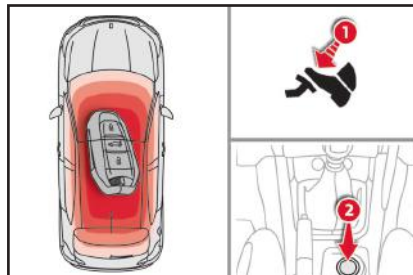
- A. **ハザードランプスイッチ** (→ P.4-26)
ハザードランプを作動します。
- B. **集中ドアロックスイッチ** (→ P.2-10)
ドアを施錠／解錠します。
- C. **ブラックパネルスイッチ** (→ P.4-19)
インストルメントパネルの照明をオン／オフします。

●サイドスイッチパネル



- A. **ESC キャンセルスイッチ** (→ P.3-17)
ESC / ASR の機能を OFF にします。
- B. **パーキングアシスタンスキャンセルスイッチ** (→ P.3-36)
パーキングアシスタンスをキャンセルします。
- C. **ECO OFF スイッチ** (→ P.3-23)
ストップ & スタートをキャンセルします。
- D. **ブラインドスポットモニタースイッチ** (→ P.3-26)
ブラインドスポットモニターをオン／オフします。
- E. **チャイルドセーフティスイッチ** (→ P.2-13)
チャイルドセーフティをオン／オフします。

エンジンの始動 (→ P.3-2)



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトレバーを **P** または **N** の位置にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダル①およびクラッチペダル（マニュアル車）を踏みながら **START/STOP** スイッチ②を押します。

5. スターターが回り、エンジンが始動します。

ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します



●エンジンの停止

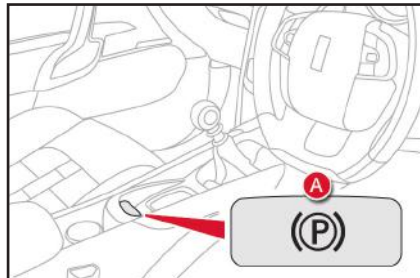
1. 車を完全に止めます。
シフトレバーを **P** または **N** の位置にします。
2. **START/STOP** スイッチを押します。
3. エンジンが停止し、ステアリングがロックされます。

START/STOP スイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリーポジション	ペダルを踏まずに、 START/STOP スイッチを押します。スイッチを押すたびに、イグニッションのオン/オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルおよびクラッチペダル(マニュアル車)を踏みながら、 START/STOP スイッチを押します。	エンジンが始動します。ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

DS4 操作・使用方法早わかり

●エレクトリックパーキングブレーキ (→ P.3-9)



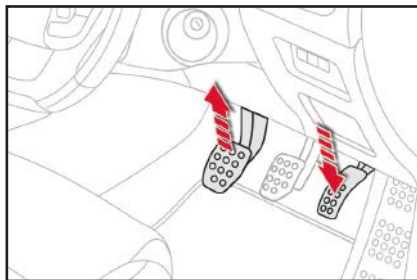
手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチ **A** を手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中にブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチ **A** を手前に引いて放すと、パーキングブレーキが解除されます。



エンジンをかけたまま車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。



自動作動

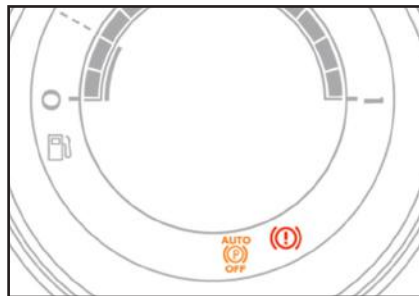
エンジンが停止すると自動的にパーキングブレーキがかかります。踏み込んだクラッチペダルを徐々に戻しながら（マニュアル車）アクセルペダルを踏んで発進すると自動的にパーキングブレーキが解除されます。



表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

⚠ 警告

エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態、お子さまを車内に残して車を離れないでください。



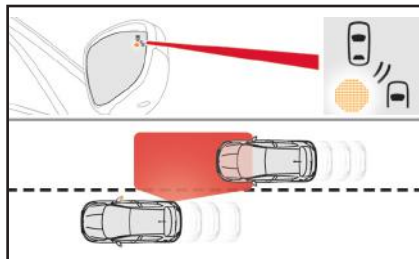
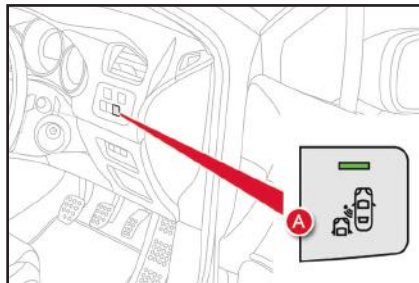
パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ **A** のインジケーターが点灯します。また、マルチファンクションディスプレイに

“Parking brake applied（パーキングブレーキ作動）”と表示されます。

⚠ 警告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ **A** のインジケーターが点灯していることを確認してください。

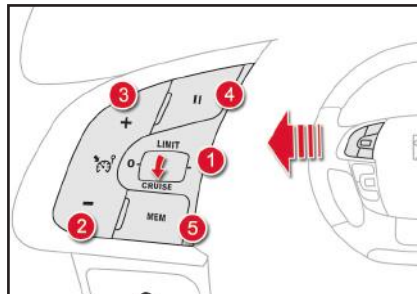
●ブラインドスポットモニター (→ P.3-26)



ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が入り込んだ際に、その存在を検知するシステムです。

イグニッションがオンのときにスイッチ **A** を押すとインジケータが点灯し、システムが作動します。

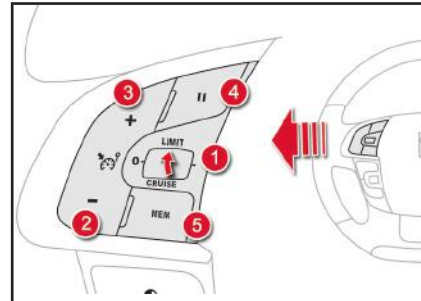
●クルーズコントロール (→ P.3-29)



- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：速度設定／設定速度の減少
- ③：速度設定／設定速度の増加
- ④：システムのオン／オフ
- ⑤：登録されている速度の呼び出し

速度の設定およびシステムの作動は、4速 (MT 車)、2 速 (オートマチック車) 以上で、時速 40km 以上のときに可能です。

●スピードリミッター (→ P.3-32)



- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：設定速度の減少
- ③：設定速度の増加
- ④：システムのオン／オフ
- ⑤：登録されている速度の呼び出し

エンジン運転時に設定してください。

目 次

安全なドライブについて	
安全装置について	
運転装置について	
もしものとき	
その他	

第 1 章 安全に運転するために

フロントシート	1-2
ミラー	1-6
リアシート	1-8
シートベルト	1-10
チャイルドシート	1-13
エアバッグ	1-18
走行する前に	1-23
使用燃料について	1-23
冬季の取り扱い	1-24
保安炎筒	1-25
触媒コンバーター	1-25

第 2 章 各部の開閉のしかた

スマートキー	2-2
イモビライザー（盗難防止システム）	2-8
ドア／ドアロック	2-9
パワーウィンドウ	2-11
チャイルドセーフティ	2-13
パノラミックフロントウィンドウ	2-14

ボンネット	2-15
テールゲート	2-16
フュエルリッド（給油口）	2-17

第 3 章 運転装置の使いかた

エンジンの始動	3-2
ステアリング／ホーン	3-4
6速マニュアルトランスミッション	3-5
オートマチックトランスミッション（シフトレバー）	3-6
エレクトリックパーキングブレーキ	3-9
ヒルスタートアシスタンス	3-13
ブレーキ／ABS	3-16
ESC／ASR（エレクトロニックスタビリティプログラム／アンチスケーティングレギュレーション）	3-17
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）	3-19
FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター） （ディーゼル車）	3-22
ストップ&スタート	3-23
ブラインドスポットモニター	3-26
クルーズコントロール／スピードリミッター	3-29
パーキングスペースセンサー	3-35
パーキングアシスタンス	3-36

第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストールメントパネル	4-2
表示灯類	4-4
警告灯類	4-8
エンジン油量インジケーター	4-15
サービスインジケーター	4-16
インストールメントパネルの調整（リセット、 マニュアルチェック、色／音の変更、明るさ調整）	4-18
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、 ハザードランプ）	4-19
ワイパー／ウォッシャー	4-27
マルチファンクションディスプレイ	4-30
ドライブコンピューター	4-33

第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー	5-2
ルームランプ	5-8
インテリア	5-11
ラゲッジルーム	5-16

第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-2
エンジンルームの点検	6-3

電球の交換	6-8
ヒューズの交換	6-14
燃費の改善について	6-18
推奨交換時期	6-19
油脂類容量	6-19
推奨油脂類	6-19
推奨点検時期	6-20

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換	7-2
パンク修理キット	7-6
バッテリーが上がったとき	7-12
けん引されるとき	7-15
AdBlue®（尿素水）の補充（ディーゼル車）	7-17
燃料切れしたとき（ディーゼル車）	7-18

車両データ・アクセサリ類・索引

識別表示	8-2
外形寸法	8-3
アクセサリ類	8-4
索引	8-5

安全のために

重大な事故や車両火災に及ぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

- ・ 車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- ・ 日常点検を行い異常があるときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

- ・ 燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車場で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。

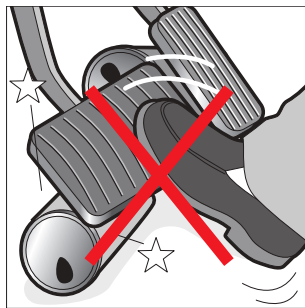


- ・ エンジンルーム内に燃えやすい物の置き忘れに注意してください。引火のおそれがあります。車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝等がないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

安全なドライブについて

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

- ・ 空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。



フロアマットはしっかりと固定して使用してください

- ・ 運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにもものを取り付けたり、置かないでください

- ・ ダッシュボードなどにもものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ また、アクセサリ品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリ品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。



荷物は確実に固定してください

- ・ 助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリ品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。
- ・ 荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

- ・ 燃料は、ガソリン車には無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン、ディーゼル車には超低硫黄軽油（サルファーフリー／S10ppm 以下）を給油してください。
- ・ ガソリン車に有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。
- ・ ディーゼル車に指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続けることがあります。また、FAP（ディーゼルパーティキュレートフィルター）の故障につながるおそれがあります。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず止めて、ドアやウィンドウを閉めます。タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッドを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
4. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
5. 給油時に気化した燃料を吸いこまないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
6. 給油後は、フュエルリッドが確実に閉まっていることを確認してください。
7. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

安全なドライブについて

走行するときの注意

走行中は START/STOP スイッチを押さないでください

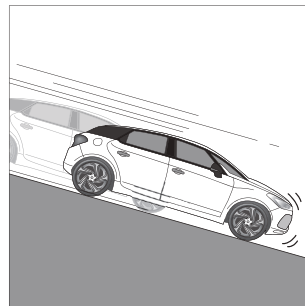
- ・ 走行中に **START/STOP** スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置やパワーステアリングが働きません。
そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなります。また、自動的にパーキングブレーキがかかったり、ハンドルがロックされたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ*を併用してください

- ・ ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なギアを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ

走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安全なドライブについて

車を移動するときはエンジンをかけてください。

- ・ エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなります。ハンドルがロックされて操作ができなくなることもあります。

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください

- ・ ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

- ・ ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。
- ・ ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。



カーナビゲーションシステム等の操作は停車時に行ってください

- ・ 運転中にカーナビゲーションシステム等を操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

安全なドライブについて

雨天の走行は次のことに注意してください

- ・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- ・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象*を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

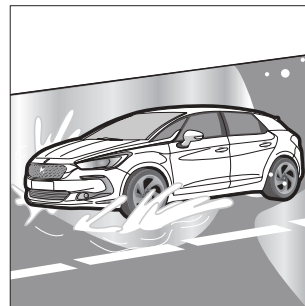
* ハイドロプレーニング現象

水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

- ・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

- ・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が 15cm を超えるような場合は走行しないでください。

- ・ストップ&スタートを解除する
 - ・エンストしない程度に速度を落とし、時速 10km 以上で走行しない
 - ・車を停止したり、エンジンを停止したりしない
- 冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。お車の状態に不安がある場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

安全なドライブについて

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

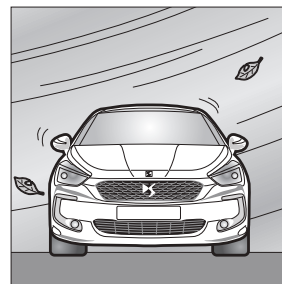
- ・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
- ・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

- ・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンプレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとって低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

- ・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
- ・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。



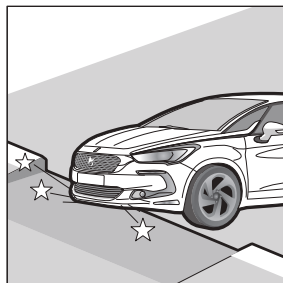
高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

- ・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
- ・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
- ・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

安全なドライブについて

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

- ・ 段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
- ・ フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

- ・ バックミラーには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

安全なドライブについて

お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

- ・ お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置のいたずらなど事故につながるおそれがあります。
- ・ また、万一の事故などで助手席のSRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

- ・ お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。



安全なドライブについて

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください

(→ P.1-13)

- ・チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。
お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合った当社純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
- ・取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
- ・やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を中間部に移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを**OFF**にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
- ・当社純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、当社販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウなどの開閉は大人が操作してください

- ・ドアやウィンドウなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などをはさみ、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
- ・後席にいるお子さまが操作できないように、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能を必ずご利用ください。

ウィンドウから手や顔を出さないでください

- ・急ブレーキ時に窓枠にぶついたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

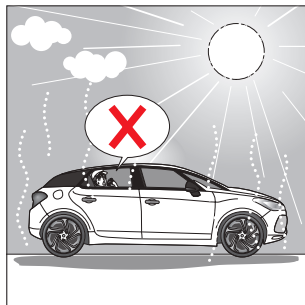
シートの可動部分に気をつけてください

- ・お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
- ・走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

安全なドライブについて

お子さまだけを車内に残さないでください

- ・ 車から離れるときは、エンジンを止め、キーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
- ・ お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 炎天下の車内は 50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

- ・ 紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
- ・ 車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けしないでください

- ・ 車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなる場合がありますが異常ではありません。

安全なドライブについて

車から離れるときはエンジンを止め、施錠してください

- ・ シフトレバーをN（ニュートラル：マニュアル車）またはP位置（オートマチック車）にし、エンジンを止めてパーキングブレーキがかかっていることを確認してからドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、状況に応じてタイヤに輪止めをしてください。

貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。

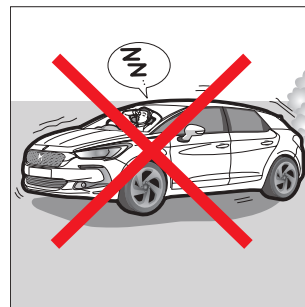
- ・ お子さまや介護の必要な方を車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

- ・ 車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
- ・ 車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
- ・ ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
- ・ ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
- ・ メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあります危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを止めてください

- ・ 無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
- ・ エンジンや排気管の異常過熱により火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 車内で仮眠するときは、エンジンを止め、助手席または後席でしてください。
- ・ 排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

- ・ エンジンルーム内に燃えやすい物の置き忘れに注意してください。引火のおそれがあります。
- ・ 車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝等がないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

安全なドライブについて

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

- ・ 走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。（「第4章 メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照）
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ 走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- ・ 故障等でやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

- ・ 走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかりと握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

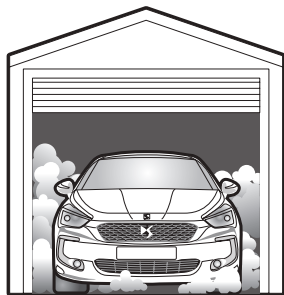
走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

- ・ 直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用するとおぼやめ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンをかけたままにしないでください

- ・ 車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- ・ 排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



- ・ 降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入する恐れがあります。

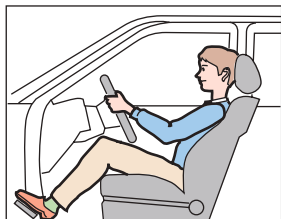
車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

- ・ 直ちにすべてのウィンドウを全開にする。
- ・ エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。
- ・ すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

シート位置についての注意

正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

- ・ 運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ・ 前後位置は、各ペダルが楽に踏めるシート位置を調節し、腿はシートクッションに乗るようにします。運転中は右足をアクセルペダルに、左足をフットレストに置きます。
- ・ バックレストの角度は、楽に支えられるよう調節します。シートベルトの効果を発揮させるため、バックレストを倒しすぎないようにしてください。
- ・ ヘッドレストが安全装置としての役割を果たせるよう、上面の高さが乗員の頭頂部と同じ高さかそれ以上になるように調節します。これができない場合、ヘッドレストを一番高い位置に上げて使用してください。

走行中はバックレストを倒しすぎないようにしてください

- ・ 急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

- ・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー*、フォースリミッター**付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー

前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター

シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

- ・医師に注意事項をご確認ください。
- ・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

- ・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
- ・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
- ・プリテンショナー付きシートベルトの取り外しや交換・廃棄は当社指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

- ・ SRS エアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束のことです。
- ・ SRS エアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

- ・ SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムではシートベルトを必ず着用してください。
- ・ シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・ 運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
- ・ ステアリングホイールは、9 時と 3 時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12 時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

安全装置について

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

- ・ SRS フロントエアバッグは、イグニッションがオンのときに車両前方から乗員に重大な危害が及ぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

- ・ 運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。
- ・ 助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

- ・ ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。
- ・ 助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。



SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグについての注意

- ・ SRS サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害が及ぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けしないでください

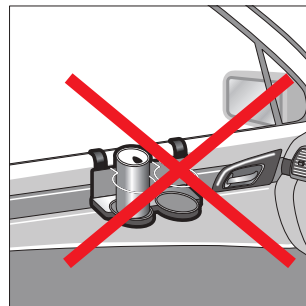
- ・ SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。

サイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

- ・ サイドエアバッグは、前席のバックレスト側面（ドア側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部から天井にかけて収納されています。
- ・ シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
- ・ シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

- ・ SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。



ABS と ESC / ASR についての注意

ABS(アンチロックブレーキシステム)を過信しないでください

- ・ ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
- ・ 次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
 - ・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
 - ・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
 - ・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - ・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC / ASR(エレクトロニックスタビリティプログラム／アンチスケールレギュレーション)を過信しないでください

- ・ ESCシステムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
- ・ ASRは滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
- ・ ESC／ASRが作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC／ASRを過信せずに速度を下げ、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

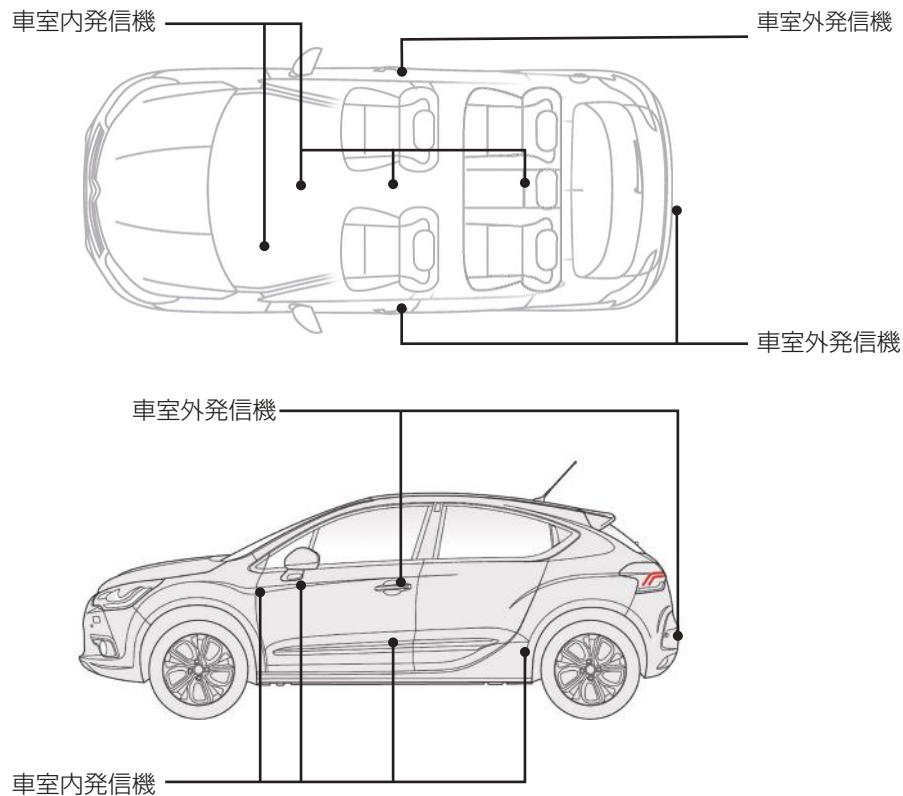
スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約 22cm 以内に近付かないようにしてください

- ・ 電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

運 転 装 置 に つ い て

アンテナ位置



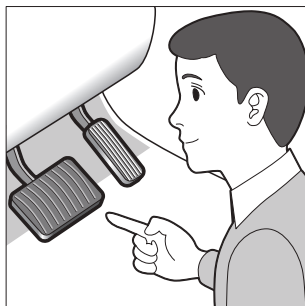
オートマチック車についての注意

クリーブ現象に注意してください

- ・クリーブ現象とは、エンジンがかかっているときにシフトレバーを **P** または **N** 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
- ・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

- ・ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンをかける前にペダルの位置を確認してください。
- ・また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



発進前／停車後のシフトレバーの操作はブレーキを踏んでください

- ・エンジンをかけるときはシフトレバーが **P** にあることを確認し、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
- ・シフトレバーの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリーブ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
- ・発進時のシフトレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

- ・アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はギアを **N** に入れないでください

- ・走行中にシフトレバーを **N** にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

後退したあとはギアを N に戻してください

- ・ 後退したあとは、すぐシフトレバーを R から N に戻す習慣をつけてください。

シフトレバー位置は目で確認してください

- ・ エンジンかけるときは P、前進するときは D、後退するときには R にあることを目で確認してください。

追い越しにはキックダウンを利用してください

- ・ D または 2 速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。
- ・ 滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車はシフトレバーを P に入れてください

- ・ 駐車するときはシフトレバーを P にして、パーキングブレーキをしっかりかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルを踏み、急発進したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

- ・ 万一、シフトレバーが P、N 以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください

誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ & スタートについての注意

車から離れるときは、必ずイグニッションをオフにしてキーを携行してください。ストップ & スタート機能が作動していると、シートベルトを外したりドアを開けたときに自動的にエンジンが携行して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

- ・ 次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルの **STOP** 警告灯が点灯します。
- ・ 冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
- ・ ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

- ・ ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
- ・ 冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
- ・ オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

- ・ 一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
- ・ 高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

- ・ 車を移動するときは、シフトレバーを **N** にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

- ・ 同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、イグニッションをオンにして、シフトレバーを **N** にしてパーキングブレーキは解除します。
- ・ 車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

- ・ 事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。
- 1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを止めます。
- 2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
- 3. 警察に連絡します。
事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
- 4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
- 5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

盗難についての注意

キーは必ず携帯してください

- ・ 車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、キーを携帯してください。
- ・ また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドア、ウィンドウを確認してください

- ・ 車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

- ・ 短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

- ・ 現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意ください

車の改造は禁止されています

- ・ 車の改造や当社純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
- ・ 電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、当社指定サービス工場にご相談ください。
- ・ 取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響を及ぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

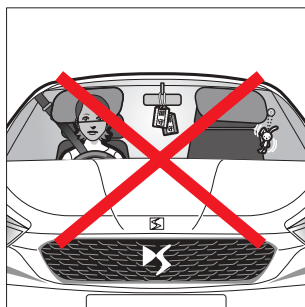
タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

- ・ タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響を及ぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
- ・ 交換は当社指定サービス工場で行ってください。

そ の 他

ウィンドウにアクセサリーを取り付けしないでください

- ・ ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあります。



夏季はバッテリー上がりが起きやすくなります

- ・ 電装品の使いすぎは、バッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますのでバッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

- ・ 冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくは当社指定サービス工場にご相談ください。
- ・ 積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
- ・ 冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
- ・ タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
- ・ タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。装着後は100mくらい走行して、緩みや車体に当たっていないかを再度確認してください。
- ・ バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
- ・ ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

- ・ タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてフタを閉めてください。
- ・ 灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

第1章 安全に運転するために

フロントシート	1-2
ミラー	1-6
リアシート	1-8
シートベルト	1-10
チャイルドシート	1-13
エアバッグ	1-18
走行する前に	1-23
使用燃料について	1-23
冬季の取り扱い	1-24
保安炎筒	1-25
触媒コンバーター	1-25

フロントシート

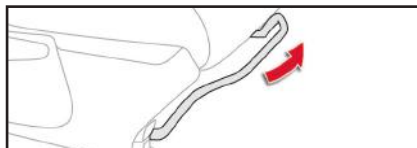
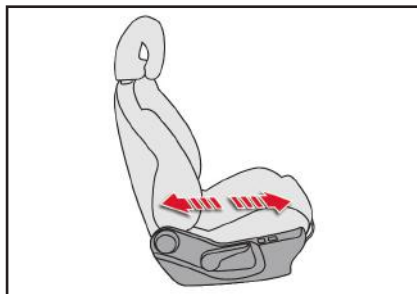
⚠ 警告

- 運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
- レバーの操作は正しい位置で行い、シートやバックレストの移動で指などを挟まないようにしてください。

●フロントシートの調整(手動)

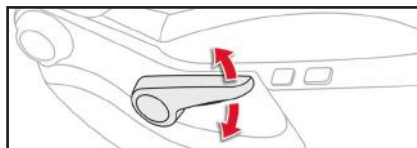
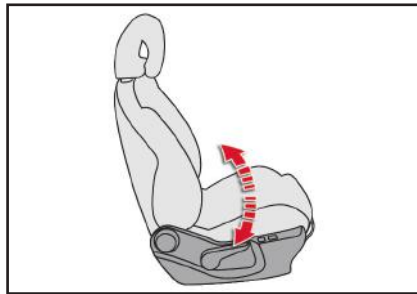
前後調整

レバーの中央部を引き上げたままシートを前後に動かします。レバーを離すとその位置で固定されます。



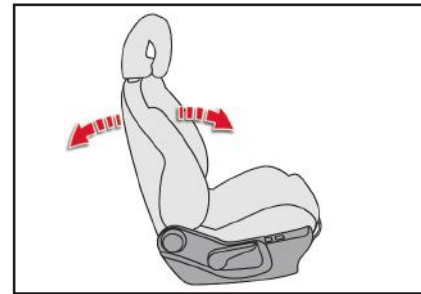
高さ調整

レバーを上下に動かして高さを調整します。



バックレストの角度調整

ダイヤルを回してバックレストの角度を調整します。



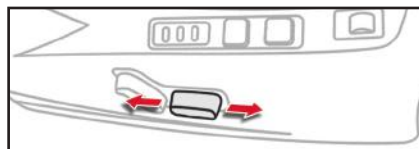
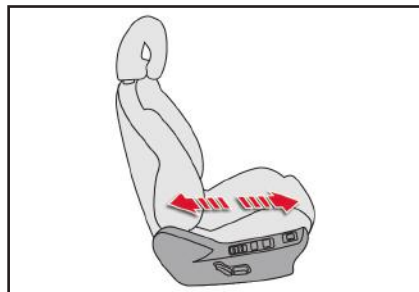
●フロントシートの調整(電動)

MEMO

イグニッションをオフにしてから約1分後にシートの調整ができなくなります。さらに調整したいときは、イグニッションをオンにしてください。

シートの前後調整

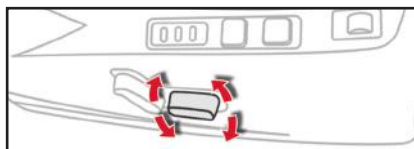
スイッチを前後にスライドしてシートの位置を調整します。



シートの高さ調整

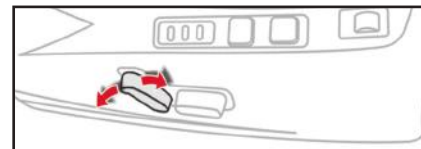
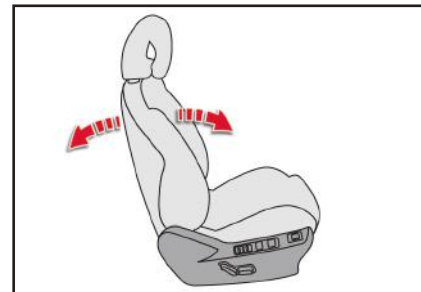
高さ調整：スイッチの後端を上下して調整します。

角度調整：スイッチの前端を上下して調整します。



バックレストの角度調整

スイッチを前後に倒して調整します。

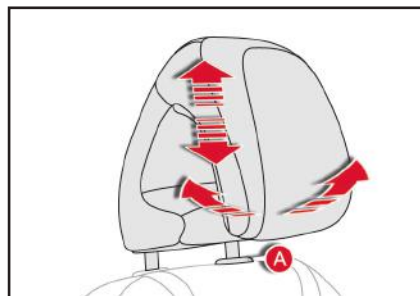


安全に運転するために

1

●ヘッドレストの高さと角度調整

調整は、ヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うようにします。



高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。ラグAを押しながらヘッドレストを押すと下がります。

角度調整

ヘッドレストの前半分の下部を前後させます。

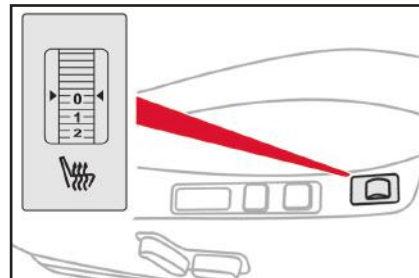
ヘッドレストの脱着

1. バックレストを倒し、ヘッドレストを最上の位置に移動します。
2. 根元のラグAを動かしながら引き上げます。
3. ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠ 警告

- ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- 高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ヘッドレストをはずして運転しないでください。

フロントシートヒーター*



シートヒーターは運転席と助手席に装備され、別々に作動させることができます。シート横にあるダイヤルを回すとヒーター温度が調整できます。設定した温度は自動的に保たれます。

0: オフ

1: 低

2: 中

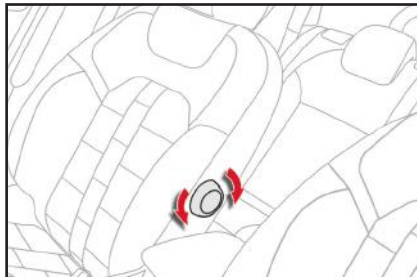
3: 高



シートヒーターはエンジンが作動しているときのみ使用できます。

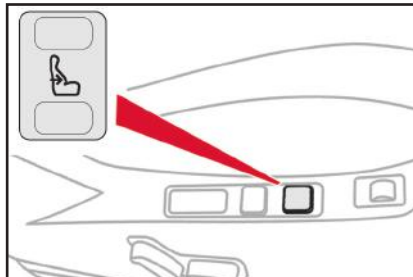
*仕様により異なります。

●ランバーサポート(手動)



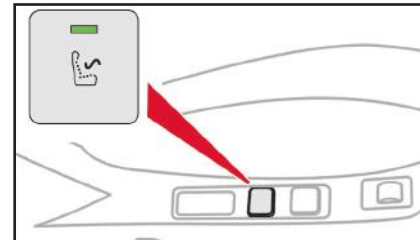
ダイヤルを回して調整します。

●ランバーサポート(電動)



スイッチの前後を押してランバーサポートの張り出しを調整します。

アクティブランバーサポート



オンにするには

エンジン作動中にスイッチを押すと、インジケーターが点灯し、運転席背部のランバーサポートがぼう張、収縮を繰り返します。

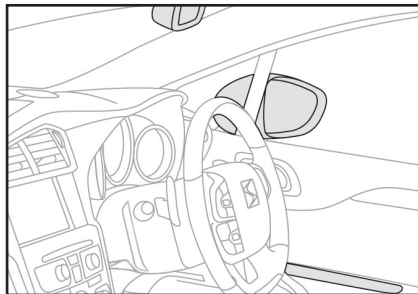
10分1サイクル(6分作動、4分休止)で1時間(6回)作動します。

オフにするには

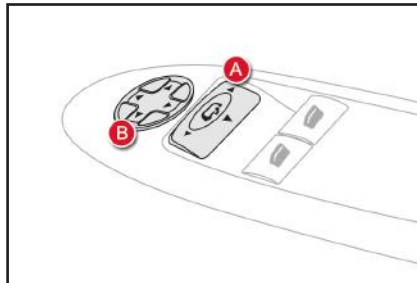
1時間経過するとインジケーターが消灯し、アクティブランバーサポートが停止します。

途中で停止したいときは、スイッチを押します。ランバーサポートが元のポジションに戻って停止します。

ミラー



電動ドアミラー



調整するミラーに合わせて、スイッチAを左側または右側に動かします。ミラーは上下左右に角度が変更されます。スイッチBの動かしたい側のボタンを押します。

調整が終わったら、スイッチAを中央の位置に戻します。

⚠ 注意

ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。

●ドアミラーの格納

スイッチAを中央位置にして手前に引くと、ミラーが格納されます。

手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。

キーまたはリモコンで施錠すると、ミラーが自動的に格納されます。



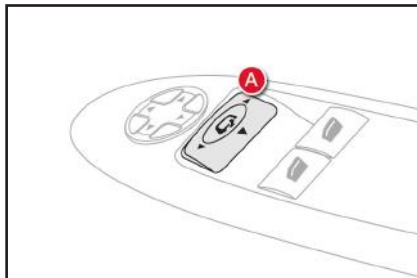
●スイッチAを使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは展開しません。スイッチAを使用してドアミラーを展開してください。

●エアコンコントロールパネルのリアウィンドウデフォグボタンは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。

⚠ 注意

電動ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

●後退時のミラー位置自動調整



シフトレバーを**R**に入れると、あらかじめ設定した位置にドアミラーの角度が変化し、後方側面が見やすくなります。

位置設定

1. エンジン作動状態でシフトレバーを**R**に入れます。
2. ドアミラーの位置を左右続けて調整します。
3. 調整した位置が登録されます。

使用方法

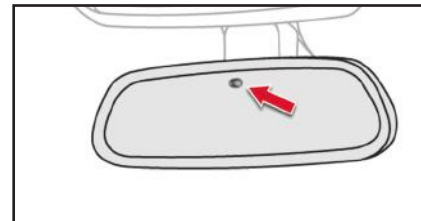
1. エンジン作動状態でシフトレバーを**R**に入れます。
2. スイッチ**A**を動かしたいミラー側に動かしします。
3. 選択したドアミラーが設定された位置に角度を変えます。

自動調整OFF

ドアミラーは以下の場合に、元の位置に戻ります。

- ・シフトレバーを**R**以外にして10秒経過する。
- ・スイッチ**A**を中央に戻す。
- ・時速10km以上で走行する。
- ・エンジンを停止する。

自動防眩バックミラー



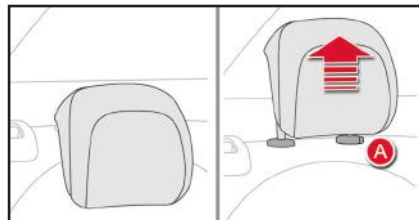
センサーでミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。なお、シフトレバーを**R**位置にすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

⚠ 注意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

リアシート

●リアヘッドレスト



ヘッドレストは2つの高さを選択できます。

収納位置

シートを使用していないときは、低い位置にします。

通常位置

乗員が乗るとき、またはリアシートにチャイルドシートを前向きに取り付けるときは、安全のためヘッドレストをロックするまで引き上げます。

上げるとき

ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。

下げるとき

ラグAを押しながら、ヘッドレストの上部を押します。

取りはずし

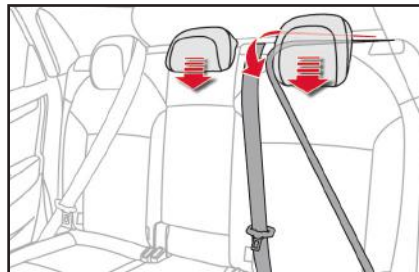
1. バックレストのレバーを手前に引き、バックレストのロックを解除します。
2. バックレストを前方へ少し倒します。
3. ヘッドレストをロックするところまで引き上げます。
4. ラグAを押しながらヘッドレストを取りはずします。

⚠ 警告

リアシートに乗るときは、ヘッドレストを通常位置に調整してください。また、ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

●リアシートの折りたたみ

左右分割式のリアシートは折りたたむことができます。



1. フロントシートを前にずらしします。
2. シートベルトが挟まれないようにシートベルトをリア中央シートのバックレスト側に寄せます。
3. ヘッドレストを一番下まで下げます。

⚠ 警告

リアシートを操作するときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

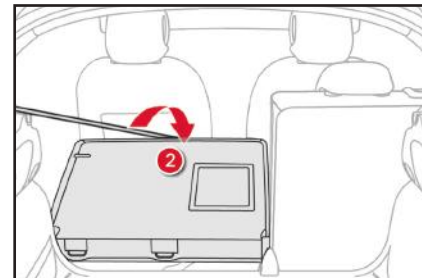


4. レバー①を手前に引き、バックレスト②のロックを解除します。
5. バックレスト②を前方へ倒します。

⚠ 注意

シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように充分注意してください。

●リアシートの戻しかた



1. バックレスト②を起こして元の位置に戻します。
2. バックレストが確実に固定され、レバー①の赤色が見えないことを確認します。
3. シートベルトをバックレストの脇に戻します。

注意

リアシートを戻すときは、シートベルトを巻き込まないように注意してください。

シートベルト

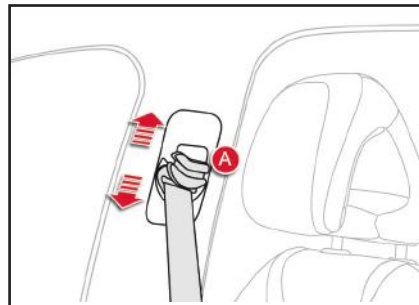
フォースリミッター付シートベルト プリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。

この機構は、イグニッションがオンのときに作動します。

フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

●シートベルトの高さ調整



アンカーAの中央部を押しながらアンカーを上下にスライドさせて、ベルトが肩先と首との間に当たるように合わせます。

⚠ 警告

安全のため、これらの操作は停車中に行ってください。

●フロントシートベルトの着用

水平方向にあるベルトを、腹部でなく腰骨に当たるようにしてプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。バックルの赤いボタンを押すとはずれません。

●リアシートベルトの着用



リアシートベルトは3点式で、両サイドはフォースリミッター付きです。

シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

注意

シートベルトを戻すときは、プレートを持ってゆっくりと戻してください。

●シートベルトの着用警告



イグニッションがオンのとき、運転席または助手席のシートベルトを着用していない、または後席のシートベルトをはずすと、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示され、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

時速20km以上で走行中にシートベルトを着用していないと、約2分間段階的に変化する警告音とともに警告灯が点滅します。2分経過後は警告灯のみが点灯します。

上記の警告は、シートベルトを着用すると解除されます。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。



シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠ 警告

- 運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
- 乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
- シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
- バックルを逆にしてバックプレート差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
- シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
- シートベルトを2人以上で共有しないでください。
- お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。

警告

- シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
- シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、当社指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
- シートベルトを修理、交換する場合は当社指定サービス工場にご相談ください。
- シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、当社指定サービス工場整備を受けてください。
- シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場システムの点検を受けてください。



- 降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
- シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
- シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

当社では、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意くださいようお願いします。

⚠ 警告

- 短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。また、思わぬ事故を防ぐためにも、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能をご利用ください。
- お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

● 3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kgまで



このタイプのシートは、体重13kg位までのお子さまに適しています。減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重9kgから36kgまで



体重9kg～18kg位までのお子さまにお勧めするタイプです。



体重15kg～36kg位までのお子さまにお勧めするタイプです。

安全に運転するために

1

●チャイルドシートの推奨取り付け位置

以下の表は、お子さまの年齢と車のシート形状により、シートベルトを使用してどの位置に一般的なチャイルドシートを取り付けるかを示しています。取り付けは、後ろ向き、前向きともに可能です。

シート	体重グループ			
	13kgまで (グループ0、0+)	9～18kg (グループ1)	15～25kg (グループ2)	22～36kg (グループ3)
助手席 	○	○	○	○
後席左右 	○	○	○	○
後席中央 	×	×	×	×

※グループ0(10kgまで)の乳児用チャイルドシートおよびキャリコットは助手席に取り付けられません。

※助手席に取り付ける場合、バックレストを元の位置に戻して、シートの高さを一番高い位置に調整してください。

※当社では可能な限り、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

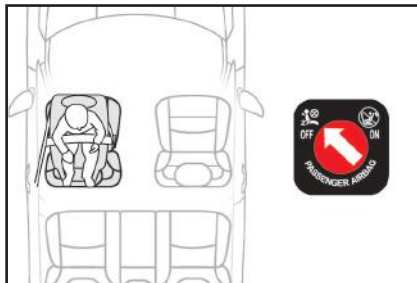
⚠ 警告

助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大けがを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。



チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●助手席へのチャイルドシートの取り付け(3点式シートベルトを使用)



後ろ向きチャイルドシート

後ろ向きチャイルドシートは助手席に取り付けてください。その際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

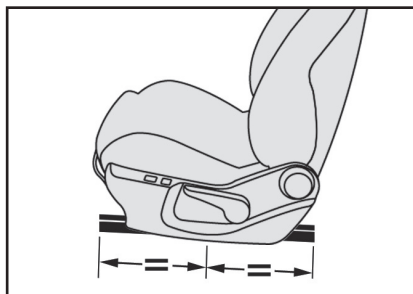
⚠ 警告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大けがを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。



前向きチャイルドシート

前向きチャイルドシートを助手席に取り付けた際、助手席の前後スライド量は中間にしてください。エアバッグがふくらんだ際の影響を少なくします。



シート位置は中間です。

安全に運転するために

1

●ISOFIXチャイルドシート (当社推奨)

体重9kgから18kgまで



前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。

⚠ 注意

チャイルドシートに着席したとき、お子さまの足が前席と接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●ISOFIXチャイルドシートの推奨取り付け位置

下の表は、ISOFIXチャイルドシートに関し、車内シート位置と一般的に認可された体重グループの関係を示しています（欧州安全規格に基づいています）。ISOFIXユニバーサルチャイルドシートまたはセミユニバーサルチャイルドシートでは、**A～G**のアルファベットによるISOFIXサイズコードがチャイルドシートの“ISOFIXロゴ”の横に表示されています。

	体重グループ									
	10kgまで (グループ0) 約6ヶ月まで		10kgまで、13kgまで (グループ0、0+) 約1歳まで			9～18kg (グループ1) 約1歳～3歳				
ISOFIXチャイルドシートのタイプ	乳児用*		後ろ向き			後ろ向き		前向き		
ISOFIXサイズコード	F	G	C	D	E	C	D	A	B	B1
後席左右	IL-SU		IL-SU			IL-SU		IUF IL-SU		

IUF： ISOFIXユニバーサルチャイルドシート（トップテザー対応アッパーストラップを備えるISOFIX「前向き」チャイルドシート）の取り付けに適しているシート位置。

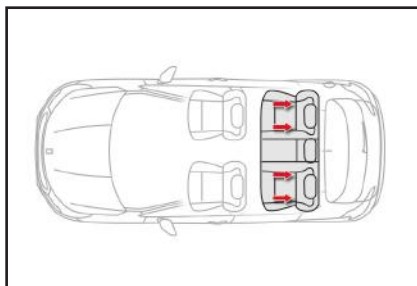
IL-SU： ISOFIXセミユニバーサルチャイルドシート（トップテザー対応アッパーストラップまたはバーを備えるISOFIX「後ろ向き」チャイルドシート、バーを備えるISOFIX「前向き」チャイルドシート、およびトップテザー対応アッパーストラップまたはバーを備えるISOFIX「乳児用」シート）の取り付けに適しているシート位置。

※乳児用チャイルドシートおよびキャリコットは助手席には取り付けられません。

* ISOFIX乳児用チャイルドシートは、リアシート2座席分のスペースを利用して、ボトムリングへ固定します。

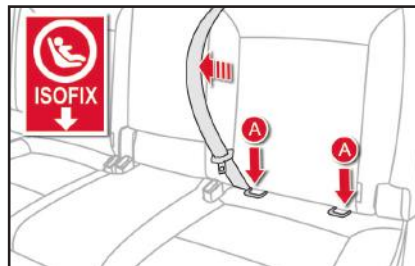
●ISOFIXチャイルドシートの取り付け方

取り付け可能シート位置

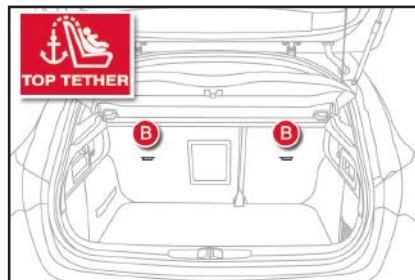


ISOFIX規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの金具が装備されています。

取り付け金具



シートのバックレストとシートクッションの間に2つの金具Aがあります。



トップテザー対応のシートは、ストラップをシート裏側のトップテザーアンカーBに装着してください。

このとき、リアシートのヘッドレストを引き上げ、フックを支柱の間に通してからストラップをBに固定してしっかり張りませ

ISOFIX規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が、リアシートに設置されています。

取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。



リア左側シートにチャイルドシートを取り付けるときは、リア中央シートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

⚠ 警告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

エアバッグ

エアバッグはイグニッションがオンのときだけ作動します。

エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付シートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。

万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがあつた到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。

その直後エアバッグはしばらくで乗員が脱出しやすい空間を確保します。

エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

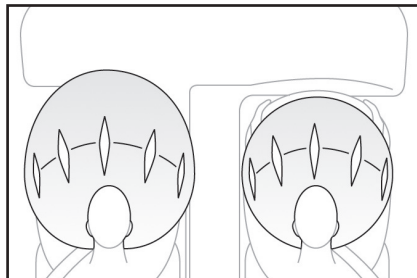
⚠ 警告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなつておりますので、やけどを負う可能性があります。



展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。

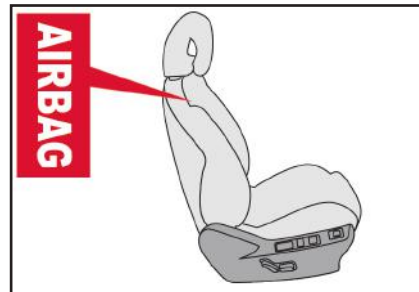
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。

助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFFのときは展開しません。

⚠ 警告

- ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手をおいて運転しないでください。
- 助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
- ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

サイドエアバッグ



運転席および助手席のバックレスト側面（ドア側）に収納されており横からの衝撃に対してのみ、左右が独立して展開します。

⚠ 警告

- シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- シートバック部にアクセサリ等をつけたり、貼ってはいけません。
- ドア側に近付きすぎた座り方をしないでください。

カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

警告

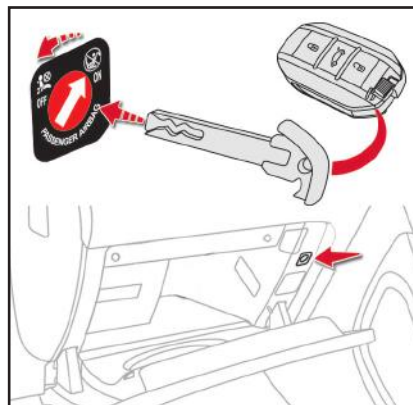
- 天井やピラーにアクセサリ等を取り付けたり貼ったりしないでください。
- 天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

●故障しているときは

 インストルメントパネルのエアバッグ警告灯が点灯し、警告音とともにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。

 インストルメントパネルの助手席エアバッグ警告灯が点滅します。当社指定サービス工場へご連絡ください。

助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチをONにします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向とは逆向きに取り付けしないでください。

OFF

チャイルドシートを進行方向とは逆向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチをOFFにします。助手席エアバッグは作動しません。

1. イグニッションをオフにします。
2. 助手席エアバッグキャンセルスイッチにキーを差し込み、OFFの位置にします。
3. そのままキーを抜きます。

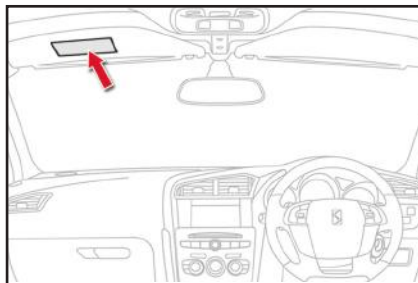


キャンセル中は、イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。



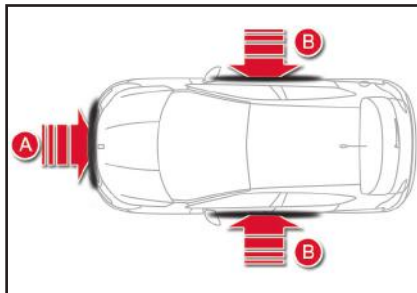
⚠ 警告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、絶対にチャイルドシートを後向きに装着しないでください。お子様の死亡または重症の原因になることがあります。



助手席サンバイザーに警告ラベルが貼り付けられています。

エアバッグの作動条件



- A. フロント衝撃ゾーン
- B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件

フロント衝撃ゾーンAに、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。

助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーンBに、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。

カーテンエアバッグの作動条件

サイド衝撃ゾーンBに、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

⚠ 警告

- 車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- 正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグやカーテンエアバッグは作動しません。
- エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- エアバッグ警告灯および助手席エアバッグ警告灯のどちらかが点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
- エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

⚠ 警告

- ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
 - ・エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
 - ・助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
 - ・エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
 - ・喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。
- ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。



エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故の後には、必ず当社指定サービス工場での点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

●タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月一回ないし長距離を走行する前に点検してください。

適正値は、運転席側のドアピラー一部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧は走行してタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。

また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

ガソリン車には、オクタン価が95オクタン(リサーチ法)以上の無鉛ガソリンを使用してください。

ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム(ハイオク)ガソリンの使用をお勧めします。ディーゼル車には超低硫黄軽油(サルファーフリー／S10ppm以下)を使用してください。

注意

ガソリン車に粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用したり、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地へ到着するまでに燃料残量を半分以下にし、現地ですできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安
JIS 特 1 号軽油	-
JIS 1 号軽油	-1℃
JIS 2 号軽油	-5℃
JIS 3 号軽油	-12℃
JIS 特 3 号軽油	-19℃

冬季の取り扱い

冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。

冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。

当社販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。

スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。

取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。

チェーンやネットの装着後は、100m程度走行して緩みや車体への当たらないかを確認してください。

当社販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。



市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っても装着できないものがあります。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、当社販売店で求めください。

●その他

- ・冬季には、バッテリーに高い負荷がかかります。バッテリーは常にフル充電にしてください。
- ・非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキを解除し、シフトレバーを**1速**(マニュアル車)または**P**(オートマチック車)の位置に入れて輪止めをかけてください。
- ・ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
- ・キーシリンダーには、潤滑剤を使用し注油しておいてください。
- ・ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
- ・空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
- ・雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒



助手席足元に備えつけてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で
故障したときに使用します。
使用法は、保安炎筒に記載してありま
す。あらかじめよく読んでおいてくださ
い。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れ
る前に、新品をお求めになり交換してく
ださい。

⚠ 警告

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
- ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠ 注意

- 非常用信号としてのみご使用ください。
- トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

DS4には、日本の排気ガス基準に適合させるために、エンジンルームに触媒コンバーターが装着されています。

● 触媒コンバーター装着車についてのご注意

- ・ 燃料は、ガソリン車には必ず無鉛ガソリンを使用し、ディーゼル車には指定の軽油を使用してください。指定以外の燃料は触媒をいためます。
- ・ 燃料は早めに補給してください。
- ・ ミスファイヤ等のエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

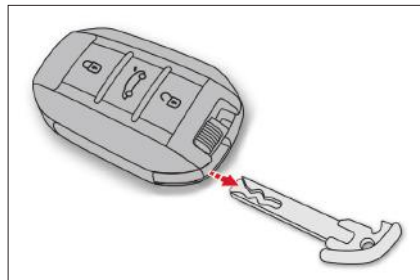
⚠ 警告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災にいたることがあります。

第2章 各部の開閉のしかた

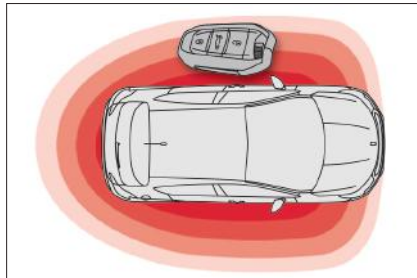
スマートキー	2-2
イモビライザー（盗難防止システム）	2-8
ドア／ドアロック	2-9
パワーウィンドウ	2-11
チャイルドセーフティ	2-13
パノラミックフロントウィンドウ	2-14
ボンネット	2-15
テールゲート	2-16
フュエルリッド（給油口）	2-17

スマートキー



スマートキーを携帯しているだけで、ドアやテールゲートの施錠・解錠やエンジンの始動をすることができます。リモコンとしてボタンを使って施錠・解錠することもできます。スマートキーには緊急用キーが付いています。

●スマートキー機能の作動範囲



スマートキー機能で施錠または解錠するときの検知エリアの範囲は、車両から周囲約 1m 以内です。車両周辺の検知エリアにスマートキーがあれば、スマートキーを携帯していない人でもドアを操作して解錠することができます。

注意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。



- スマートキーが車両に近付きすぎているときは作動しないことがあります。
- スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。
 - ・近くに強い電波を発する設備があるとき
 - ・携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
 - ・スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

●解錠

解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
すべてのドア、テールゲートを同時に解錠する
2. 選択解錠モード
最初に運転席ドアのみ、2回目でその他のドアおよびテールゲートを解錠する
設定はマルチファンクションディスプレイで行います。



初期設定は通常解錠モードになります。

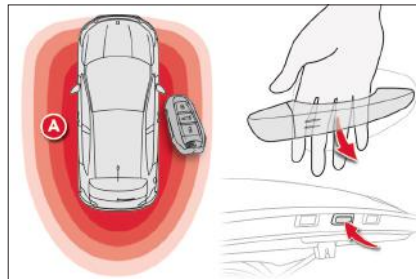
通常解錠モード

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリアA内でスマートキーを携帯してドアハンドルに手を通す、またはテールゲートのスイッチを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。



- 解錠するとハザードランプが約2秒間点滅し、同時にドアミラーが展開します。また、ウェルカムライトが約30秒間点灯します。
- 解錠した後、30秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- リモコンの解錠ボタンを押し続けると、ウィンドウが自動的に開きます。ボタンを離すとウィンドウが止まります。

各部の開閉のしかた

選択解錠モード

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。運転席ドアのみが解錠されます。

もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびテールゲートが解錠されます。

スマートキー機能を使用する

スマートキーを携帯して運転席のドアハンドルに手を通すと、運転席ドアのみが解錠されます。また、助手席ドアのドアハンドルに手を通す、またはテールゲートのスイッチを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが解錠されます。ドアハンドルをそのまま引くとドアを開けることができます。



- 解錠するとハザードランプが約2秒間点滅します。ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。また、ウェルカムライトが約30秒間点灯します。



- 解錠した後、30秒以内にドアを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- リモコンの解錠ボタンを押し続けると、ウィンドウが自動的に開きます。ボタンを離すとウィンドウが止まります。

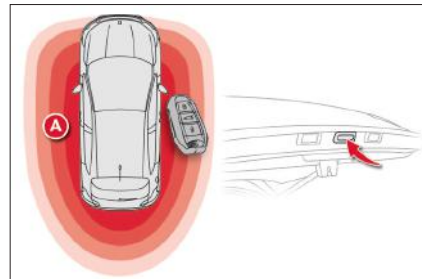
●テールゲートの解錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンのテールゲート解錠ボタン(中央)を押すと、テールゲートだけが解錠されます。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、テールゲートのスイッチを押します。ドアおよびテールゲートが解錠されます。

テールゲートの解錠の仕様を変更する

テールゲートの解錠の仕様を通常解錠モードまたは選択解錠モードに変更することができます。設定はマルチファンクションディスプレイで行います。



テールゲートを解錠した後は、必ず施錠してください。

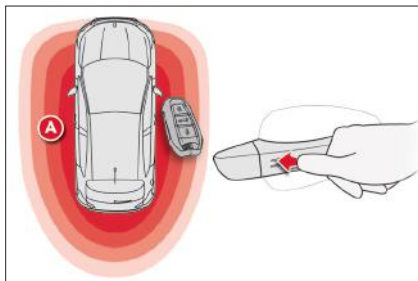
●施錠

リモコンを使用する



車に向けてリモコンの施錠ボタンを押すと、すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリアAにスマートキーがあるときに、ドアハンドルのスイッチを押します。すべてのドアおよびテールゲートが施錠されます。



- スマートキーを携帯して車両から離れても自動的に施錠されることはありません。
- 施錠操作するリモコンのボタンまたはドアハンドルのスイッチを押し続けると、パワーウィンドウが自動的に閉まります。
- 施錠するとハザードランプが約2秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。また、フォロワーミーホームがオンの場合は、しばらくの間、ヘッドランプが点灯したままになります。
- 長期間(3週間以上)車両を使用しないと、バッテリー消費を抑えるために、スタンバイモードとなってスマートキー機能が自動的に停止します。スマートキー機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。



- スマートキーが家電製品の近くにあると電磁波の影響を受けて反応し、電池を著しく消耗します。これを防止するため自動的にスタンバイモードになることがあります。機能を復帰させるには、リモコンのボタンを押してください。
- 以下のときは、施錠できません。
 - ・いずれかのドアまたはテールゲートが完全に閉まっていないとき
 - ・スマートキーが車内にあるとき

⚠ 警告

リモコンのボタンまたはドアハンドルのスイッチを使用してパワーウィンドウを閉めるときは、乗員が手などを挟まれないように確認してから操作してください。

各部の開閉のしかた

●スーパードアロック

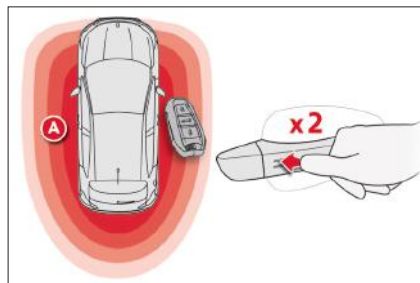
盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する



施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。5 秒以内に再度施錠ボタンを押します。

スマートキー機能を使用する



車両周辺の検知エリア A にスマートキーがあるときに、ドアハンドルのスイッチを押します。5 秒以内に再度スイッチを押します。

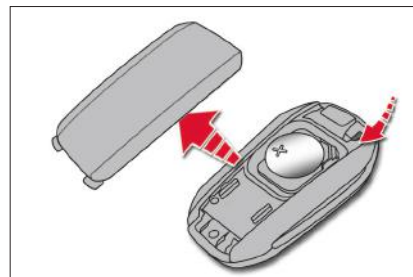


スーパードアロックをすると、ハザードランプが約 2 秒間点灯します。また、フォロミーホームがオンの場合は、しばらくの間、ヘッドランプが点灯したままになります。
ドアミラーも同時に格納します。

⚠ 警告

- 車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。
- お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

●電池 (CR2032 3V) の交換



リモコンの電池が消耗すると、警告音とともにシステム警告灯が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

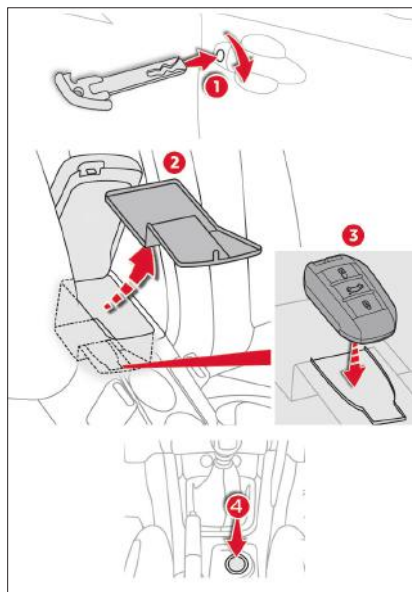
細いドライバーなどでケースを開け、電池を交換してください。

⚠ 警告

- 電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。
- リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

●リモコンの初期化

電池交換の後などにリモコンが作動しなくなったら、次の手順で初期化をしてください。



1. 運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで解錠します。
2. フロントアームレストのカバーを上げ、つまみを引き上げてマットを取り外します。
3. スマートキーをリーダーに置きます。
4. **START/STOP** スイッチを押してイグニッションをオンにします。

初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。



- 初期化後は、リモコンを取り出し、アームレストのマットを元の位置に戻してください。
- キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。キーを紛失して、新しいキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- 車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。
- 交換用電池は当社指定サービス工場でお求めいただけます。
- 環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

イモビライザー (盗難防止システム)

DS4には、エンジンイモビライザー(盗難防止装置)が装備されています。これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

注 意

- 車から離れるときは、短い時間であつてもキーを携帯してください。
- エンジンイモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
- キーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

スマートキー

車とともにお渡しするスマートキーの内部(プラスチック部分)には、車を識別する電子装置が内蔵されています。それぞれのキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。イグニッションをオンにすると、車のイモビライザーシステムがこのコードを読みとって、エンジンの始動を可能にします。もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。イグニッションをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。

SERVICE

システムに異常が発生したときは、イグニッションをオンにすると、警告灯が点灯し、警告音とともにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。エンジンは始動しません。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

スペアキー

お車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。もし予備のキーが必要なとき、あるいはキーを取り替えるときには、すべてのキーを登録し直す必要があります。コードカードとお手持ちのすべてのキーを当社指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のキーを登録し直して失ったキーを無効にする(エンジンをかけられなくする)ことをお勧めします。お近くの当社指定サービス工場にご相談ください。



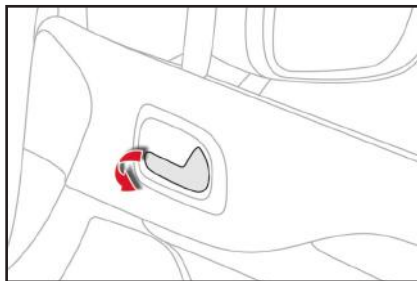
新しいキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック

●車外からドアを開ける

P. 2-2の「スマートキー」項を参照してください。

●車内からドアを開ける



内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除されます。

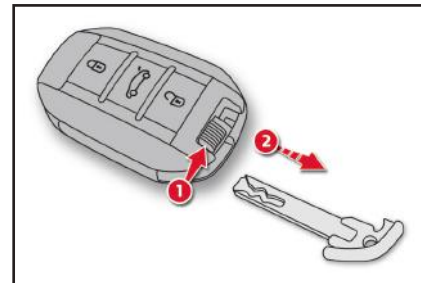


- スーパードアロックされているときはドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。
- 選択解錠モードのときは、運転席ドア内側のドアハンドルを引くと、運転席ドアのロックのみが解除され、助手席のドアハンドルを引くと残りのロックが解除されます。

●半ドア警告

ドアを完全に閉めずにエンジンを始動させると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上ではマルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。

緊急用キー



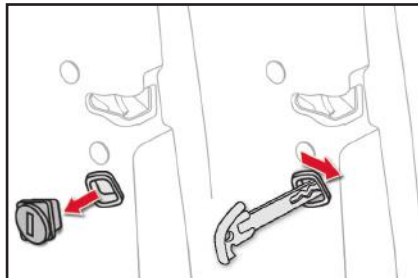
以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

- ・バッテリーが上がっているとき
- ・バッテリーの接続をはずしているとき
- ・スマートキーの電池がないとき
- ・車両が強い電磁波などを受けているとき

1. スマートキーのレバー①を押して、緊急用キー②を取り出します。
2. ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで、車両を施錠または解錠します。

各部の開閉のしかた

マニュアルロック(非常時)

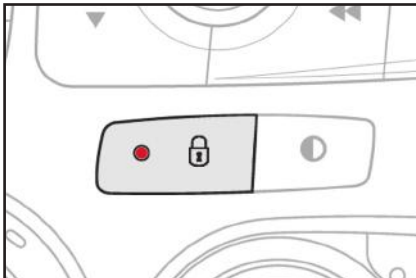


バッテリー上がりなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。
運転席側は、キーをドアのキー穴に差し込み施錠または解錠をします。
その他のドアは、ドア端部の黒いキャップをはずして、ゆっくりと穴にキーを差し込みます。キーは回さず、レバーを内側に動かしてからドアを閉めると施錠できます。ドアハンドルを引いて、ドアが施錠されたか確認します。



ドアを閉める前に必ずキャップを元に戻してください。

ドアロック/オートドアロック



ロックスイッチを押すと、車両の施錠ができます。
施錠するとインジケーターが点灯します。
ドアのいずれかが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。
解錠するときはスイッチを再度押してください。



外側から施錠されていた場合、もしくはスーパードアロックがかかっていた場合、スイッチのインジケーターは点滅し、機能しません。このような場合には、内側ドアハンドルを引いて解錠するか、スーパードアロックの場合はリモコンもしくはスマートキー機能を使って解錠してください。

●オートドアロック機能

時速10km以上で走行すると、自動的に施錠されます。

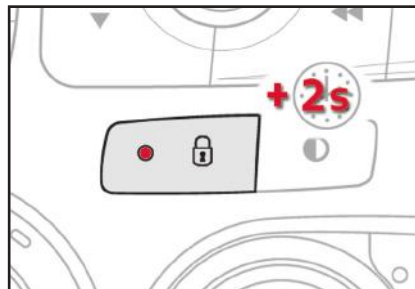
完全に閉まっていないドアまたはテールゲートがあると、オートドアロックは作動しません。ドアロックが跳ね返り、警告音とともにマルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。



長い荷物を積んでいるときなど、テールゲートを開けたまま走行する場合は、ロックスイッチを押してドアの施錠をしてください。ドアの施錠をせずに走行すると、時速10km以上で走行する度にドアロックが跳ね返り、警告音とともにマルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。

時速10km以上で走行中にロックスイッチを押すと、ドアおよびテールゲートが一時的に解錠されます。

●オートドアロック機能のオン/オフ 機能をオンにするには



スイッチを2秒以上押し続けます。
警告音とともにマルチファンクションディスプレイに確認のメッセージが流れます。

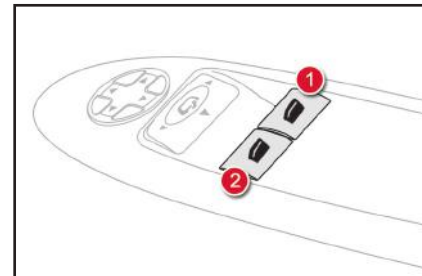
機能をオフにするには

スイッチを再度2秒以上押し続けます。
警告音とともにマルチファンクションディスプレイに確認のメッセージが流れます。



イグニッションをオフにしても、システムの作動/解除の設定は保持されます。

パワーウィンドウ



- ①：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
- ②：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押ししたり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

各部の開閉のしかた

●ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。

途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。



●イグニッションをオフしてから約45秒間、または、ドアを開けてから施錠するまで、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度イグニッションをオンにしてから操作をしてください。

●運転席側のスイッチで助手席側パワーウィンドウの操作ができないときは、助手席側のスイッチを操作してください。

●10回以上連続してウィンドウの全閉、全開をすると、保護機能が働き、閉じる機能のみが作動します。ウィンドウが全閉してから約40分後に、再び操作が可能になります。

挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇を止めて数センチ下降します。

冬期など氷結のために挟み込み防止機能が働いてしまい、ウィンドウを閉じることができないときは、以下のようにしてください。

1. 一度完全にウィンドウを下げます。
2. 直ちにウィンドウが完全に閉まるまでスイッチを引き続けてください。

パワーウィンドウ挟み込み防止機能が機能しなくなったら、直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。

●パワーウィンドウの再初期化

バッテリーをはずした後など正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. ウィンドウが止まるまでスイッチを引きます。
2. スwitchを引くとウィンドウが数センチ上がります。完全に閉まるまで繰り返します。
3. ウィンドウが完全に閉まった後、約1秒間スイッチを引き続けます。
4. スwitchを押して完全にウィンドウを下げます。
5. ウィンドウが完全に下がった後、約1秒間スイッチを押し続けます。

⚠ 警告

- 運転者が助手席側のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
- ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
- 乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
- お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
- 車から離れるときは、短い時間であってもキーを抜いてください。

⚠ 注意

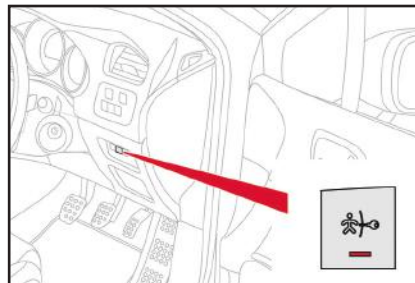
初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

注意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも50センチ以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

チャイルドセーフティ

チャイルドロック



運転席側ダッシュボードにあるスイッチを押すと、内側からリアドアを開けることができなくなります。お子さまの危険防止に有効です。

スイッチを押すと、インジケーターが点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示され、チャイルドロックがオンになります。

もう一度スイッチを押すと、インジケーターが消灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示され、チャイルドロックがオフになります。

⚠ 注意

強い衝撃を受けると、チャイルドロックが自動的に解除され、非常時に後席からの脱出を可能にします。

注意

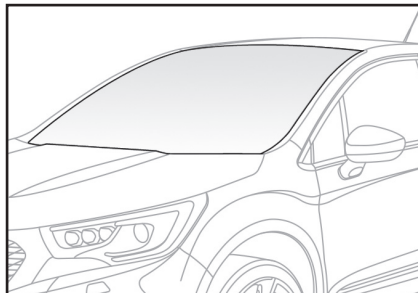
インジケーターが点灯／消灯以外の場合は、機能に異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。



- チャイルドロックは、ドアロックの作動とは別に独立して作動します。
- チャイルドロックがオンになっていても、外からドアを開けることができます。

各部の開閉のしかた

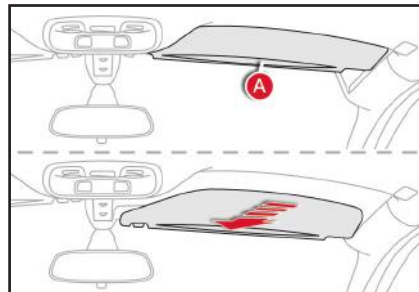
パノラミックフロントウィンドウ



パノラミックフロントウィンドウは車内を明るく開放的にします。

サンシェードの開閉により車内を快適温度に保ち、サンバイザーにより走行中の防眩効果を高めます。

サンシェード



開けるとき

サンシェード中央にあるグリップAを持って、お好みの位置まで後方に引きます。

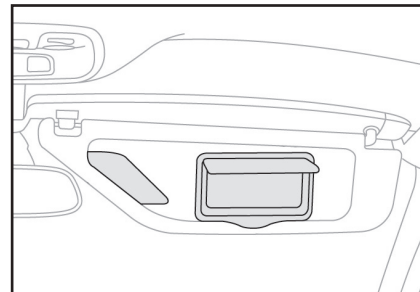
閉めるとき

サンシェード中央にあるグリップAを持って、お好みの位置まで前方に引きます。

注意

サンシェードを操作する前に、必ずサンバイザーを格納してください。

サンバイザー



サンバイザーには、ミラーおよびチケットホルダーが装備されています。

使いかた

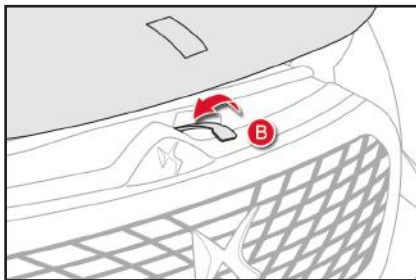
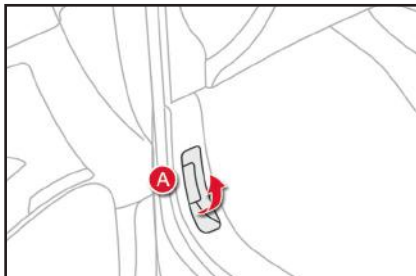
前方がまぶしいときは、サンバイザーを下方向へ展開します。

側方がまぶしいときは、車両中央寄りにあるフックからサンバイザーをはずし、ドアウィンドウの方へ展開します。

注意

- サンシェードおよびガイドレールに重いものを取り付けたり、引っ掛けないようにしてください。
- サンシェードは、通常、一番前方（閉じた状態）でご使用ください。

ボンネット



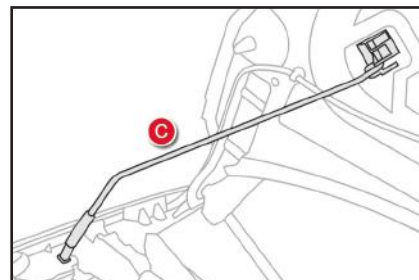
●ボンネットを開けるには

1. 助手席ドアを開き、ドアシル部にあるレバーAを引きます。
2. ボンネットの下のロックレバーBを向かって左側に動かしてから持ち上げます。

⚠ 注意

- ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
- 強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

ボンネットを開ける際には、6-3ページ、6-4ページの警告をお読みください。



●ボンネットを固定するには

ボンネットを開き、支柱Cをキャッチに固定します。

閉めるときには、支柱Cを元の位置に戻します。

●ボンネットを閉めるには

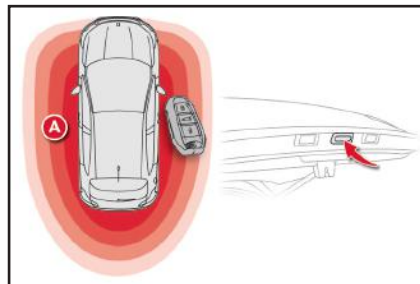
ボンネットを引き下げ、下から30cmぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。

上から押さないでください。

⚠ 警告

ボンネットを閉めた後、ロックされたことを確認してください。

テールゲート



●テールゲートを開ける

P.2-2の「スマートキー」項を参照してください。

●テールゲートを締める

テールゲート内側にあるハンドルを持って引き下げ、外側からテールゲートを押します。

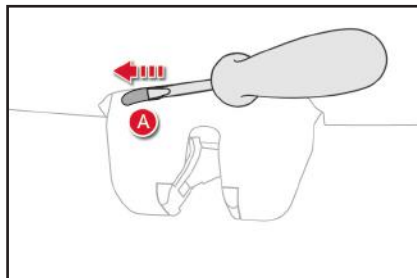
●テールゲート閉め忘れ警告

テールゲートを確実に閉めずにエンジンを始動させると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。そのまま走行すると、時速10km以上では警告音と共にマルチファンクションディスプレイにメッセージが数秒間表示されます。

⚠ 警告

テールゲートを閉めるときには、指などを挟まないよう充分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。

●テールゲートが解錠しないとき



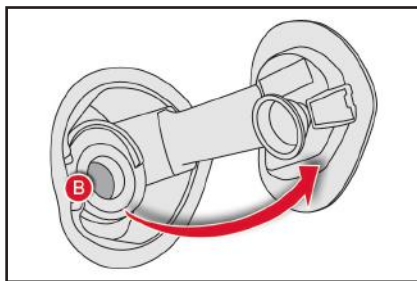
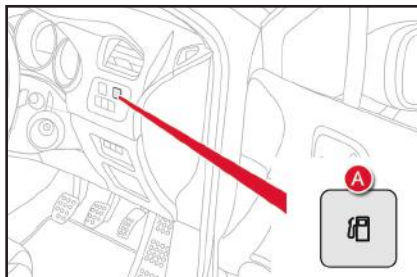
バッテリーや集中ドアロックシステムの不具合によってテールゲートが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、テールゲートの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーをAに差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。



- 水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でテールゲートを開けて脱出できます。ドライバーの代わりにボールペン、ヘアピン、クリップなどの先が細いものが使用できます。
- この方法でロック機構を解錠しても、不具合を解決しないままテールゲートを閉めると、テールゲートが再び施錠されることがあります。

フュエルリッド(給油口)



1. 運転席側ダッシュボードにあるスイッチAを押すとフュエルリッドが自動的に開きます。
2. 給油口には、金属製のバルブBが付いています。このバルブに給油ノズルをそのまま差し込みます。
3. ノズルが一番奥まで差し込まれていることを確認し、給油を開始します。給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料タンクの容量は約60リットルです。
4. 給油が終わったらノズルを抜いてフュエルリッドを閉めます

 警告音とともにこの警告灯が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。警告灯が点灯した場合、残量は約6リットルです。早めに燃料を補給してください。もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも5リットル以上は給油してください。

警告

- 給油中はエンジンを停止してください。
- 給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱で膨張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。

注意

指定の燃料を使用してください。



スイッチはエンジン停止後も数分間使用できます。それ以上時間が経過したときは、再度イグニッションをオンにしてください。

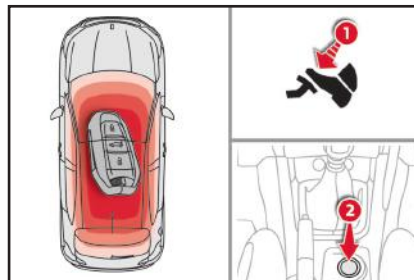
燃料遮断装置

DS4には、衝突したときに燃料供給を停止させる安全装置が装備されています。

第3章 運転装置の使いかた

エンジンの始動	3-2
ステアリング／ホーン	3-4
6速マニュアルトランスミッション	3-5
オートマチックトランスミッション（シフトレバー）	3-6
エレクトリックパーキングブレーキ	3-9
ヒルスタートアシスタンス	3-13
ブレーキ／ABS	3-16
ESC／ASR（エレクトロニックスタビリティプログラム／ アンチスケーティングレギュレーション）	3-17
SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）	3-19
FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター） （ディーゼル車）	3-22
ストップ&スタート	3-23
ブラインドスポットモニター	3-26
クルーズコントロール／スピードリミッター	3-29
パーキングスペースセンサー	3-35
パーキングアシスタンス	3-36

エンジンの始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

警告

- エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジンがかかっている間は、車から離れないでください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. シフトレバーを **P** または **N** の位置にします。
3. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
4. ブレーキペダル①およびクラッチペダル（マニュアル車）を踏みながら **START/STOP** スイッチ②を押します。

5. スターターが回り、エンジンが始動します。



ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。

●エンジンの停止

1. 車を完全に止めます。
シフトレバーを **P** または **N** の位置にします。
2. **START/STOP** スイッチを押します。
3. エンジンが停止し、ステアリングがロックされます。

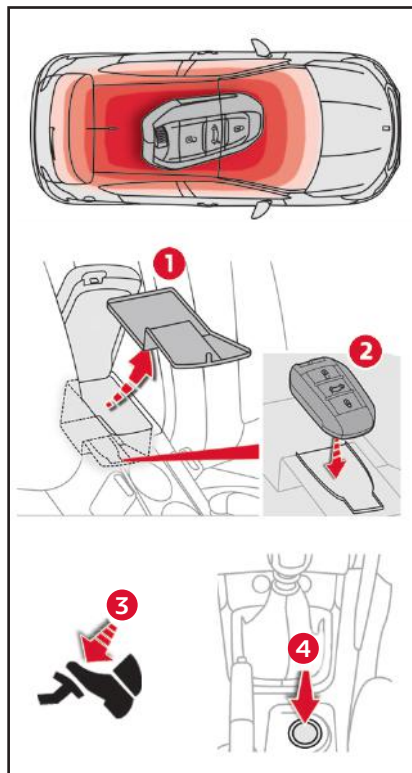


- エンジンの始動条件を満たしていない場合は、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
- エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。

START/STOPスイッチの役割

スイッチの状況	運転者の操作内容	車両の動作内容
アクセサリポジション	ペダルを踏まずに、 START/STOP スイッチを押します。スイッチを押すたびに、イグニッションのオン/オフが切り替わります。	イグニッションがオンとなり、警告灯類が点灯します。しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。
スタートポジション	ブレーキペダルおよびクラッチペダル（マニュアル車）を踏みながら、 START/STOP スイッチを押します。	エンジンが始動します。ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリ装備が使用できます。

●エンジンの緊急始動



スマートキーが車内の検知エリアにあるにも関わらず、**START/STOP** スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. フロントアームレストのカバーを上げ、つまみを引き上げてマット①を取り外します。
2. スマートキーをリーダー②に置きます。
3. シフトレバーを **P** または **N** の位置にします。
4. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
5. ブレーキペダル③およびクラッチペダル（マニュアル車）を踏みながら、**START/STOP** スイッチ④を押します。
6. スターターが回り、エンジンが始動します。



ディーゼル車は、予熱表示灯が点灯後消灯したらエンジンが始動します。



緊急時以外は使用しないでください。

●エンジンの緊急停止



緊急時のためにエンジンを強制的に停止することができます。

スマートキーが車内の検知エリアにないときは、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。

START/STOP スイッチを約 3 秒間押し続けます。車両が停止すると同時にステアリングがロックされて動かなくなります。



- 緊急時以外は使用しないでください。
- エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

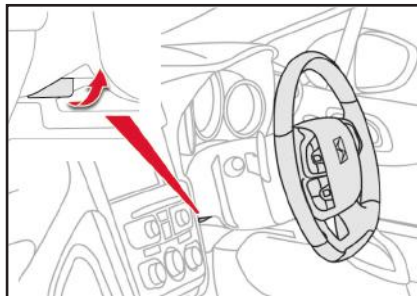
●ターボ車の取り扱い

エンジン始動直後でエンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速はしないでください。

高速走行後や山道走行後は、アイドリング運転でターボ装置を冷却してからエンジンを停止してください。

また、イグニッションをオフにするときに空ぶかししないでください。ターボが損傷するおそれがあります。

ステアリング／ホーン



●チルトステアリング

ロックレバーを手前に引くと、チルトステアリングのロックが解除されます。

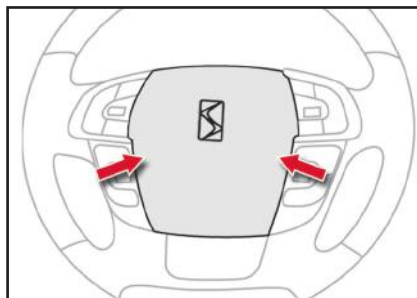
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

⚠ 警告

チルトステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠ 注意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。



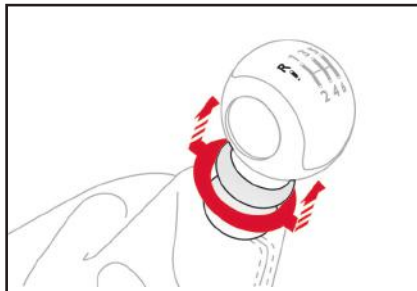
●ホーン

ステアリングの中央を押してください。



ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

6速マニュアルトランスミッション*



●後退するときは

誤操作を防ぐため、シフトレバー下のリングを引き上げて、シフトレバーをいったん左方向に動かしてから、前方に動かします。

⚠ 注意

シフトレバーをRに入れるときは、車を停止させエンジン回転をアイドルリング状態にしてください。

●5速・6速に入れるときは

シフトレバーを右方向へいっぱいに動かしてからギアを入れます。

⚠ 警告

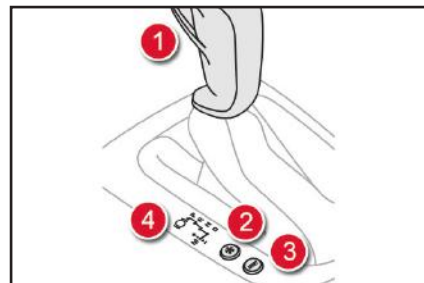
安全かつ円滑にエンジンを始動するため、以下の点にご注意ください。

- ・シフトレバーをNにする。
- ・クラッチペダルを踏む。

運転装置の使いかた

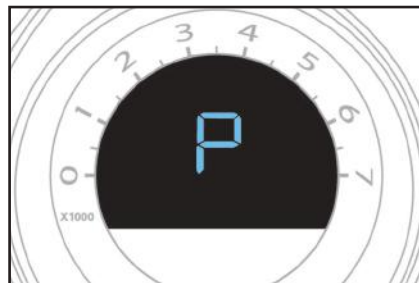
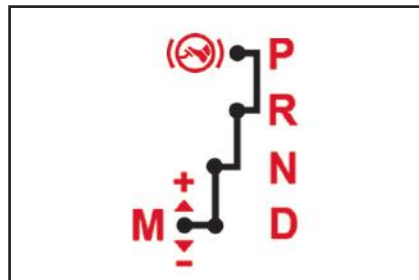
オートマチックトランスミッション (シフトレバー) *

シフトゲート



- ①: シフトレバー
- ②: スノーモードスイッチ
- ③: スポーツモードスイッチ
- ④: シフトポジション表示

シフトポジション



シフトポジションはインストルメントパネルに表示されます。

P. パーキング: 駐車するときに使用します。
エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

R. リバース: 後退します。
エンジンがアイドリング状態で、車が停止している時にシフトしてください。

N. ニュートラル: エンジンを始動できます。パーキングブレーキを併用してください。

D. ドライブ: 1速からオーバードライブまで、走行に応じて自動的にギアが切り換わります。

M. マニュアルシフトポジション:



+方向に動かすとシフトアップし、-方向に動かすとシフトダウンします。



この表示が点灯したときは、マニュアルモードで正しいギアが選択されていません。

注意

NからRやD、Mにシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。

*仕様により異なります。



マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転の許容範囲でのみ行うことができます。その範囲を超えるとときは、一時的にオートマチックモードになります。

モードセクター

オートマチックトランスミッションでは、スポーツ、スノーの2つのモードの選択が可能です。シフトレバーがDのとき、シフトゲートのスポーツモードスイッチまたはスノーモードスイッチを押してください。選択されたモードは、インストルメントパネルに表示されます。選択したモードを解除するには、もう一度同じスイッチを押してください。



スポーツモード：エンジンのパフォーマンスを最大限に発揮する変速パターンになります。



スノーモード：滑りやすい雪道に合わせた穏やかな変速パターンが選択されます。



マニュアルモードで走行しているときは、スポーツやスノーモードの選択操作はできません。

クリーブ現象

停車中にシフトレバーをD、RまたはM位置にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。

特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンを始動したままお子さまだけを残して車を離れないでください。

点検のためにエンジンをかけたまま車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトレバーをPに入れてください。

キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、シフトレバーには手を触れずにアクセルペダルをいっぱい踏みこんでください。シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。またブレーキを踏むと、エンジンブレーキを効かせるためにシフトダウンします。ただし、安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、Dレンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトレバーをMレンジにして低いギアを選択することができます。(たとえばD→3、3→2)

ただし、2から1への切り換えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件(雪道や凍った道路)では十分にご注意ください。

運転装置の使いかた

シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと**P**の位置からほかにレバーを動かすことはできません。

注意

シフトレバーが**P**に入っているときにバッテリーが上がると、シフトロックは解除されず、レバーを動かすことができません。無理にレバーを動かすと破損するおそれがあります。

SERVICE 警告音と共にこの警告灯が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されたときは、システムはセーフティーモードに入り、**3**(3速)に固定されて走行します。
Pや**N**から**R**にシフトしたときに、大きなショックを伴うことがあります。トランスミッションを損傷することはありません。時速100Km以下の速度で走行して、当社指定サービス工場での点検を受けてください。

警告

- 走行中は、シフトレバーを**N**位置に入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトレバーを**P**の位置に入れてパーキングブレーキをかけてください。クリーブ現象で車がひとりで動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
停車後、シフトレバーが**P**以外の位置でドアを開ける、またはイグニッションをオフにして45秒経過すると、警告音と共にマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。
- エンジンがかかっているときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。

注意

- エンジンを始動するときは、シフトレバーを**P**の位置に入れ、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。
- シフトレバーを**N**から**D**または**R**に入れるときは、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷つけるおそれがあります。

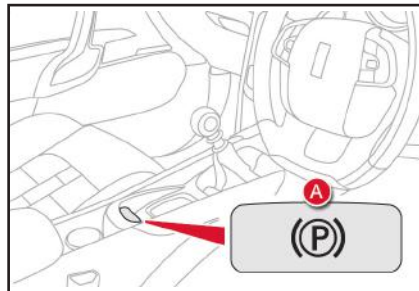
注意

車が完全に停止する前にシフトレバーを**P**や**R**に入れないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。



渋滞時などエンジンをかけたまま停車する場合は、シフトレバーを**N**に入れてパーキングブレーキをかけることにより、燃料消費を抑えることができます。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

- ・ エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
- ・ パーキングブレーキスイッチAの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。



パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチAのインジケータが点灯します。また、マルチファンクションディスプレイに“**Parking brake applied** (パーキングブレーキ作動)”と表示されます。

パーキングブレーキを解除する

以下の操作をすると、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

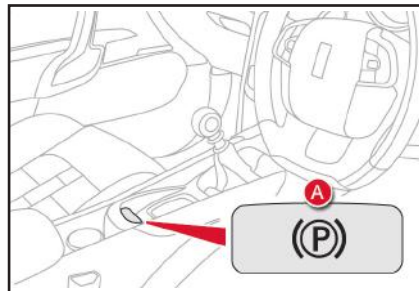
- ・ マニュアル車：
1速またはRにギアを入れ、クラッチをつなぎながら発進します。
- ・ オートマチック車：
シフトレバーがD、MまたはRの位置でアクセルペダルを踏み込んで発進します。



パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチAのインジケータが消灯します。また、マルチファンクションディスプレイに“**Parking brake released** (パーキングブレーキ解除)”と表示されます。

運転装置の使いかた

●パーキングブレーキの手動操作



パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。



パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが点灯します。また、マルチファンクションディスプレイに“**Parking brake applied** (パーキングブレーキ作動)”と表示されます。



エンジン作動中にシフトレバーが**P**以外の位置でパーキングブレーキをかけずに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

イグニッションがオンのとき、またはエンジン作動中にブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引いて放すと、パーキングブレーキが解除されます。



パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチ**A**のインジケーターが消灯します。また、マルチファンクションディスプレイに“**Parking brake released** (パーキングブレーキ解除)”と表示されます。



ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチ**A**を手前に引くと、パーキングブレーキは解除されず、インストルメントパネルに警告灯が点灯します。

最大制動力が必要な場合

以下のような場合は、前輪を歩道側に向け、必ずギアを入れてからパーキングブレーキの制動力を最大にして駐車してください。

1. トレーラー等をけん引しているときに、オートマチック機能が作動状態でパーキングブレーキを手動で操作する場合
2. 重い荷物を積んだりトレーラー等をけん引している状態で、勾配のある場所に駐車する場合

最大制動力でパーキングブレーキをかけるには、マルチファンクションディスプレイに“**Parking brake applied fully** (パーキングブレーキ最大制動力作動)”と表示され、アラーム音が鳴るまでパーキングブレーキスイッチAを引き続けま



最大制動力でパーキングブレーキをかけた後は、パーキングブレーキの解除に通常より時間がかかります。

警告

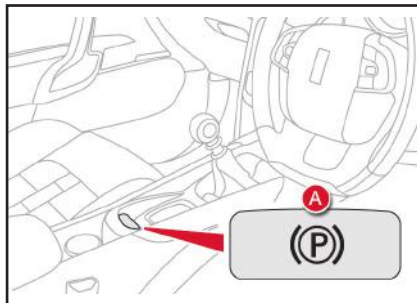
- エンジンをかけて停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能によって、ブレーキが解除され、お車が飛び出すおそれがあります。
- 駐車してお車を離れるときは、ブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。
- パーキングブレーキスイッチやシフトレバー周辺に物を置かないでください。操作の妨げになり、事故につながるおそれがあります。
- エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。イグニッションをオンにしたままの状態、お子さまを車内に残して車を離れないでください。



坂道に駐車するときには、タイヤを路肩に斜めにあて、最大制動力でパーキングブレーキをかけてください。

運転装置の使いかた

●非常ブレーキ



この警告灯が点灯しているときは、ESCシステムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。パーキングブレーキスイッチ**A**を繰り返し操作して安定性を確保してください。

非常ブレーキが故障すると、マルチファンクションディスプレイに “**Parking brake fault** (パーキングブレーキ故障)”、と表示されます。

ブレーキシステム(フットブレーキ)が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチ**A**を引き続けて車両を停止します。

非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。

⚠ 警告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。

ヒルスタートアシスタンス

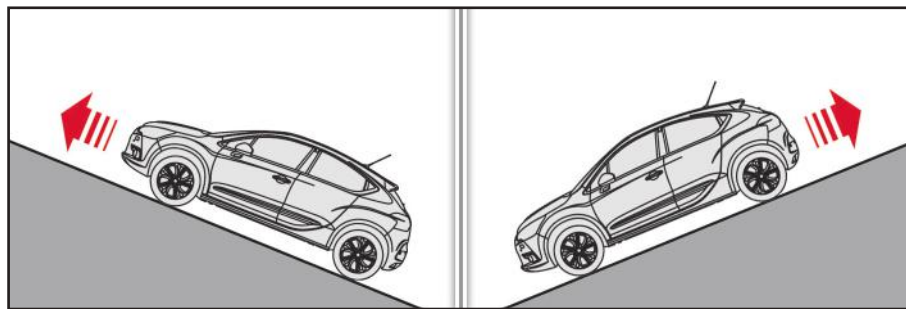
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべてそろったときに作動します。

- ・ 坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
- ・ 運転席ドアが閉まっている。
- ・ 坂道の勾配が適正である。

警告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむをえずエンジンをかけたまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯していることを確認してください。



●登り坂で前方へ発進するとき

つぎのとき、ブレーキペダルから足を放すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

- ・ マニュアル車：1速またはニュートラル
- ・ オートマチック車：シフトレバーがDまたはM



ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。

●下り坂で後方へ発進するとき

シフトレバーがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

ヒルスタートアシスタンスの故障



SERVICE

ヒルスタートアシスタンスに異常が発生した場合に点灯します。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

運転装置の使いかた

故障表示一覧

⚠ 警告

エレクトリックパーキングブレーキ故障警告灯が点灯し、つぎのいずれかが表示されたときは、車を安全な場所に停車し、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障表示	影響／対処方法
・ バッテリー上がり 	・ バッテリー警告灯が点灯したときは、直ちに安全な場所に停車してください。必要に応じて輪止めをしてください。 ・ エンジンを停止する前にエレクトリックパーキングブレーキをかけてください。
・ “Parking brake fault (パーキングブレーキ故障)” 表示 ・ 以下が点灯   	・ オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能は作動しません。 ・ ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 ・ エレクトリックパーキングブレーキは手動操作のみ可能です。
・ “Parking brake fault (パーキングブレーキ故障)” 表示 ・ 以下が点灯  	・ ブレーキペダルを踏むことによりエレクトリックパーキングブレーキを手動で解除することができます。 ・ ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 ・ オートマチックまたは手動操作でエレクトリックパーキングブレーキをかけることができます。

故障表示	影響／対処方法
・ “Parking brake fault (パーキングブレーキ故障)” 表示 ・ 以下が点灯  SERVICE ・ 場合により以下が点滅 	・ オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能は作動しません。 ・ ヒルスタートアシスタンスは使用できません。 エレクトリックパーキングブレーキをかけるには、以下の操作をしてください。 1. 車を停止してイグニッションをオフにします。 2. パーキングブレーキスイッチを少なくとも5秒以上引き続けて最大制動力をかけます。 3. イグニッションをオンにして、ブレーキ警告灯が点灯していることを確認します。 注意： ・ パーキングブレーキが作動するまでに通常より少し時間がかかる場合があります。 ・ イグニッションをオンにしたとき、ブレーキ警告灯が点滅する、または消灯したままのときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。車は平らな場所に駐車してください。 エレクトリックパーキングブレーキを解除するには、以下の操作をしてください。 1. イグニッションをオンにします。 2. パーキングブレーキスイッチを約3秒間引き上げてから離してください。
・ “Parking brake fault (パーキングブレーキ故障)” 表示 ・ 以下が点灯  ・ 場合により以下が点滅 	・ エンジン停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 ・ エレクトリックパーキングブレーキの手動締結／解除ができません。 ・ 非常ブレーキは作動しません。

ブレーキ／ABS

ABS(アンチロックブレーキシステム)

電子式制動力制御装置(EBFD)を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。タイヤやホイールを交換するときには同じ仕様の製品をお使いください。



警告音とともにこの警告灯が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されたときはABSの機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。直ちに停車して当社指定サービス工場にご連絡ください。



警告音とともにこの警告灯とSTOP警告灯およびABS警告灯が点灯し、さらにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車して当社指定サービス工場にご連絡ください。

ブレーキアシスト(EBA)

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

警告

ABSやEBAは、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。

路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。

この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。



- イグニッションをオンにしたまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリーに故障情報が入力されてABS警告灯が点灯する場合があります。当社指定サービス工場にご相談ください。
- ABS/EBAシステムが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

ESC／ASR(エレクトロニックスタビリティプログラム／アンチスレーディングレギュレーション)

ESC／ASRシステム

ESCシステムは、車の動きと運転者の意図するコースとに著しい差が発生すると自動的に作動して、ABSシステムと連携してブレーキやエンジンを制御し、車の安定性をある程度確保する装置です。

ASRは、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

ただし、ESC/ASR作動時の操縦安定性の確保には限界がありますので、このシステムを過信しないでください。



凍結などで路面が滑りやすい場合は、スタッドレスタイヤの使用をおすすめします。

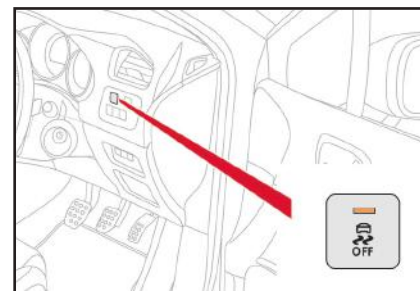
ESC／ASR警告灯



ESC／ASRシステムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

SNOW MOTIONシステム*

SNOW MOTIONシステムは、深い新雪や圧雪路面を走行中に、路面状況に合わせてトラクションを制御することで雪道での走行安定性を向上させます。



●ESC／ASRシステムの解除

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動でESCシステムの解除ができます。



ダッシュボード上のESCキャンセルスイッチを押すと、スイッチのインジケーターと警告灯が点灯します。



通常の走行に戻った場合は、直ちにESCシステムを復帰させてください。

*仕様により異なります。

運転装置の使いかた

●ESC/ASRシステムの復帰

スイッチを使用して解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。

- ・イグニッションをオフにする。
- ・時速50km以上で走行する。

手で復帰させるときは、もう一度ESCキャンセルスイッチを押します。

●ESCシステムの異常



システムに異常が発生したときは、警告音が鳴り、警告灯が点灯するとともにマルチファンクションディスプレイにも表示されます。当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。

⚠ 警告

- ESCシステムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつ当社指定サービス工場での適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故の後や大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でのシステムの点検を受けてください。
- この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

SCR(選択式還元触媒) システム(ディーゼル車)

DS4 は SCR (選択式還元触媒) システムと FAP (ディーゼルパティキュレートフィルター) を採用しています。SCR は、AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。



- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。
- SCR に異常が発生したまま走行を続けるとエンジンを始動できなくなります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

走行可能距離の表示

AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。イグニッションをオンにすると、エンジンを始動できなくなるまでの走行可能距離を表示します。



走行可能距離は、メーターパネルのボタンを押すと表示させることができます。

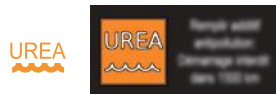
走行可能距離が 2400km 以上の場合イグニッションをオンにしてもメーターパネルに走行可能距離は表示されません。



メーターパネルのボタンを押すと走行可能距離を表示させることができます。

運転装置の使いかた

走行可能距離が 600km から 2400km
の場合



イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。



AdBlue® の補充をしないと、走行中は、300km 毎にメッセージが表示されます。

走行可能距離が 600km 以内の場合



イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。



- AdBlue® の補充をしないと、走行中は、30 秒毎にメッセージが表示されます。
- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。すみやかに当社指定サービス工場で AdBlue® の補充をしてください。

AdBlue® の残量がなくなった場合



イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

AdBlue® の残量がなくなったため、エンジンを始動できません。
直ちに当社指定サービス工場
で AdBlue® の補充をしてください。

SCRシステムの異常

SCRシステムに異常が発生したら、次のような警告が表示されます。

警告が続けて表示される場合は、直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

そのまま走行を続けると、約 1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。

SCRシステムに異常がある場合

UREA SERVICE



SCRシステムに異常が発生した場合は、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます



一時的に警告が表示されることがありますが、その後、警告灯が消灯すれば SCR システムの異常は解消されています。

SCR システムの異常が解消されない場合は、エンジンを始動するたびに警告が表示されます。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

SCR システムの異常により、走行可能距離が 1100km 以内になった場合

UREA SERVICE



SCR システムに異常が発生した後、そのまま約 50km 走行すると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

この警告が表示されると、走行可能距離は約 1100km 以内です。

そのまま走行を続けると、約 1100km 走行した後は、エンジンを停止すると、再始動できなくなります。
直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



SCR システムの異常が解消されない場合は、走行中は、30 秒毎にメッセージが表示されます。
また、エンジンを始動するたびに警告が表示されます。

運転装置の使いかた

SCR システムの異常によりエンジンを始動できなくなった場合



イグニッションをオンにすると、警告音が鳴り、**UREA** 警告灯が点滅し、**SERVICE** 警告灯および自動診断警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。

SCR システムの異常によりエンジンを始動できません。

直ちに でシステムの点検を受けてください。

FAP(ディーゼルパティキュレートフィルター) (ディーゼル車)

FAP (ディーゼルパティキュレートフィルター) は排気ガス中に含まれるススを捕集し、燃焼(再生)処理します。捕集したススが一定量堆積し、警告が表示されると、60km/h 以上の速度で走行し、堆積したススを燃焼(再生)処理することが必要です。

注意

FAP の故障を防ぐため、次のことをお守りください。

- ススが一定量堆積し、警告が表示されたまま長時間走行しないでください。
- 指定以外の燃料を補給しないでください。
- 指定以外のエンジンオイルを使用しないでください。

ススの燃焼(再生) 処理

FAP にススが一定量堆積すると、**SERVICE** 警告灯が一時的に点灯し、メッセージが表示されます。

警告が表示されたら、道路状況を見て、すみやかに 60km/h 以上で走行してください。ススの燃焼(再生)処理が行われます。

燃 焼 (再 生) 処 理 が 終 了 す る と、**SERVICE** 警告灯が消灯します。



- 60km/h 以上の速度でしばらく走行しても **SERVICE** 警告灯が消灯しない場合は当社指定サービス工場で点検を受けてください。
- ご購入いただいてから最初の燃焼(再生)処理中は、焦げたようなにおいがすることがありますが、異常ではありません。
- 長時間の低速走行後やアイドリング運転後の発進や加速時に、排気管から白い煙(水蒸気)が出ることがありますが、異常ではありません。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。

エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

●停止モードへの移行

以下のときに停止モードに移行します。

- ・マニュアルトランスミッション車では、時速 20km 以下でシフトレバーをニュートラルにしてクラッチペダルを離したとき
- ・オートマチック車では、シフトレバーを **N** の位置にしたりブレーキペダルを踏んで停止したとき

ECO エンジンが停止すると、インストルメントパネルの ECO 警告灯が点灯します。

タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、イグニッションをオンにするたびにゼロにリセットされます。

⚠ 警告

停止モードのまま給油しないでください。必ず **START/STOP** スイッチを押してエンジンを停止してください。



- 車庫入れなど、**R** からギアを入れ替えたときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- 停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

停止モードにならないとき

以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- ・坂道の勾配が急なとき
- ・運転席のドアが開いているとき
- ・運転席のシートベルトが締められていないとき
- ・**START/STOP** スイッチを押してエンジンを始動してから時速 10km を超えていないとき
- ・エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき、または操作したとき
- ・エアコンが曇りとりモードのとき
- ・客室の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき
- ・ステアリングが一定角度以上切れているとき
- ・充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき

ECO インストルメントパネルの ECO 警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

運転装置の使いかた

●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

- ・マニュアルトランスミッション車では、クラッチペダルを踏んだとき
- ・オートマチック車では、以下のいずれかのとき
 - シフトレバーを**D**か**M**にしてブレーキペダルを離したとき
 - シフトレバーが**N**位置でブレーキペダルを放し、シフトレバーを**D**か**M**に入れたとき
 - シフトレバーを**R**に入れたとき

ECO エンジンが始動すると、インストルメントパネルのECO 警告灯が消灯します。

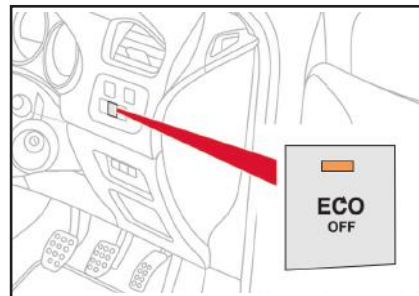
自動的にスタートモードになるとき

以下のときは、運転者への注意喚起や制動力の確保、バッテリー電圧の維持などのためにエンジンが自動的にスタートモードになります。

- ・運転席のドアを開けたとき
- ・運転席のシートベルトを外したとき
- ・時速 3km を超えているとき
- ・エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき、または操作したとき
- ・ステアリング操作を行ったとき
- ・充電その他エンジンの運転がシステム上必要なとき

ECO インストルメントパネルのECO 警告灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ&スタートの解除



ECO OFF スイッチを押すことにより、いつでも作動を解除できます。インジケーターが点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

注意

停止モードのときに作動を解除すると、ただちにエンジンが始動します。

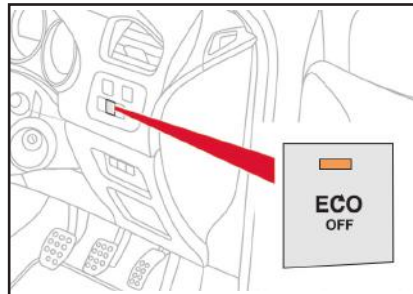
●ストップ&スタートの再作動

再度 ECO OFF スイッチを押すと、システムが作動します。インジケータが消灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。



START/STOP スイッチを押してエンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

ストップ&スタートの故障

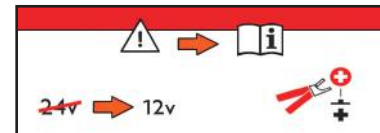


ECO OFFスイッチのインジケータが点滅したのち連続点灯したときは、システムに故障が発生しています。当社指定サービス工場で点検を受けてください。停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。イグニッションをオフにしてエンジンを始動してください。

点検時の注意点

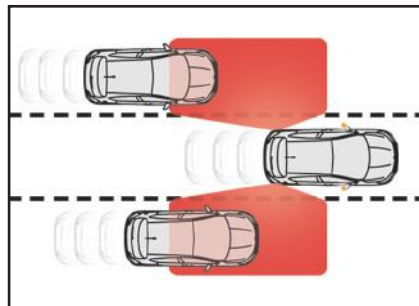
エンジンルームでのどのような作業を行うときも、あらかじめストップ&スタートの作動を解除しておいてください。エンジンが急に始動して、思わぬ怪我をするおそれがあります。

また、このシステムではストップ&スタート専用設計されたバッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換は当社指定サービス工場にご相談ください。



運転装置の使いかた

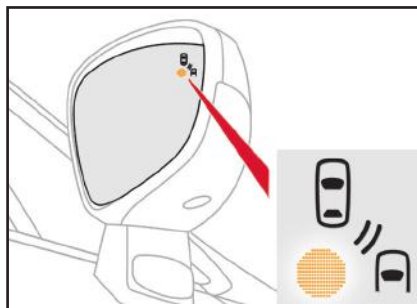
ブラインドスポットモニター



ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

⚠ 警告

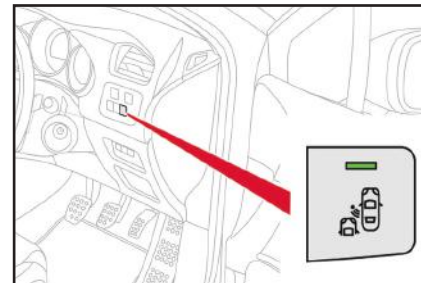
このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の元で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。



他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯します。

- ・ 自車が追い越しをされる場合は、追い越そうとする車がブラインドゾーンに進入した直後に点灯します。
- ・ 自車が追い越しをする場合は、追い越してから約1秒後に点灯します。

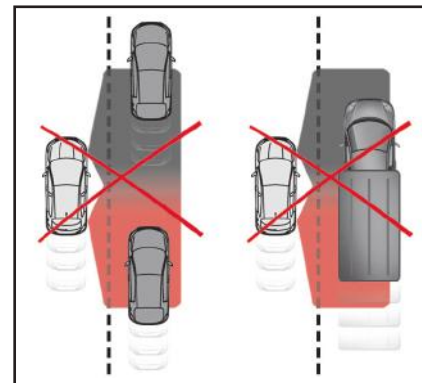
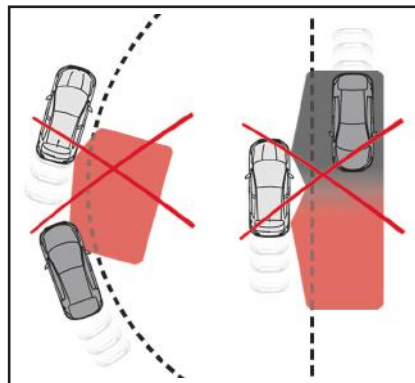
●システムの作動



イグニッションがオンのときにスイッチを押すとインジケーターが点灯し、システムが作動します。

以下の条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

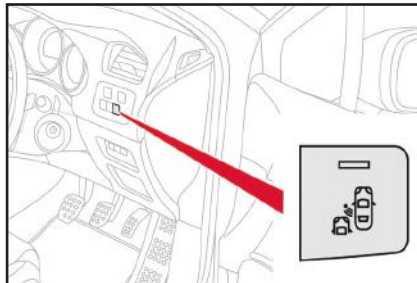
- ・ 自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
- ・ 時速12km以上で走行している
- ・ 他車との速度差が時速10km未満
- ・ 道路状況が混雑していない
- ・ 追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
- ・ 直線またはゆるやかなカーブを走行している
- ・ トレーラー等をけん引していない



以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

- ・ 静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
- ・ 自車とは逆方向に走行している車
- ・ 曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
- ・ 大型車を追い越す（または追い越される）とき
（大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき）
- ・ 道路状況が混雑しているとき
（前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない）
- ・ 急速に追い越すとき

●システムの解除



スイッチを押すとインジケーターが消灯し、システムが解除されます。



- イグニッションをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。
- 当社推奨のけん引装置を使用する場合は、システムが自動的に解除されます。

●システムの故障

システムに異常が発生したときは、インジケーターが点滅した後に消灯します。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。



- システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
- 濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。
- ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- 悪天候や冬期には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

クルーズコントロール／ スピードリミッター

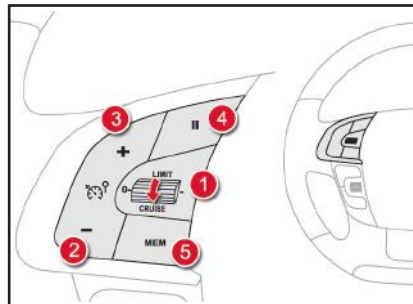
クルーズコントロールは、ドライバーによって時速40km以上で設定された速度を、アクセルペダルを踏まなくても道路の状態にかかわらず常に一定に保って走行する機能です。

シフトレバーが以下の位置にあるときに有効になります。

- ・ オートマチック車：シフトレバーが**D**、または**M**の場合は2速以上
- ・ マニュアル車：4速以上

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を越えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

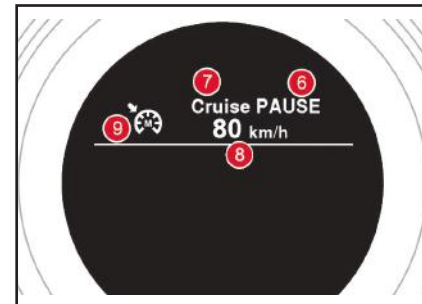
クルーズコントロール



クルーズコントロールは、ステアリング左側のスイッチを使用して設定します。

- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：速度設定／設定速度の減少
- ③：速度設定／設定速度の増加
- ④：システムのオン／オフ
- ⑤：登録されている速度の呼び出し

表示パネル

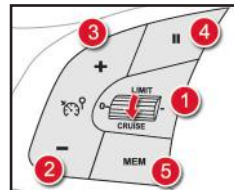


クルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

- ⑥：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
- ⑦：クルーズコントロールモード選択表示
- ⑧：設定スピード表示
- ⑨：設定スピード登録

運転装置の使いかた

クルーズコントロールの設定



ステアリングのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**CRUISE**側に回すと、クルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません。**0**または**LIMIT**の位置に回すとオフになります。

走行速度の設定



希望する速度（時速40km以上）で走行中にステアリングスイッチ②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します。

警告

クルーズコントロールを過信せず、走行速度には十分注意してください。



クルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定の速度を超えてしまう場合にも速度表示が点滅します。



設定速度の変更

定速走行中に、スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。短く押すと1km/hずつ、押し続けると5km/hステップで速度が変化します。

またはアクセルペダルを踏んで加速した後にステアリングスイッチ②か③を押すと、あらためてその速度にセットされます。

設定速度の解除



スイッチ④を押すか、ブレーキペダルを踏むと、クルーズコントロールが解除されます。また、最低速度や使用ギアの範囲を超えたとき、ESCが作動したときにも解除されます。

解除後、再度スイッチ④を押すと最後の設定速度に戻ります。

設定速度の消去

イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター/クルーズコントロール切り替えスイッチをOにすると設定速度の記憶が消去されます。

システムの異常



速度表示が消えて一が数秒間点滅しているときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告

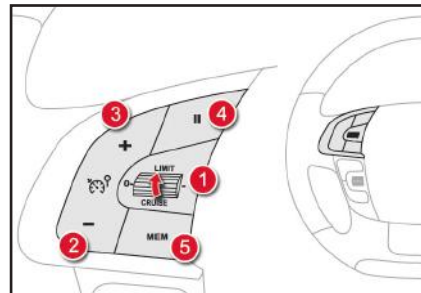
- スイッチ②または③を押し続けて速度を変更する時、急加速または急減速することがありますので十分注意してください。

警告

- とっさのときでもすぐに操作できるよう、定速走行中でもアクセルペダルやブレーキペダルの近くに足を置いてください。
- 交通量が多い道路や滑りやすい路面では、クルーズコントロールを使用しないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- クルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、適切な車間距離を保って走行してください。前を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- クルーズコントロールシステムを使用しない場合には、クルーズコントロール機能をオフにしてください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
- 道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながる恐れがあります。

運転装置の使いかた

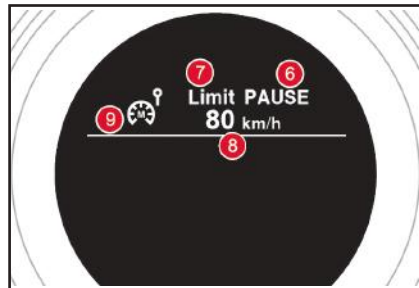
スピードリミッター



スピードリミッターは、ステアリング左側のスイッチを使用して設定します。

- ①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
- ②：設定速度の減少
- ③：設定速度の増加
- ④：システムのオン／オフ
- ⑤：登録されている速度の呼び出し

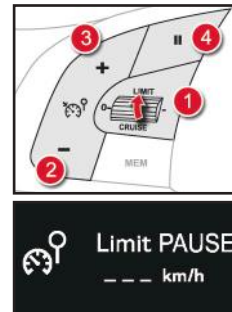
表示パネル



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

- ⑥：スピードリミッターオン／オフ状況表示
- ⑦：スピードリミッターモード選択表示
- ⑧：設定スピード表示
- ⑨：設定スピード登録

スピードリミッターの設定



ステアリングのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を**LIMIT**側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます。

イグニッションをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを**O**または**CRUISE**にするとシステムはオフになりますが、設定速度の記憶は残ります。

最高速度の設定



ステアリングスイッチ②か③を押して、希望する速度を設定します。スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。

短く押すと1km/hずつ、押し続けると5km/hステップで速度が変化します。

スピードリミッターの作動



スイッチ④を押すと、設定速度がディスプレイに表示されてスピードリミッターが作動します。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度スイッチ④を押すと、解除されます。

警告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。



スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏みこむことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にも速度の表示が点滅します。



システムの異常



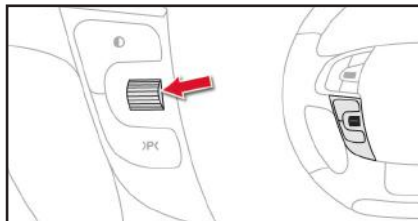
速度表示が消えて一が数秒間点滅しているときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

運転装置の使いかた

●設定速度の登録

クルーズコントロールおよびスピードリミッターの設定速度を5件まで登録することができます。

登録



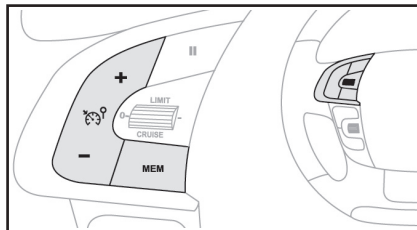
登録はマルチファンクションディスプレイの**Vehicle parameters**メニューで行います。

操作方法は、4-29ページの「マルチファンクションディスプレイ」を参照してください。



- 走行中は登録の操作をすることができません。
- 初期設定として、あらかじめいくつかの速度が登録されています。

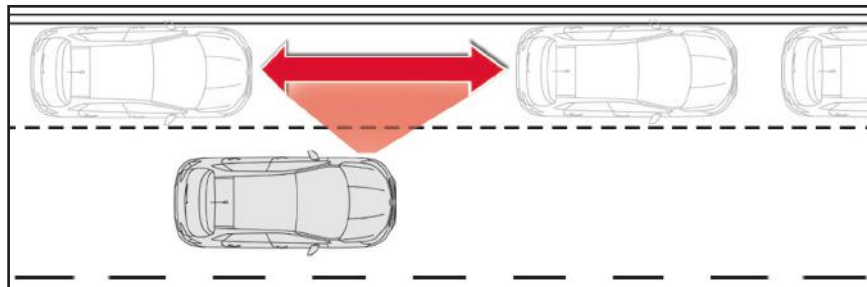
呼び出し



1. ボタン**MEM**を押すと、登録した速度のリストが表示されます。
2. ボタン**+**またはボタン**-**を押すと、登録されている中で走行速度に一番近い速度が表示されます。
3. 再度ボタン**+**またはボタン**-**を押し続けると、登録されている速度を選択することができます。

設定速度およびクルーズコントロール／スピードリミッターの作動状況はインストルメントパネルに表示されます。

パーキングスペースセンサー*



パーキングスペースセンサーは、縦列駐車の際に駐車可能なスペースかどうかを判断して、駐車をアシストするシステムです。駐車スペースの大きさを測定し、以下の情報を運転者に提供します。

- ・駐車スペース（距離）の測定結果を踏まえた駐車可否
- ・駐車難易度



- 駐車スペースが車よりあきらかに大きい場合または小さい場合は、システムは作動しません。
- 車と駐車スペースの間が大きく離れているときは、測定をすることができません。

パーキングスペースセンサー作動表示灯



表示灯は、以下の状態をそれぞれ示します。

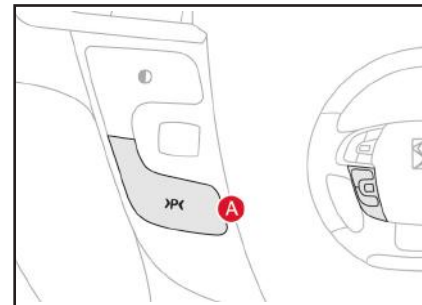
点灯

- ・（スイッチを押して）パーキングスペースセンサーを使用しています。

消灯

- ・パーキングスペースセンサーを使用していません。

●測定方法



1. スイッチAを押して、パーキングスペースセンサーを作動します。
2. 駐車スペース側の方向指示器を作動すると、測定を開始します。
マルチファンクションディスプレイに測定が進行中であることを示すメッセージが表示されます。
3. 測定中は、時速20km未満で駐車スペースにそって前進します。
4. 警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに駐車難易度が表示されます。
5. 難易度によって、駐車をするか判断します。

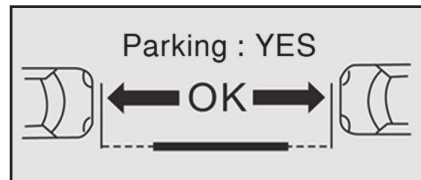
*仕様により異なります。

運転装置の使いかた

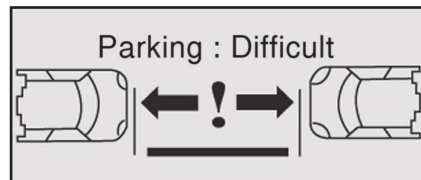
難易度の表示

表示されるメッセージには、以下のよう
な種類があります。

駐車可能



駐車困難



駐車不可能



●パーキングスペースセンサーの解除

以下の場合、パーキングスペースセン
サーは自動的に解除されます。

- ・シフトレバーをRに入れたとき
- ・イグニッションをオフにしたとき
- ・測定をしなかった
- ・作動後5分経過したとき
- ・時速70kmを超えて1分間走行したとき



●測定が終了してもパーキングス
ペースセンサーは有効のままです。続け
て別の駐車スペースを測定すること
ができます。

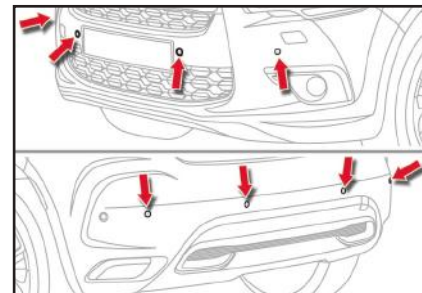
●悪天候や冬期には、泥や氷雪など
でセンサーが覆われないように注意
してください。

●パーキングスペースセンサーを使用
しているときは、パーキングアシ
スタンスは作動しません。

⚠ 注意

異常が発生した場合は、当社指定サー
ビス工場にご連絡ください。

パーキングアシスタンス

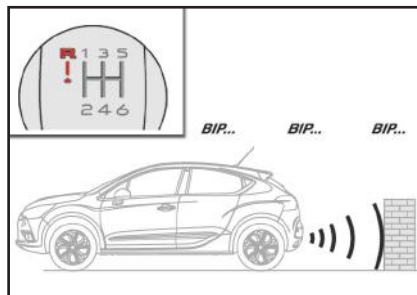


フロント*／リアバンパーに埋め込まれた
センサーが障害物（歩行者、車、立木、
門など）を検知します。

システムは、以下のときに作動します。

- ・エンジン回転中にシフトレバーをRに
入れる
- ・時速10km以下で前進している*

*仕様により異なります。

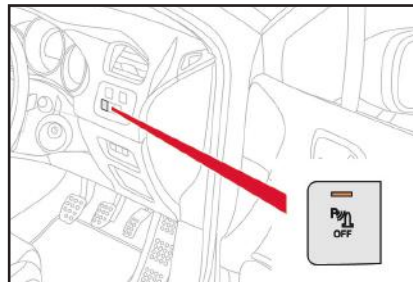


障害物に接近すると警告音の頻度が上がり、およそ**30cm**以内に接近すると連続した警告音に変わります。

システムは、以下のときに解除になります。

- ・シフトレバーを**R**以外に入れる
- ・時速10km以上で前進する*
- ・前進方向で3秒以上停止する*

●パーキングアシスタンスの強制解除



ダッシュボード上のスイッチを押すことで、このシステムは機能しなくなります。再度スイッチを押すと、再び作動しはじめます。

●システムの異常

この機能に異常があると、シフトレバーを**R**に入れたと短い警告音とともにインストルメントパネル上に警告灯が表示されます。また、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場ですシステムの点検を受けてください。

SERVICE

⚠ 警告

障害物の形状によってはセンサーが検知できないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。

MEMO

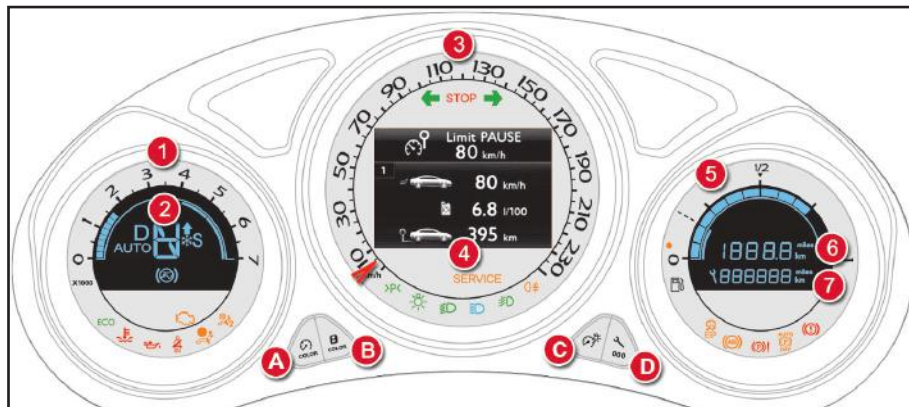
- フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。
- フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。
- けん引するときや自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを停止する必要があります。
- 走行中に、車、トラック、ドリルなどの騒音によって警告音が鳴ることがあります。

*仕様により異なります。

第4章 メーター・ライト・ワイパー 装置の使いかた

インストルメントパネル	4-2
表示灯類	4-4
警告灯類	4-8
エンジン油量インジケーター	4-15
サービスインジケーター	4-16
インストルメントパネルの調整 (リセット、 マニュアルチェック、色／音の変更、明るさ調整)	4-18
ライト類 (ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、 ハザードランプ)	4-19
ワイパー／ウォッシャー	4-27
マルチファンクションディスプレイ	4-30
ドライブコンピューター	4-33

インストルメントパネル



メーター

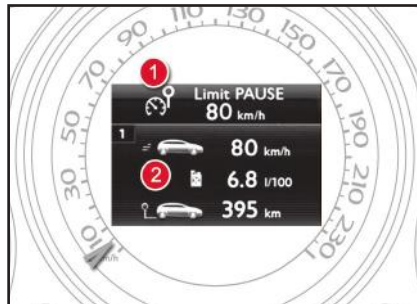
1. タコメーター
2. シフトポジション
シフトタイミングインジケーター
(マニュアル車)
3. スピードメーター
4. マルチファンクションディスプレイ

5. 燃料計
6. トリップメーター
7. オドメーター
スパナマーク (サービスインジケーター)

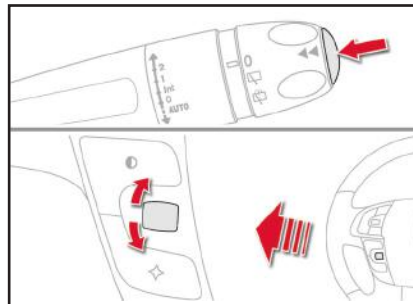
スイッチ

- A. メーター色変更
- B. 背景色変更
- C. インストルメントパネル照度調整
- D. マニュアルチェック
リセットボタン/走行可能距離表示
ボタン (ディーゼル車)

マルチファンクションディスプレイ

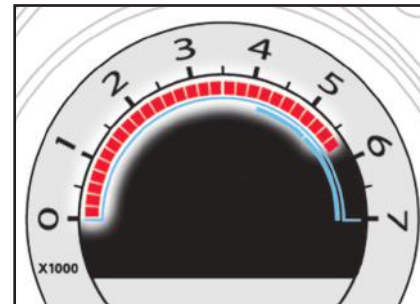


1. クルーズコントロール表示
スピードリミッター表示
2. エンジン油量インジケーター*
(イグニッションをオンにすると数秒間表示します。)
サービスインジケーター*
(イグニッションをオンにすると数秒間表示します。)
速度表示
ドライブコンピューター
外気温表示



ワイパーレバー先端またはステアリング左側のスイッチを操作して、常時表示する画面を選択します。

タコメーター



エンジン回転数が増大するとゲージが赤く*点滅し、シフトアップの必要があることを示します。



警告や車両状況のメッセージも一時的に画面に表示されます。

*仕様により異なります。

表示灯類

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。

いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあります。また、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。

例：パーキングブレーキがかかっている／ブレーキシステムに異常がある。

作動状態を表示する表示灯

表示灯		状態	意味	対処方法
	左方向 ウインカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	右方向 ウインカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上に動かされています。	同上
	ハザードランプ	点滅／ブザー	ハザードランプスイッチを押しました。	ハザードランプスイッチを再度押すと消灯します。
	ポジション ランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。	ライトスイッチレバーをOにすると消灯します。
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。 ライトスイッチが AUTO の位置にあります。(周囲の明るさに応じて点灯)	同上
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

表示灯		状態	意味	対処方法
	フロント フォグランプ	点灯	ライトスイッチレバーのリングを前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	リア フォグランプ	点灯	ライトスイッチレバーのリングを2回前方へ回しました。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	予熱表示灯 (ディーゼル車)	点灯	START/STOP スイッチを押しました。	予熱表示灯が消灯したら、以下のときにエンジンが始動します。 ・マニュアルトランスミッション車では、クラッチペダルを奥まで踏み込んでいるとき ・オートマチック車では、ブレーキペダルを踏んでいるとき 予熱表示灯の点灯時間は、気温によって変化します（最長約30秒）。 エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度オンにした後、予熱表示灯が消灯するのを待ってください。
	パーキング ブレーキ	点灯	パーキングブレーキがかかっています。	ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキを解除してください。
	エレクトリック パーキング ブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを引いてエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

表示灯		状態	意味	対処方法
	パーキング スペースセンサー	点灯	パーキングスペースセンサー機能が作動中であることを示します。	測定を開始するときは、駐車スペースを測定する側の方 向指示器を作動させて、時速20km以下で走行します。 測定が完了すると、メッセージが表示されます。

機能停止を表示する表示灯

表示灯		状態	意味	対処方法
	助手席 エアバッグ	点灯	助手席エアバッグキャンセルスイッチがOFF位置にあります。助手席エアバッグは作動しません。	助手席エアバッグを作動するようにしたいときは、ON位置にしてください。この場合、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。
	ESC/ASR	点灯	ESC/ASRシステムが解除されています。	ESCキャンセルスイッチを使用して解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。 ・イグニッションをオフにする ・時速50km以上で走行する 手動で復帰させるときは、もう一度ESCキャンセルスイッチを押します。
	オートマチック エレクトリック パーキング ブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキング機能に異常が発生しています。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
	ストップ& スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ&スタートによってエンジンが停止しています。	詳細は「ストップ&スタート」項を参照してください。
		数秒間点滅して 消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	

警告灯		状態	意味	対処方法
STOP	STOP	点灯／警告音／メッセージ（マルチファンクションディスプレイ）	ブレーキ、パワーステアリング、エンジン油圧、冷却水温に異常が発生しています。	直ちに車を安全で平らな場所に停止させ、エンジンを止め、当社指定サービス工場へご連絡ください。
SERVICE	SERVICE	点灯（一時的）	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	マルチファンクションディスプレイに表示されたメッセージと連動しています。 ・FAP（ディーゼルパティキュレートフィルター）にススが一定量堆積した（ディーゼル車） ・タイヤ空気圧 ・エンジンオイル油量 ・リモコンの電池切れ など 解決しない場合は、直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。
		点灯	重大な不良が発生しているおそれがあります。	マルチファンクションディスプレイに表示されたメッセージと連動しています。 直ちに当社指定サービス工場へご連絡ください。
SERVICE	SERVICE（ディーゼル車）	点灯（サービスインジケータースパナマークが点滅し、その後点灯）	定期点検整備時期を経過しています。	直ちに当社指定サービス工場定期点検整備を受けてください。
	バッテリー	点灯	充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社推奨のブレーキ液を補給してください。 問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場にて点検を受けてください。
 		点灯	ブレーキシステムに異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを止め、当社指定サービス工場にご連絡ください。
 		点灯	電子式制動力制御装置 (EBFD) に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にて点検を受けてください。
	ABS(アンチロックブレーキ)	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。
	エレクトリックパーキングブレーキ	点滅	エレクトリックパーキングブレーキが途中で止まっています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。
 	エレクトリックパーキングブレーキ故障	点灯	エレクトリックパーキングブレーキに故障が発生しています。	オートマチックエレクトリックパーキング機能は使用できません。 直ちに停車させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。

警告灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ 作動促進	点灯	ブレーキペダルを踏んでいません。	エンジンを始動するときは、(シフトレバーを N の位置に入れて)ブレーキペダルを踏んでください。
		点滅	アクセルペダルを使って、上り坂で停止状態を保持しています。	ブレーキペダルまたはエレクトリックパーキングブレーキを使用してください。 クラッチがオーバーヒートするおそれがあります。
	ESC/ASR	点滅	ESC/ASRシステムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯	ESC/ASRシステムに異常が発生しています。(ESCシステムをキャンセルしている場合を除く)	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	パワー ステアリング	点灯	パワーステアリングシステムに異常が発生しています。	注意して速度を下げた走行し、直ちに当社指定サービス工場へ点検を受けてください。
	エアバッグ	点灯 (一時的)	システムの点検中です。 (数秒間点灯した後に消灯)	エンジンを始動すると消灯します。 警告灯が消えない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場へ点検を受けてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯		状態	意味	対処方法
	シートベルト	点灯 (時速20km未満)	・前席の乗員がシートベルトを着用していません ・前席および後席の乗員が着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音 (時速20km以上)		
	ディレクショナルヘッドライト	点滅	ディレクショナルヘッドライトに異常が発生しています。	当社指定サービス工場にて点検を受けてください。
	冷却水温	点灯 (赤)	冷却水の温度が過大に上昇しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	エンジン油圧	点灯	油圧が不足しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちに当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。当社指定サービス工場にて点検を受けてください。

警告灯		状態	意味	対処方法
	燃料残量	点灯	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	早めに燃料を補給してください。(「MEMO」を参照) 燃料タンクの容量は約60リットルです。
	UREA (ディーゼル車)	点灯／警告音／メッセージ	AdBlue®の残量が少なくなっています。 走行可能距離は600kmから2400kmです。	早めに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。
		点滅／警告音／メッセージ (SERVICE警告灯も点灯)	AdBlue®の残量がわずかになっています。 走行可能距離は600km以内です。 AdBlue®の残量がなくなりました。 エンジンを始動できません。	すみやかに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。 直ちに当社指定サービス工場でのAdBlue®の補充をしてください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

警告灯		状態	意味	対処方法
	SCRシステム (ディーゼル車)	点灯／警告音 ／メッセージ (SERVICE 警告 灯と自動診断警 告灯も点灯)	SCRシステムに異常が発生して います。	一時的に警告が表示されることがありますが、そ の後、警告灯が消灯すればSCRシステムの異常 は解消されています。 SCRシステムの異常が解消されない場合は、エ ンジンを開始するたびに警告が表示されます。 当社指定サービス工場でシステムの点検を受け てください。
		点滅／警告音 ／メッセージ (SERVICE 警告 灯と自動診断警 告灯も点灯)	SCRシステムに異常が発生して います。 走行可能距離は1100km以内 です。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検 を受けてください。
		点滅／警告音 ／メッセージ (SERVICE 警告 灯と自動診断警 告灯も点灯)	SCRシステムの異常によりエン ジンを始動できません。	直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検 を受けてください。

⚠ 警告

- STOP警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- 警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し（xiii、xxivページ参照）点検してください（6-3ページ参照）。



高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

エンジン油量インジケーター*

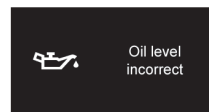
イグニッションをオンにすると、インストルメントパネルに油量の状態が数秒間表示されます。

油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

エンジンオイル量は正常です。



エンジンオイル量が少なくなっています。



SERVICE警告灯、警告音とともに**OIL**が点滅、またはメッセージが表示されます。エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、少ないときは補充してください。エンジンオイルが少ないまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

オイルレベルセンサーの故障

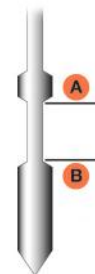


OIL--が点滅、またはメッセージが表示されます。

車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、当社指定サービス工場にご連絡ください。



オイルレベルゲージ



ゲージには2ヶ所のマークがあります。

A: オイル量最大
これを超えないようにしてください。

B: オイル量最少
Aと**B**の間になるようにオイルを補充してください。

*仕様により異なります。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次のメーカー推奨点検時期がいつ頃かを知らせるものです。

●作動

イグニッションをオンにした後の数秒間、次の点検までのおよその残りキロ数が表示されます。
ただし、次の点検まで3000km以上の場合は、表示されません。

例1

次の点検までおよそ2800kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。



その後は本来の機能に戻り、オドメーターとして機能します。

例2

次の点検まで900kmであることを示しています。この表示は数秒間表示されます。



その後はオドメーターとして機能しますが、1000km以内の場合はスパナのマークは残ります。

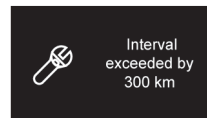
●点検時期を経過した場合

イグニッションをオンにした後の数秒間、スパナのマークが点滅し、点検時期経過後のおよその走行キロ数がマイナス表示されます。

SERVICE ディーゼル車は、**SERVICE** 警告灯も点灯します。

例

点検時期を経過してからおよそ300km走行したことを示しています。この表示は数秒間表示されます。

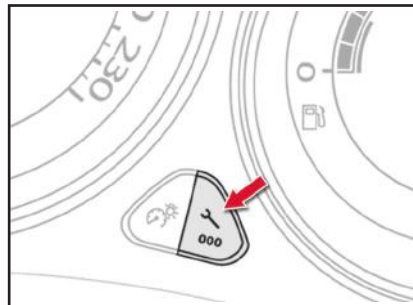


その後はオドメーターとして機能しますが、スパナのマークは残ります。



- 点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。
- ディーゼル車は、エンジンオイルの状態からも点検時期のお知らせを割り出しています。運転の状況により、通常より早くスパナマークが点灯する場合があります。

ゼロリセット



リセットは当社指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

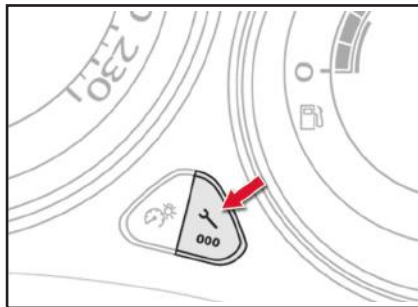
1. イグニッションをオフにします。
2. インstrumentパネルのボタンを押し続けます。
3. イグニッションをオンにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. 表示が= / 0になり、スパナのマークが消えます。
6. リセットが完了。押していたリセットボタンを離します。



- 当社指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケータをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケータを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際に当社指定サービス工場の担当者にお伝えください。
- サービスインジケータの表示中は、リセットの操作をすることができません。
- リセット直後にバッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、バッテリーをはずしてください。

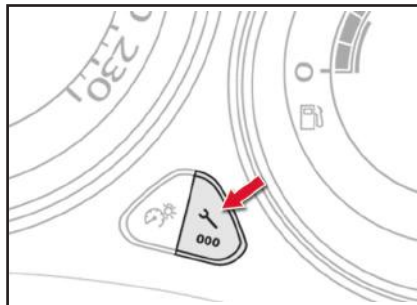
インストルメントパネルの調整（リセット、マニュアルチェック、色／音の変更、明るさ調整）

●トリップメーター



トリップメーターをリセットするには、**000**ボタンを数秒間押します。

●マニュアルチェック



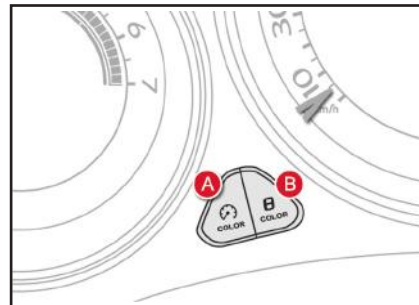
エンジン作動中にインストルメントパネルの**000**ボタンを押します。
インストルメントパネルに以下の情報が表示されます。

- ・ エンジン油量インジケーター
- ・ サービスインジケーター
- ・ 現在の不具合状況
- ・ 機能設定状況



マニュアルチェックの情報は、イグニッションをオンにするとときに毎回表示されます。

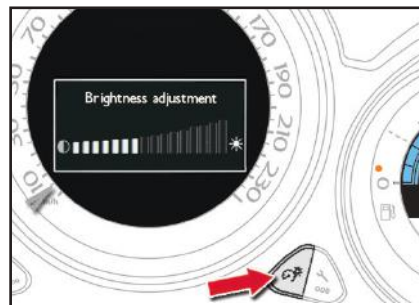
●インストルメントパネル色の変更



- A. メーター色変更
- B. 背景色変更

インストルメントパネル色は白から青へ5段階に変わります。
それぞれのボタンを押して、設定したいメーター色／背景色を選択します。

- インストルメントパネル照度調整
インストルメントパネルの明るさを調整することができます。

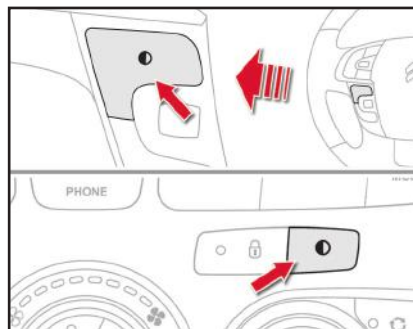


ライトスイッチをオンにしてボタンを押し続けると、明から暗へまたは暗から明へとインストルメントパネルの明るさが変化します。ボタンを離すと、その明るさに設定されます。

ボタンを押し続けると、明（または暗）の状態になるので、一度押し直すと暗（または明）に変化します。

インストルメントパネルには明るさレベル（16段階）が表示されます。

- ブラックパネルモード
夜間などインストルメントパネルが明るく気になるときは、ブラックパネルモードが効果的です。



ライトスイッチがオンのときにスイッチを押すと、ブラックパネルモードになります。

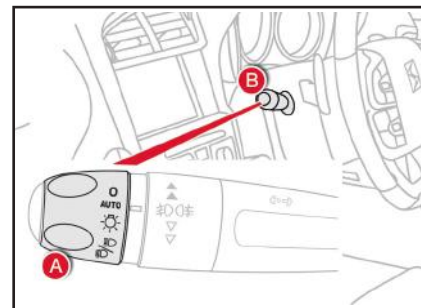
スピード表示、シフトポジション、クルーズコントロール／スピードリミッター表示、燃料計以外の照明が消灯します。



- 設定を変更したり、警告が表示されたりした場合、ブラックパネルモードは中断します。
- ダッシュボードの照明は、ブラックパネルモード中も点灯します。

- ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

ヘッドランプ



メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

ライトスイッチ(リングA)

ヘッドランプの操作は、レバーのリングAを回します。

-  すべてのランプが消灯します。
-  オートライトモード
-  ポジションランプおよびテールランプが点灯します。

警告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。



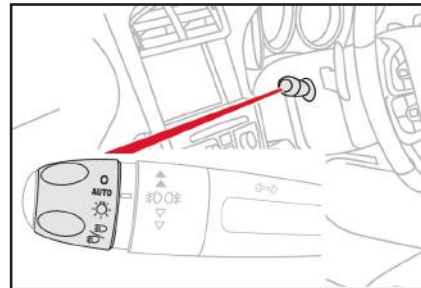
ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り換えるときは、スイッチレバーBを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り換わります。

パッシング

スイッチレバーBを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーを連続して使用すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーの使用をやめると、自動的に消灯します。

作動

リングを**AUTO**位置に回します。マルチファンクションディスプレイにオートライトが選択されていることが表示されます。

機能解除

リングを**AUTO**以外の位置に回します。

⚠ 注意

- 昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。
安全のため、手動でライトを点灯してください。
- ルームミラーの裏側にある照度センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。

SERVICE 照度センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯するとともに、警告音とマルチファンクションディスプレイで故障の発生を通知します。当社指定サービス工場での点検を受けてください。

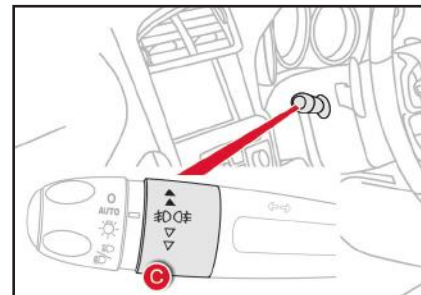


- イグニッションをオフにすると、すべてのライトは消灯します。（フォロワーホーム機能がオンのときを除く）
その後、手動でライトスイッチをオンにした場合は、前席ドアを開けるとライト消し忘れブザーが鳴ります。ライトスイッチをオフにするとブザーは止まります。
イグニッションがオフの状態でライトを点灯したままにすると、エコノミーモードになり一定時間後に消灯します。バッテリー残量により消灯するまでの時間は異なります。
- 低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

フォグランプ

ポジションランプまたはヘッドランプがオンのときに使用できます。

フロントおよびリアフォグランプ



 リングCを前方へ1回まわすとフロントフォグランプが点灯します。リングCをさらに前方へ1回まわすとリアフォグランプも点灯します。

⚠ 警告

リアフォグランプは晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。



エンジン回転中にオートライトで消灯してもフォグランプは点灯し続けます。リングを回して消灯してください。

フォローミーホーム（駐車時照明機能）
周囲が暗いときや夜間にイグニッションをオフにした後しばらくの間、ヘッドランプが点灯したままになります。

オート操作

マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Follow-me-home I.**をオンにして、点灯時間を設定してください。

オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

マニュアル操作

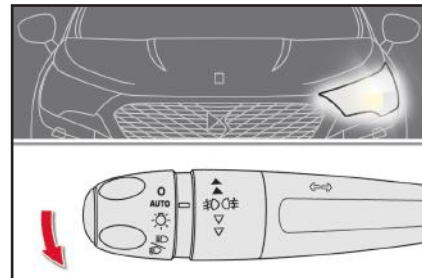
オートライトモードでないと、作動させることができます。

イグニッションをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

パーキングライト



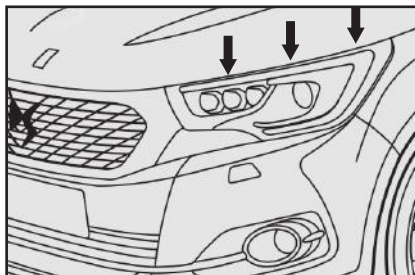
路上に停車する場合、ポジションランプを片側（走行車線側）のみ点灯させることができます。

イグニッションをオフにして、1分以内にライトスイッチレバーを点灯させたい方に操作します。警告音とともに表示灯（ウインカー）が点灯します。

レバーを戻すと、ポジションランプは消灯します。

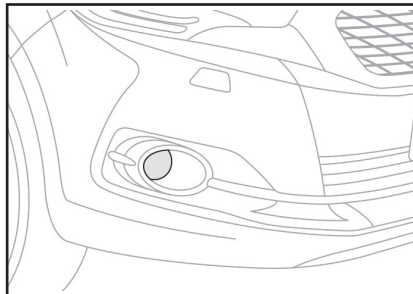
フロントライト*

DS4には、昼間走行中に点灯するフロントライトが装備されています。

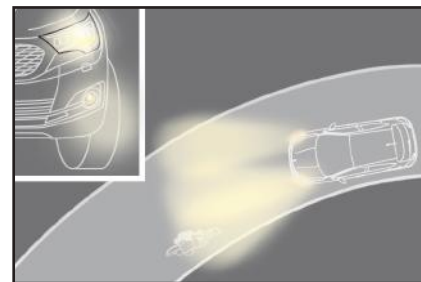


エンジンを始動するとフロントライトが点灯します。

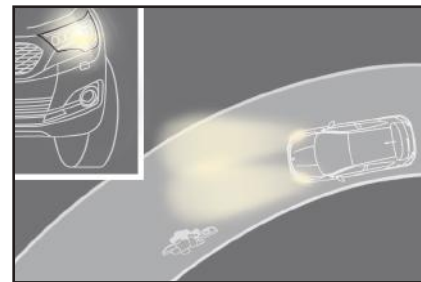
コーナリングライト



カーブの内側を照らし、交差点や駐車中の障害物を発見しやすくする機能です。時速40km以下で走行中に作動します。



作動時



非作動時

*仕様により異なります。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

作動条件

- ・ 方向指示器が作動している
- ・ ステアリングが一定の角度以上回っている

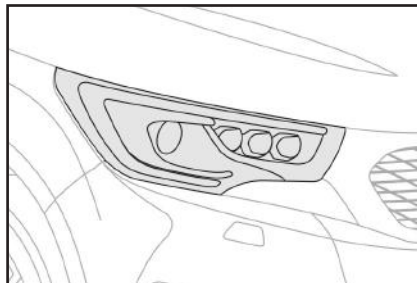
非作動条件

- ・ ステアリングが一定の角度まで回っていない
- ・ 時速40kmを超えている
- ・ シフトレバーがRに入っている

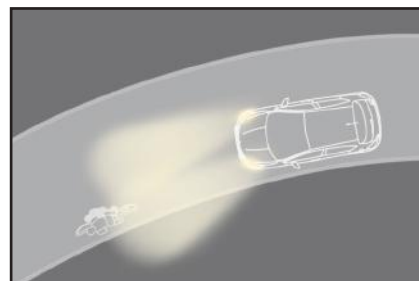
設定

マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Directional headlamps**のオン/オフを切り替えます。

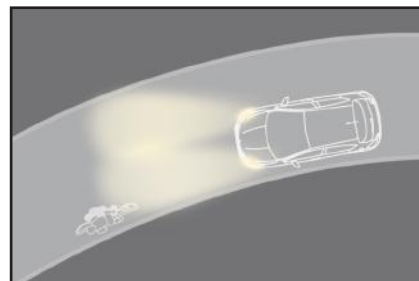
ディレクショナルヘッドライト*



ヘッドランプ点灯時、ハンドルの切れ角にしたがって、照射方向が変わり、障害物を発見しやすくする機能です。(キセノンヘッドランプ装着車)



作動時



非作動時

*仕様により異なります。

この機能のオン/オフを切り替えるときは、マルチファンクションディスプレイのメインメニューから**Directional headlamps**を選んで設定します。



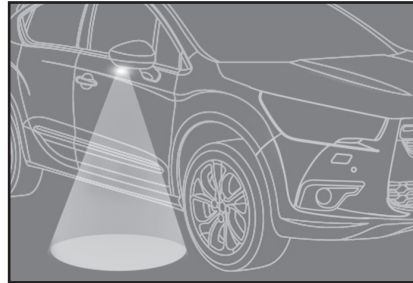
故障時には、インストルメントパネルの表示灯が点滅し、警告音とともにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。



- 停止中、低速走行中、または、リバースギアに入れたときはこの機能は作動しません。
- イグニッションをオフにしても設定は記憶されます。

エクステリアウェルカムランプ



周囲が暗いときや夜間に車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、エクステリアサイドスポットランプが点灯して乗車をサポートします。

点灯

リモコンの解錠ボタンを押します。ドアの解錠とともに、ドアミラーのエクステリアサイドスポットランプが点灯します。

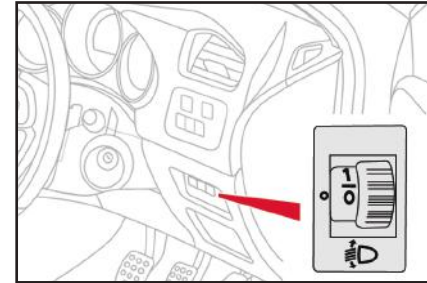
消灯

イグニッションをオンにする、またはドアを施錠してしばらくすると自動的に消灯します。

設定

マルチファンクションディスプレイで点灯時間（フォローミーホームと同じ）の設定ができます。

ヘッドライト照射角度調整*



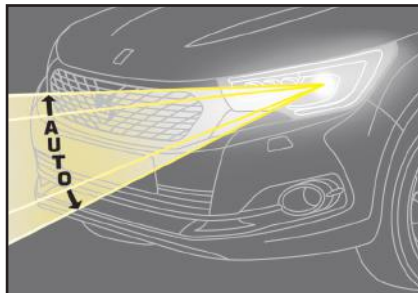
ラゲッジルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車にまぶしくないよう照射角度を下向きにしてください。

車内から調整するときの目安：

- 0 前席に1人か2人乗車したとき／初期設定
- ー 3人乗車したとき
- 1 フル乗車したとき
- 2 フル乗車で、ラゲッジルームに物を積んだとき
- 3 1人乗車で、ラゲッジルームがいっぱいするとき

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

照射角度自動調整機能*



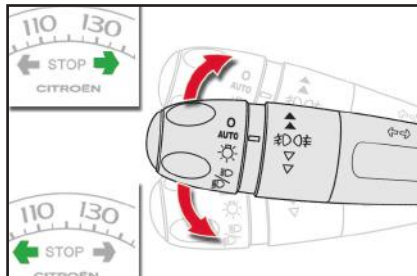
車の積載状態に応じて、ヘッドランプの照射角度を自動的に調整します。

SERVICE 自動調整機能に異常が発生した場合は、インストルメントパネルのサービス警告灯が点灯するとともに、警告音とマルチファンクションディスプレイで異常の発生を知らせます。このとき、ヘッドランプは一番下向きの位置に自動調整されます。

⚠ 注意

異常が発生した場合は、キセノンヘッドランプに触らず、当社指定サービス工場にて点検を受けてください。

方向指示器



右方向に出す場合: ライトスイッチレバーを上動かします。

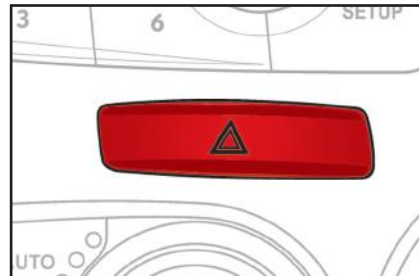
左方向に出す場合: ライトスイッチレバーを下動かします。

ハザードランプスイッチを押しているときは、方向指示器は作動しません。



- 車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして離すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。
- 時速60km以上で走行中に方向指示器を20秒以上作動させた場合、作動音が徐々に大きくなります。

ハザードランプ



START/STOPスイッチの位置に関係なくスイッチを押すと作動します。他車に緊急停車中であることを示します。

緊急制動表示灯

急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

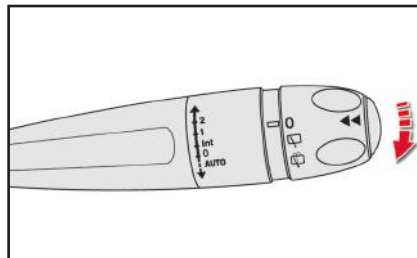


渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

*仕様により異なります。

ワイパー／ウォッシャー

フロントワイパー



ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

2 高速作動

1 通常作動

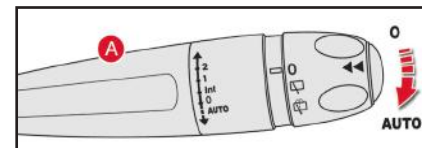
Int 間欠作動

0 停止

AUTO↓ 自動作動／1回作動

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

オートワイパー



ワイパーをAUTOモードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

作動

レバーAを押し下げると**AUTO**モードが作動します。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

解除

レバーAを再び下げると**AUTO**モードは解除されます。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。



イグニッションを1分以上オフにすると、**AUTO**モードは解除されます。

⚠ 注意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除してください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

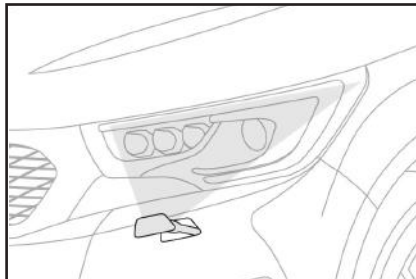
注意

- ルームミラーの裏側にある雨滴センサーを覆わないでください。
- フロントウィンドウが凍結しているときは、氷等が完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

ウィンドウウォッシャー

ワイパーレバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射され、ワイパーが数秒間作動します。

ヘッドライトウォッシャー*



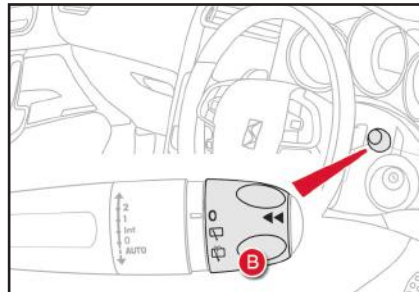
ロービーム点灯時にワイパーレバーを手前に引くと、ウィンドウウォッシャーとともにヘッドライトウォッシャーが作動します。

レベルゲージを使用して、エンジンルームのウォッシャー液タンクの量を点検してください。ウォッシャー液の量が少ない場合は、停車しエンジンを止めてから補充してください。



寒冷時には、定期的に点検することをおすすめします。

リアワイパー



リングBを回すとリアワイパーが作動します。

0

停止



間欠作動



ウォッシャー作動

*仕様により異なります。

シフトレバー連動機能

フロントワイパーの作動中にシフトレバーを**R**に入れると、リアワイパーが作動します。

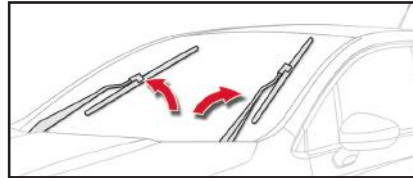
シフトレバーを**R**から変更すると、リアワイパーは停止します。

この機能のオン/オフを切り替えるときはマルチファンクションディスプレイのメニューから設定します。

MEMO

リアウィンドウに雪が積もっているときやテールゲートにキャリアを取り付けているときは、この機能をオフにすることをおすすめします。

ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. イグニッションをオフにしてから1分以内にワイパーレバーを操作するとワイパーが中央に停止します。(メンテナンスポジション)
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. イグニッションをオンにしてワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠ 警告

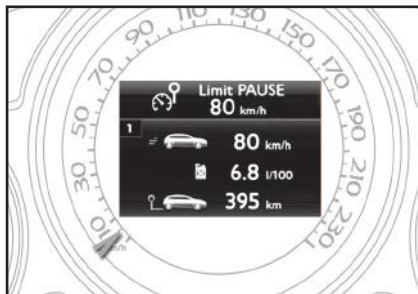
傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保された状態で走行してください。

MEMO

ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。

- ・丁寧に取り扱いってください。
- ・せっけん水で定期的に洗ってください。
- ・紙や異物を挟まないでください。
- ・ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

マルチファンクションディスプレイ



インストルメントパネル中央のマルチファンクションディスプレイでは、以下の表示に関する操作ができます。

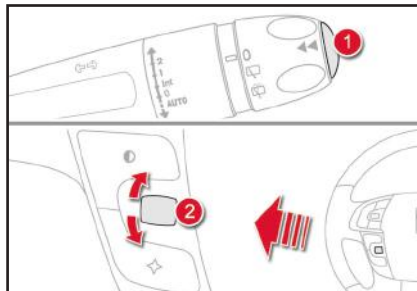
- ・ 画面表示切り替え

通常表示する画面を選択します。

- ・ カスタマイズ (各種機能設定)

車に関する機能をお好みの設定に変更します。停車時のみこの操作をすることができます。

操作方法



ワイパーレバー先端のスイッチまたはステアリングスイッチで操作します。

画面表示切り替え

スイッチ①を押す、またはスイッチ②を回して表示内容を切り替えます。

カスタマイズ (各種機能設定)

スイッチ②を操作して設定を変更します。

押す：メインメニュー呼び出し／確定

回す：項目の選択

メインメニュー

スイッチ②を押すとメインメニューが表示されます。以下の項目について設定変更可能です。

- ・ Vehicle parameters
(車のパラメーターの設定)
- ・ Display adjustment
(画面表示の設定)

スイッチ②を回して設定変更する機能を選択し、スイッチ②を押して確定します。



走行中はメインメニュー表示およびカスタマイズ設定を行うことはできません。メインメニュー表示中に一定速度を超えると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

表示メッセージ一覧(カスタマイズ)

Vehicle parameters(車のパラメーター
の設定)

サブメニュー	設定項目	
Access to the vehicle リモコンでロックを解除するドアの設定ができます。	Unlocking boot only ボックスにチェックすると、テールゲート解錠ボタンを押すと、テールゲートのみが解錠されます。 OK を選択して確定すると変更が有効になります。	Plip action All doors =すべてのドア Driver =運転席ドアのみ OK を選択して確定すると変更が有効になります。
Driving assistance 運転をサポートする機能の設定ができます。	Speeds memorised ボックスにチェックすると、クルーズコントロール/スピードリミッターの速度設定の際、登録した速度を呼び出すことができます。 ・速度は40~180km/hの間で登録することができます。 OK を選択して確定すると変更が有効になります。	Rear wipe in reverse gear ボックスにチェックすると、リバース時にリアワイパーが作動します。 OK を選択して確定すると変更が有効になります。
Lighting ライト類の作動の設定ができます。	Follow-me-home I. ボックスにチェックすると、フォロミーホームがオンになります。 ・点灯時間を15秒、30秒、60秒から選びます。 (インテリア/エクステリアウェルカムライトの点灯時間にも連動しています。) OK を選択して確定すると変更が有効になります。	Directional headlamps ボックスにチェックすると、ディレクショナルヘッドライトとコーナリングライトが作動します。 OK を選択して確定すると変更が有効になります。

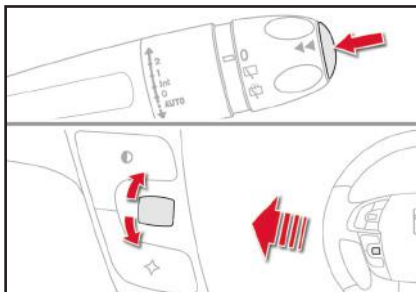
メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

Display adjustment (画面表示の設定)

サブメニュー	設定項目												
Choice of language (表示言語の設定)	希望する言語を選び、スイッチを押して確定します。 日本語の選択はできません。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。 <table><tr><td>DEUTSCH: ドイツ語</td><td>POLSKI: ポーランド語</td></tr><tr><td>ENGLISH: 英語</td><td>PORTUGUES: ポルトガル語</td></tr><tr><td>ESPANOL: スペイン語</td><td>PORTUGUES-BRASIL: ポルトガル語 (ブラジル)</td></tr><tr><td>FRANCAIS: フランス語</td><td>TURKCE: トルコ語</td></tr><tr><td>ITALIANO: イタリア語</td><td>簡体中文: 中国語 (簡体字)</td></tr><tr><td>NEDERLANDS: オランダ語</td><td></td></tr></table>	DEUTSCH : ドイツ語	POLSKI : ポーランド語	ENGLISH : 英語	PORTUGUES : ポルトガル語	ESPANOL : スペイン語	PORTUGUES-BRASIL : ポルトガル語 (ブラジル)	FRANCAIS : フランス語	TURKCE : トルコ語	ITALIANO : イタリア語	簡体中文 : 中国語 (簡体字)	NEDERLANDS : オランダ語	
DEUTSCH : ドイツ語	POLSKI : ポーランド語												
ENGLISH : 英語	PORTUGUES : ポルトガル語												
ESPANOL : スペイン語	PORTUGUES-BRASIL : ポルトガル語 (ブラジル)												
FRANCAIS : フランス語	TURKCE : トルコ語												
ITALIANO : イタリア語	簡体中文 : 中国語 (簡体字)												
NEDERLANDS : オランダ語													
Choice of units (単位の設定)	表示の単位の設定ができます。 ・燃費表示では、100kmあたりの消費量、1ガロンあたりのマイル数、1リッターあたりのkm数から選びます。 ・温度は摂氏と華氏を選択できます。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。												
Colour settings (画面配色の設定)	画面表示の配色が変更できます。 ・Techno black、Black、Orange ray、Blue flame、Toffeeから選択できます。 OKを選択して確定すると変更が有効になります。												

ドライブコンピューター

コントロールスイッチ

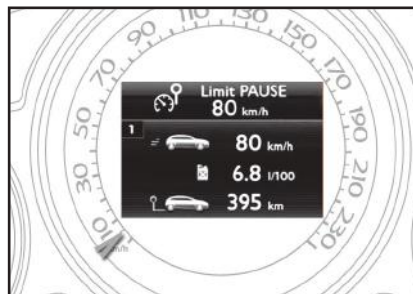


ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチまたはステアリングスイッチを操作することにより、燃費や走行距離の情報を切り替えて表示します。

ルートの選択

コントロールスイッチを操作して、2つのルートの情報を切り替えて表示します。例えば、ルート1を月間の走行の平均に、ルート2を旅行用に、と使い分けます。

ドライブコンピューター表示



ドライブコンピューターは、マルチファンクションディスプレイに以下の情報を表示します。

走行可能距離	○		
瞬間燃料消費量	○		
エンジン停止時間	○		
平均速度		○	○
平均燃料消費量		○	○
走行距離		○	○



走行中に数値のかわりにーが連続して表示されるときは、当社指定サービス工場へご連絡ください。

メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

走行可能距離



タンク内に残っている燃料で、あとどのくらい走行できるかを表示します。

過去数kmに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。

走行可能距離が30km以下になると、距離の表示はされません。

燃料の補給後は、数値が100km以上になると再度表示されます。

瞬間燃料消費量



過去数秒間の燃料消費量を表示します。

ただし、車の速度が時速30km以上のときのみ作動し、表示します。

平均速度



コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

ただし、イグニッションをオンにしている状態の時間をもとに計算します。

エンジン停止時間



ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。イグニッションをオンにするたびにゼロにリセットされます。

平均燃料消費量



コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。



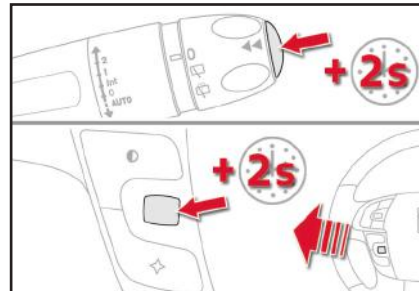
ご購入いただいてから最初の5,000kmは、カタログ等の数値より燃料消費量が大きくなることがあります。

走行距離



コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

リセット



コンピューターをリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチまたはステアリングスイッチを2秒以上押し続けます。リセットはルートごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。

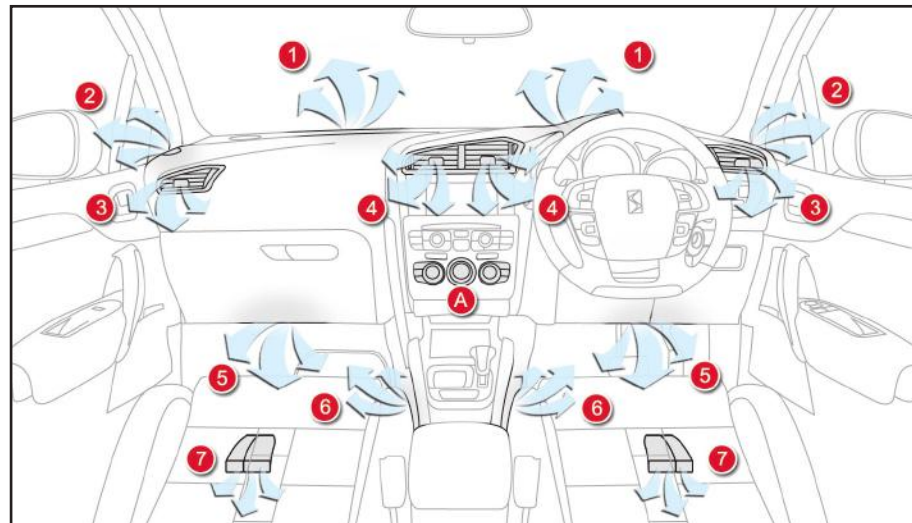
数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、当社指定サービス工場にご連絡ください。

第5章 室内装置の使いかた

エアコンディショナー	5-2
ルームランプ	5-8
インテリア	5-11
ラゲッジルーム	5-16

室内装置の使いかた

エアコンディショナー



A: 空調コントロールパネル

- ①: フロントウィンドウ吹き出し口
- ②: サイドウィンドウ吹き出し口
- ③: ダッシュボード左右吹き出し口
- ④: ダッシュボード中央吹き出し口
- ⑤: 前席足下吹き出し口
- ⑥: 前席足下吹き出し口
- ⑦: 後席足下吹き出し口

ダッシュボード中央および左右の吹き出し口には、ルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

⚠ 警告

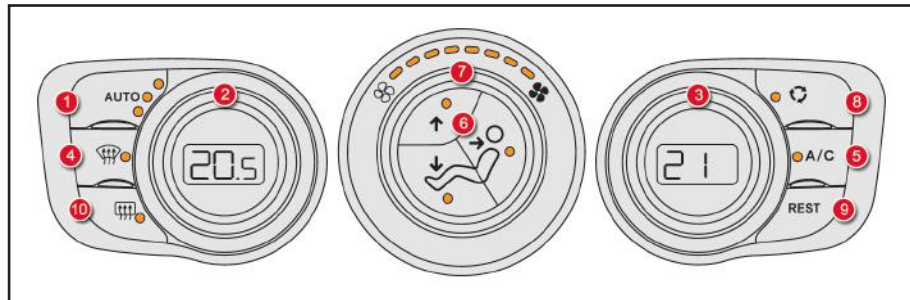
エアコンを停止させると、空気の循環が全く行なわれません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。



- 室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
 - ・室内が設定温度と差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
 - ・負荷の多いトレーラーを引くときや、外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
- 冬期のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。
- 空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
 - ・ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれてないか。
 - ・前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれてないか。
 - ・ラゲッジルーム内の空気排出口がふさがれてないか。
- ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
- エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヵ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- 長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。
吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- 室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。
- 当社のエアコンシステムにはオゾン層破壊の原因となる有害フロンを使用していません。
- エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
- 湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
- エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

室内装置の使いかた

左右独立式オートエアコン



運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。

オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切換えや風量、吹き出し口が選択されます。

5



ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。

オートモード

①：オート設定ボタン



ディスプレイの表示数値を保つよう、自動的にエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

ボタンを押して3つのモードから選択できます。モードによって、インジケータの点灯状況が以下のように変化します。

弱 = ●

中 = ●●

強 = ●●●



オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。

⚠ 注意

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

②・③：温度設定ツマミ



ツマミ②：助手席側

ツマミ③：運転席側

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。ツマミを右に回すと温度が上がります、左に回すと温度が下がります。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。

21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより18～24の間を設定してください。



左右の温度設定の差が3以上にならないように設定してください。

④：視界確保モードボタン



天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。このようなときにボタンを押すとインジケータが点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン/オフ、内気/外気の切換えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。

このモードを解除するときは再度ボタンを押すか、オート設定ボタン①を押します。インジケータが消灯し、オート設定ボタン①のインジケータが点灯します。

 警告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアルモード

オートモードで設定された条件は個々に変更できます。

変更した条件を元に戻すときは、オート設定ボタン①を押すとオートモードになります。



温度を最高に設定したいときは、ディスプレイにHIが表示されるまでツマミを右に回し、最低に設定したいときは、LOが表示されるまでツマミを左に回します。

室内装置の使いかた

⑤：エアコンオン／オフボタン



このボタンを押すとエアコンは停止します。エアコンを作動させるには、再度ボタンを押します。インジケータが点灯してエアコンが作動します。

⑥：室内送風切換えボタン



1つまたは複数のボタンを組み合わせて、お好みの吹き出し口を選択します。

- ・ 上段 = フロントウィンドウ、サイドウィンドウ
- ・ 中段 = ダッシュボード中央・左右吹き出し口
- ・ 下段 = 足下

⑦：風量調整ツマミ



ツマミを右（時計方向）に回すと風量が増加し、左（反時計方向）に回すと減少します。ファンマークの間のインジケータが操作に合わせて点灯します。



風量調整ツマミ⑦を左（反時計方向）に回してインジケータが消灯するとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。再度エアコンの操作を行うと、エアコンが作動します。

⚠ 注意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑧：内／外気切換えボタン



外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使います。ボタンを押して、内気循環モードと外気モードを切換えます。内気循環モードに切換わるとインジケータが点灯します。

⚠ 警告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

⑨：RESTボタン



エンジンが回転していなくても数分間送風を維持し、車内を快適に保つ機能です。

ディスプレイが表示している間、REST機能を作動することができます。

イグニッションをオンにした場合

RESTボタンを押すと、REST機能が作動して数分間送風を行います。

作動中は、ディスプレイに“—”が表示され、風量レベル4が点灯します。

ディスプレイの点灯中は、何度でもオン／オフができます。送風が終了するとディスプレイの表示も消えます。

イグニッションをオフにした場合

エンジンを停止しても、ディスプレイが点灯している間は、REST機能を作動することができます。RESTボタンを押すとREST機能が作動して数分間送風を行います。

作動中は、ディスプレイに“—”が表示され、風量レベル4が点灯します。

車両を施錠しても、REST機能は終了しません。

送風中に再度ボタンを押すと送風が停止します。(再作動はできません。)



- REST機能は送風のみでエアコンは作動しません。温度設定、吹き出し口、風量は自動制御され、調整はできません。
- REST機能の作動時間は、バッテリーの充電状態によって異なります。

⑩：リアウィンドウデフォグガーボタン



エンジンがかかっているときにボタンを押すと、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取りま

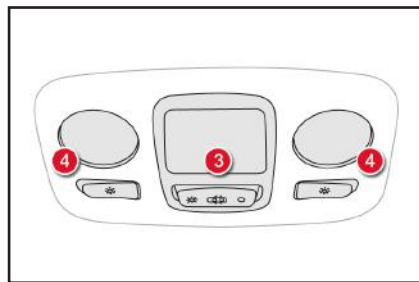
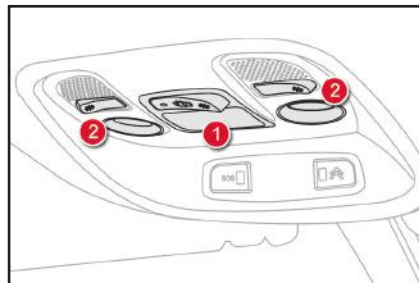
す。スイッチは自動的に切れます。

途中で止めたいときは、ボタンを押します。

 警告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームランプ



- ①：フロントルームランプ
- ②：フロントマップランプ
- ③：リアルームランプ
- ④：リアマップランプ

フロント／リアルームランプ

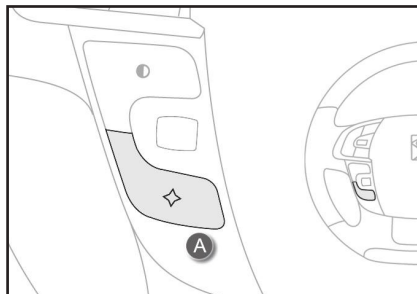
フロント／リアルームランプは、スイッチ

①③の位置を切り換えると点灯条件が変更できます。



次の状況でフロント／リア
ルームランプは点灯します。

- ・ドアのロックを解除したとき
- ・イグニッションをオフにしたとき
- ・ドアを開けたとき
- ・ステアリングスイッチAを押したとき



また、次の状況では徐々に暗くなって消灯します。

- ・ドアをロックしたとき
- ・イグニッションをオンにしたとき
- ・イグニッションがオフで、最後のドアが閉まって30秒後



消灯したままになります。



点灯したままになります。

点灯時間は、次の状況で変わります。

- ・イグニッションをオフにして約10分間
- ・エコノミーモードで約30秒間
- ・エンジンを始動すると無制限



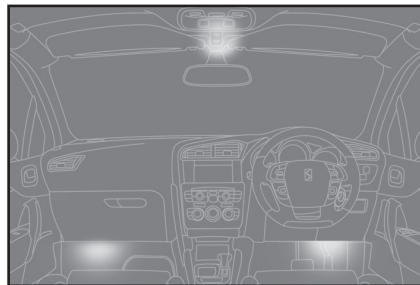
MEMO

フロントルームランプスイッチが「常時点灯」の位置にあるときは、リアルームランプスイッチが「消灯」以外の位置にある場合、リアルームランプも連動して点灯します。

フロント／リアマップランプ

イグニッションがオンのときにスイッチ②④を押すと点灯／消灯します。

インテリアウェルカムランプ



夜間に車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、ルームランプが点灯して乗車をサポートします。(日射センサーが周囲の明るさを検知します。)

点灯



リモコンの解錠ボタンを押します。ドアの解錠とともに、足元の照明とルームランプが点灯します。

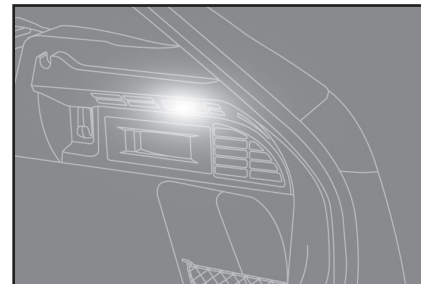
消灯

いずれかのドアを開ける、または一定時間経過すると自動的に消灯します。

設定

マルチファンクションディスプレイで点灯時間の設定ができます。

ラゲッジルームランプ



テールゲートの開閉に合わせて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。

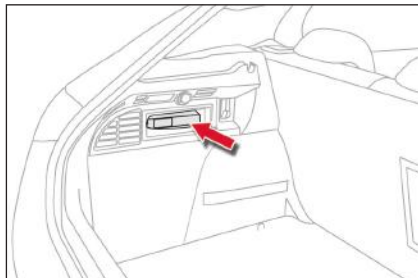
- ・イグニッションをオフにして約10分間
- ・エコノミーモードで約30秒間
- ・エンジンを始動すると無制限

注 意

ランプ類に何も物が触れないようにしてください。

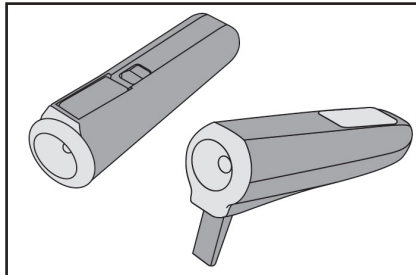
室内装置の使いかた

エマージェンシーシートーチ



ラゲッジルーム側面に、走行中に充電可能なニッケル水素充電電池タイプのエマージェンシーシートーチがあります。約45分間使用できます。

使用するとき



エマージェンシーシートーチの上部を手前に引くとハウジングからはずれます。エマージェンシーシートーチのスイッチを押してライトをオン/オフします。

格納するとき

エマージェンシーシートーチの下部から先にハウジングに戻します。ライトがオンのときは、自動的にオフになります。

注意

正しく取り付けられていないと、充電ができなかったり、テールゲートを開けたときに点灯しない場合があります。

5

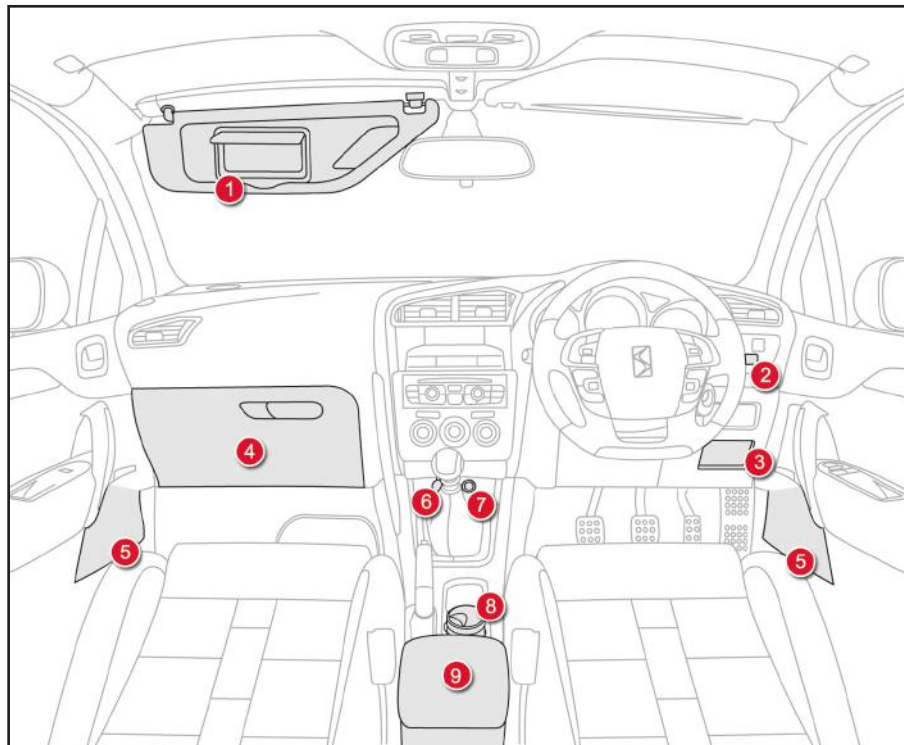
注意

- エマージェンシーシートーチを取り付けるときは、電極の位置を合わせて正しく取り付けてください。
- 充電電池の代わりに乾電池を使用しないでください。



スタンドはタイヤ交換のときなどに引き出して使用します。

インテリア

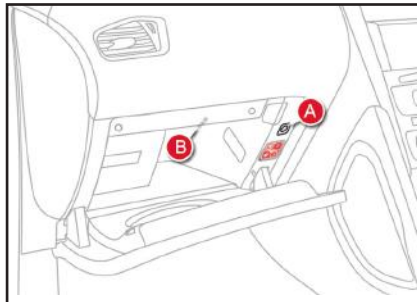


各部の名称

- ①：サンバイザー
- ②：チケット／カードホルダー*
- ③：運転席小物入れ
- ④：グローブボックス
- ⑤：ドアポケット
- ⑥：USBボックス*
- ⑦：シガーライター
- ⑧：灰皿*
- ⑨：センターコンソール

室内装置の使いかた

グローブボックス



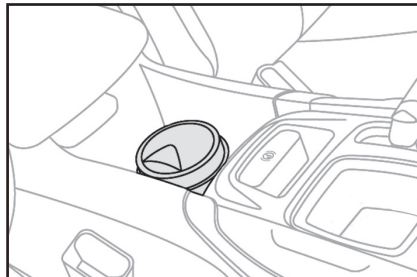
ハンドルを引くと開き、中の照明が点灯します。グローブボックス内には、助手席エアバッグキャンセルスイッチAとヒューズボックスがあります。

エアダクトBからは、エアコンと同じ冷風を導入することができます。ただし冷蔵庫の機能はありませんので飲食物の保存はできません。

⚠ 警告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

灰皿*

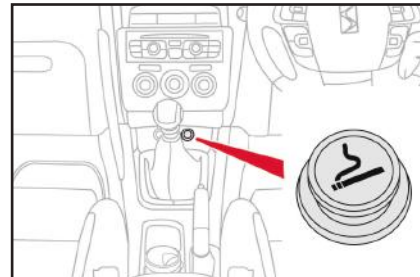


使用するときはフタを開けます。吸いがらを捨てるときは灰皿を取りはずします。

⚠ 警告

シフトレバー付近に灰皿を置かないでください。シフトレバーに干渉したり、転倒するおそれがあります。

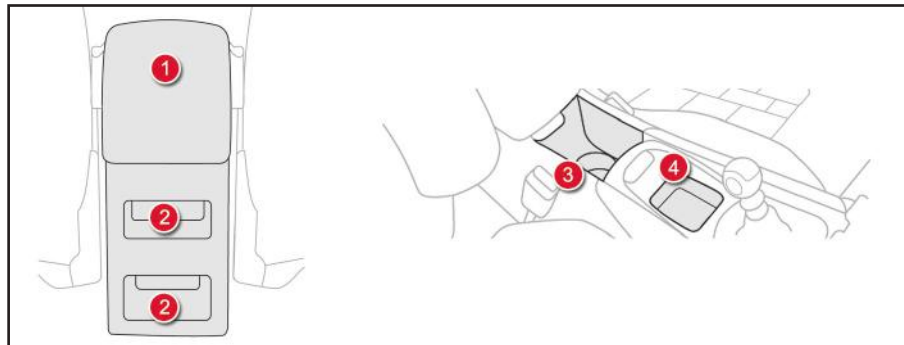
シガーライター



シガーライターは、押してから数秒間経つと自動的に飛び出します。

*仕様により異なります。

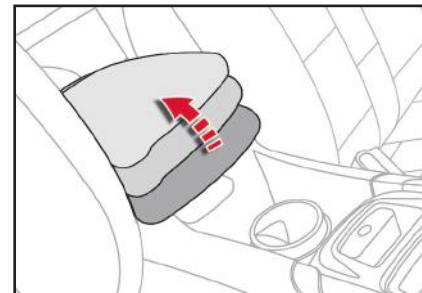
センターコンソール



- ①：フロントアームレスト
- ②：小物入れ
- ③：カップホルダー／ボトルホルダー
- ④：小物入れ*

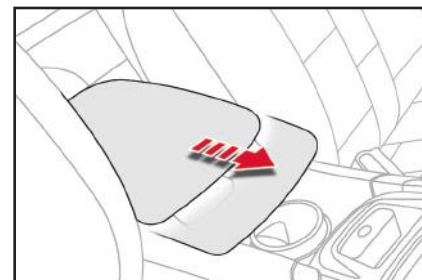
*仕様により異なります。

フロントアームレスト 高さ調整



アームレストのカバーをお好みの高さ（低／中／高）まで上げます。高位置より少し高くまでカバーを引き上げると、低位置までカバーを戻すことができます。

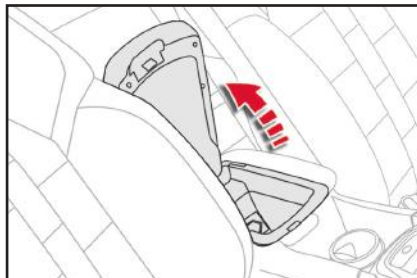
前後調整



カバーを前後へスライドさせます。

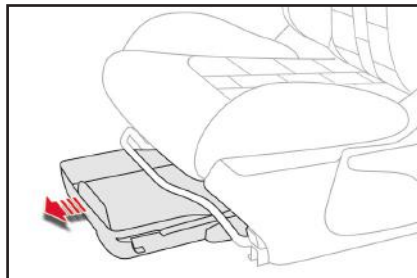
室内装置の使いかた

収納ポケット



レバーを引き上げてカバーを開けると、ポケットが開きます。

シートアンダートレイ*



助手席シートの下にトレイがあります。(手動調整タイプの場合は運転席シートの下にもあります。) 使用するときは、トレイの前端を持ち上げて引き出します。

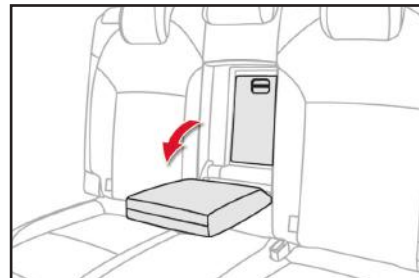
取りはずすときは

トレイをいっぱいまで引き、上方に引き上げながら取りはずします。

取りつけるときは

トレイをスライドに取りつけ、トレイ上部を押してしっかりと固定します。

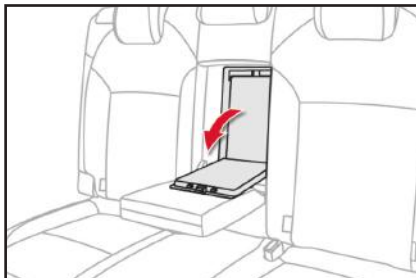
リアアームレスト*



アームレストを手前に引き下ろします。アームレストの奥にはスキーフラップがあります。

*仕様により異なります。

スキーフラップ*

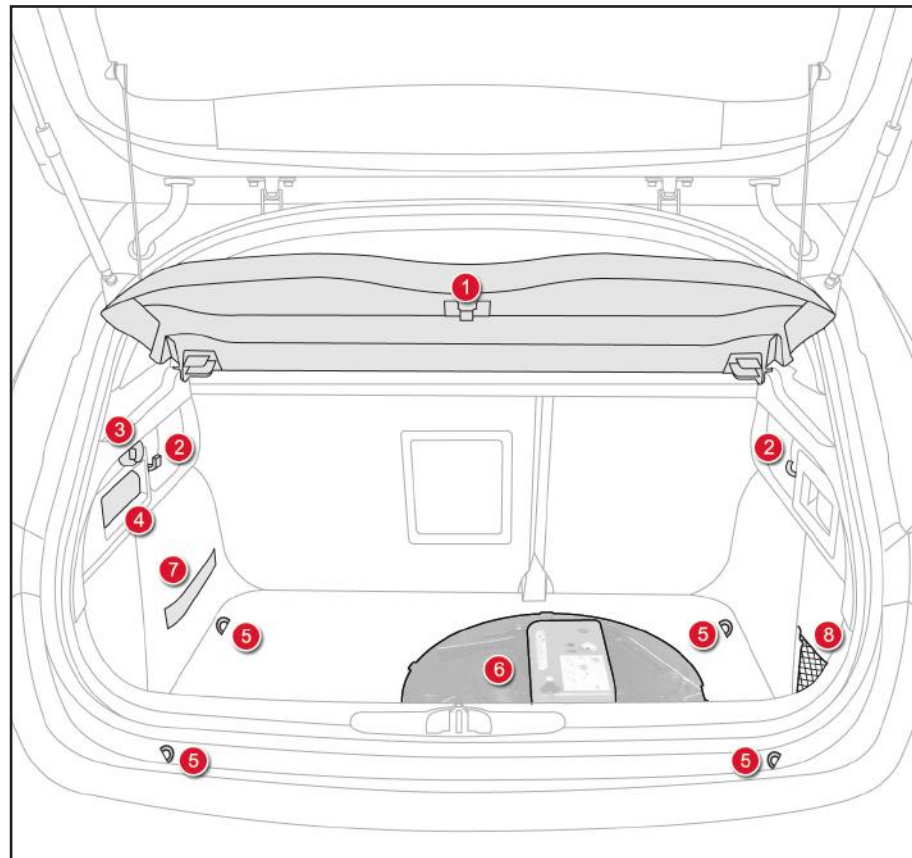


スキー板などの長い荷物を載せることができます。

1. リアアームレストを倒します。
2. ハンドルを下に引きます。
3. フラップを下げます。
4. ラゲッジルーム側から荷物を入れます。

*仕様により異なります。

ラゲッジルーム



各部の名称

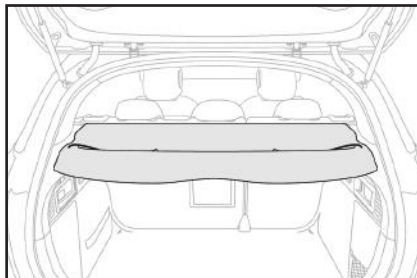
- ①：リアパーセルシェルフ
- ②：フック
- ③：12V電源ソケット
- ④：エマージェンシーシートーチ
- ⑤：固定リング
- ⑥：工具入れ
- ⑦：固定ストラップ*
- ⑧：小物入れネット*

⚠ 警告

ラゲッジルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響を及ぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

*仕様により異なります。

リアパーセルシェルフ



はずしかた

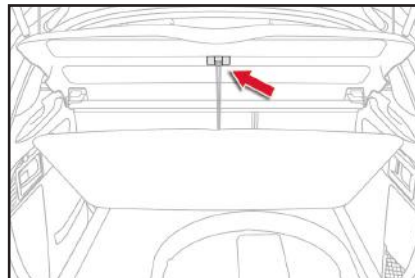
1. 2つのひもをテールゲートからはずします。
2. シェルフを少し持ち上げてはずします。



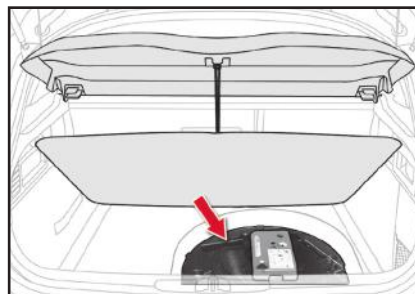
リアパーセルシェルフは、以下の場所に収納することができます。

- ・フロントシート背後へ垂直に収納
- ・ラゲッジルーム床部へ水平に収納

工具入れ

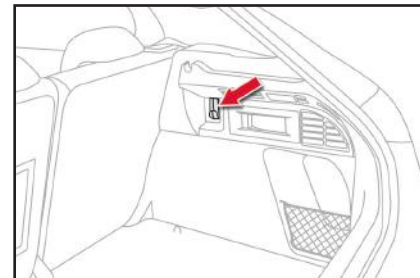


1. 中敷板を持ち上げます。
2. リアパーセルシェルフ裏側にあるフックにコードをかけて中敷板を保持します。



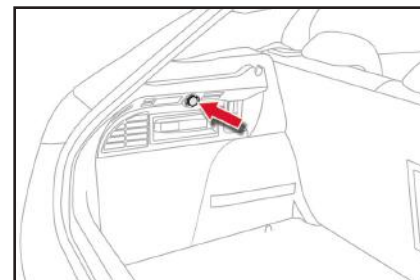
中敷板の下に工具入れが収納されています。また、スペアバルブ、救急箱、三角表示板などを収納するスペースがあります。

フック



買い物袋などを引っかけるのに便利なフックです。

12V電源ソケット



12V電源（最大120ワット）はイグニッションがオンのときに使用可能です。

第6章 お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ	6-2
内装のお手入れ	6-2
エンジンルームの点検	6-3
電球の交換	6-8
ヒューズの交換	6-14
燃費の改善について	6-18
推奨交換時期	6-19
油脂類容量	6-19
推奨油脂類	6-19
推奨点検時期	6-20

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸を含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄(手洗い)

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

内装のお手入れ

レザーシート

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。
定期的にお手入れすることをお勧めします。
清掃は、水につけてかたくしぼった布で表面を拭き、その後やわらかい清潔な布で空ぶきします。
汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

ビニール(インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング)

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
当社販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

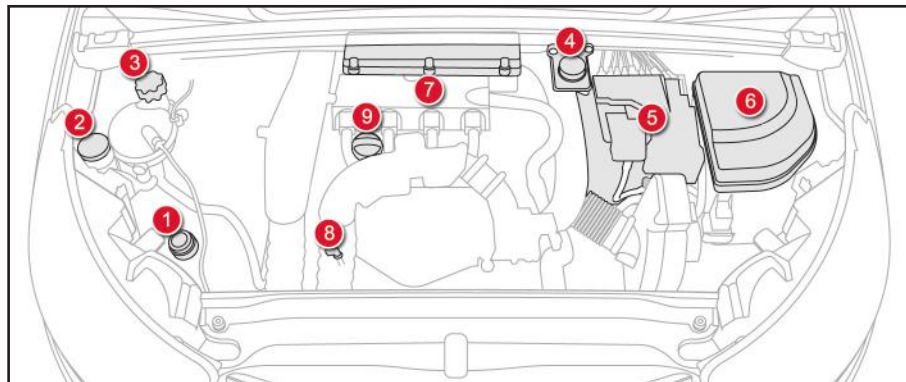
保管前に行うこと

- ・タイヤのフラットスポット(変形)を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50%ぐらい上げてください。
- ・バッテリーの端子をはずしてください。
- ・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

保管中に行うこと

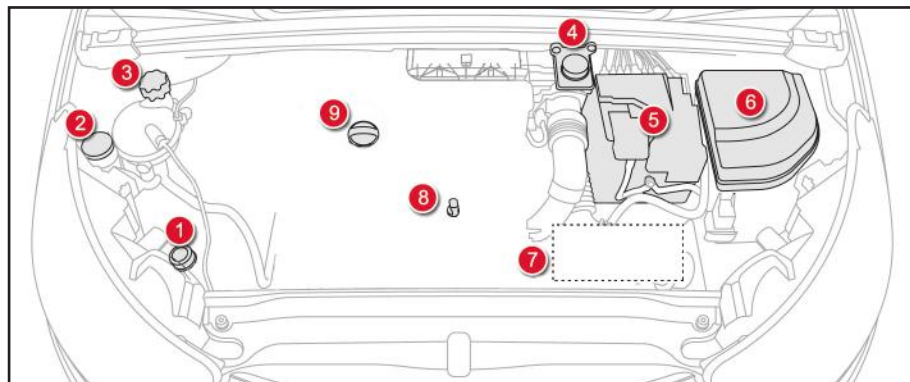
1か月に1回程度、バッテリーの端子を接続してエンジンを数分～数十分かけてバッテリーを充電してください。

エンジンルームの点検



ガソリンエンジン

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| ①：パワーステアリングフルードタンク | ⑥：ヒューズボックス |
| ②：ウィンドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャー液タンク | ⑦：エアフィルター |
| ③：クーラント（冷却水）タンク | ⑧：エンジンオイルレベルゲージ |
| ④：ブレーキフルードタンク | ⑨：エンジンオイル注入口 |
| ⑤：バッテリー／ヒューズ | |



ディーゼルエンジン

- ①：パワーステアリングフルードタンク
- ②：ウィンドウウォッシャーとヘッドライトウォッシャー液タンク
- ③：クーラント（冷却水）タンク
- ④：ブレーキフルードタンク
- ⑤：バッテリー／ヒューズ

- ⑥：ヒューズボックス
- ⑦：エアフィルター
- ⑧：エンジンオイルレベルゲージ
- ⑨：エンジンオイル注入口

⚠ 警告

- エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。
エンジンが熱いときは、イグニッションがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
- エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
- 作業手順が分らない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- エンジンが停止しているのを確認し、スマートキーを持ち出してください。また、シフトレバーをNに入れ、パーキングブレーキをかけてください。

⚠ 警告

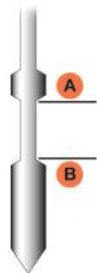
熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンやエキゾーストシステムの上に、オイル等の液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

⚠ 注意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

●エンジンオイルの点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって少しずつ消費されていきます。1000kmあたりの消費量は最大で0.5リットルです。オイルの点検はこまめに行い、必要に応じて補充してください。

A: 上限

B: 下限

オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

●エンジンオイルの補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を超えないようにしてください。補充が完了した後は、キャップの閉め忘れに注意してください。

●エンジンオイルの交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

注意

- エンジンで正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
- オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、当社純正部品のご使用をお勧めします。

お手入れ・メンテナンス

オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

交換するオイルフィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

燃料フィルター（ディーゼル車）

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

交換する燃料フィルターは、当社純正部品をご使用ください。

●冷却水の点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。冷却水の補給には、当社純正クーラントを使用してください。

⚠ 警告

ラジエーター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出し火傷の原因になります。



冷却水の交換は必要ありません。

●ブレーキフルードの量

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

●ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ペーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠ 警告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害を及ぼすことがあります。

注意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

●パワーステアリングフルードの量
当社指定サービス工場で点検と補給を受けてください。

マニュアルトランスミッションオイル

交換の必要はありませんが、60,000km走行ごとに当社指定サービス工場でのオイル量の点検を受けてください。

オートマチックトランスミッションフルード（ATF）

交換の必要はありません。

AdBlue® の補充（ディーゼル車）

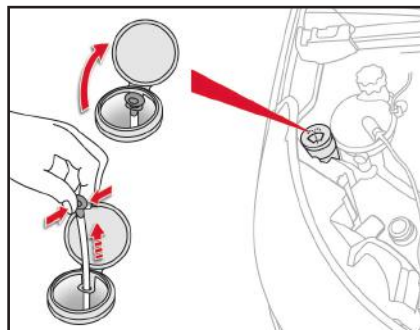
補充頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

ただし、運転の状況により消費の度合いが変わります。また、AdBlue® 警告が表示されたら、当社指定サービス工場で補充をしてください。

AdBlue® の残量がなくなると、エンジンを始動できなくなります。

ウォッシャー、ヘッドライトウォッシャー液

以下の方法でウォッシャー液の量を確認し、タンク内のウォッシャー液が少ないときは、当社の推奨品を補給してください。



1. 車を水平な場所に停め、エンジンを停止します。
2. ボンネットを開き、支柱をキャッチに固定します。
3. ウォッシャータンクのキャップをはずします。
4. レベルゲージの先端をつまんで通気孔を閉じ、ウォッシャータンクから抜き取ります。
5. レベルゲージの透明な部分で液量を調べます。

6. 必要に応じてウォッシャー液を補充します。
7. タンクのキャップを閉めて、ボンネットを閉めます。

バッテリー

特に寒冷地の使用では、冬になる前に当社指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

エアフィルター、室内フィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

市街地やほりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。交換はお近くの当社指定サービス工場にご依頼ください。

ブレーキパッド

ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

ブレーキディスク

ブレーキディスクは消耗部品です。当社指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

エレクトリックパーキングブレーキ
点検の必要はありませんが、異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 注意

環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注意

- 車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、当社が指定する部品を使用することが重要です。
- エンジン本体への高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

電球の交換

⚠ 警告

- 作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
- 電気回路を改造しないでください。

⚠ 注意

電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

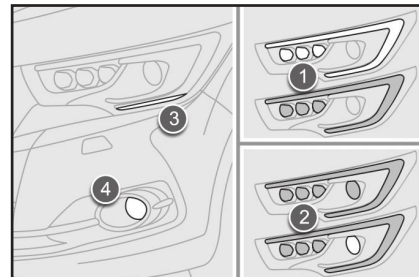


低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

注意

- 交換する電球には、油等の汚れを付けないでください。もし指紋などが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、荒い布などで強くこすらないでください。
- 高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
- 交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
- ヘッドランプを交換するときは、UVカット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズ等が損傷するおそれがあります。
- 電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。

キセノンヘッドランプ*



- ①：フロントランプ*／ポジションランプ（LED）
- ②：ハイ／ロービームヘッドランプ（D1S）
- ③：方向指示器（LED）
- ④：フロントフォグランプ（LED）

*仕様により異なります。

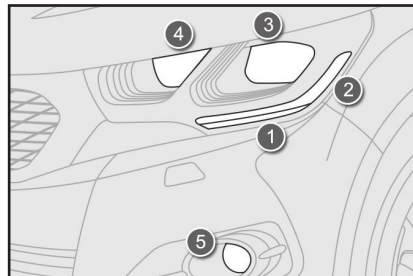
⚠ 警告

- キセノンヘッドランプバルブ(D1S)の交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。感電する可能性があります危険です。
- LEDランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

注意

キセノンヘッドランプバルブは、片側のみが切れた場合でも、左右両方交換することをおすすめします。

ハロゲンヘッドランプ*



- ①: 方向指示器 (LED)
- ②: フロントランプ* / ポジションランプ (LED)
- ③: ロービームヘッドランプ (H7)
- ④: ハイビームヘッドランプ (H7)
- ⑤: フロントフォグランプ (H11)

⚠ 警告

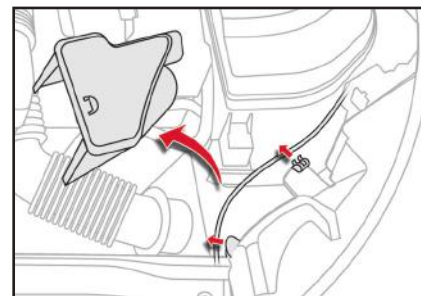
LEDランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。



バルブの根元部に突起のある、③ロービームヘッドランプ(H7)および④ハイビームヘッドランプ(H7)は、バルブが適切な向きに固定されるように正しく取り付けてください。

●交換の前に*

左側ヘッドランプのバルブ交換の前に、エアダクトおよびボンネット開放レバーのワイヤーを取りはずします。



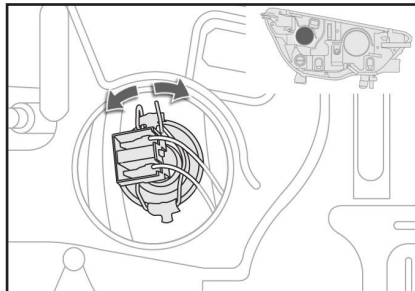
1. タブを引いてエアダクトを取りはずします。
2. ボンネット開放レバーのワイヤーをクリップから取りはずします。

注意

電球を交換した後は、エアダクトおよびワイヤーを確実に取り付けてください。

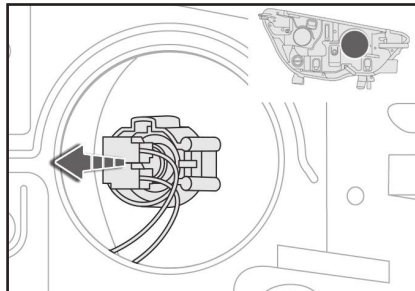
お手入れ・メンテナンス

③：ロービームヘッドランプ（H7）



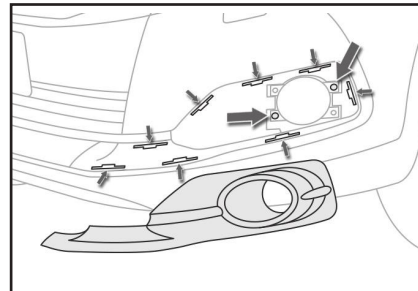
1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. コネクターをはずします。
3. スプリングを押し広げて電球をはずします。
4. 電球を交換します。

④：ハイビームヘッドランプ（H7）



1. タブを引いて、交換する電球のカバーをはずします。
2. コネクターをはずします。
3. 電球を交換します。

⑤：フォグランプ（H11）



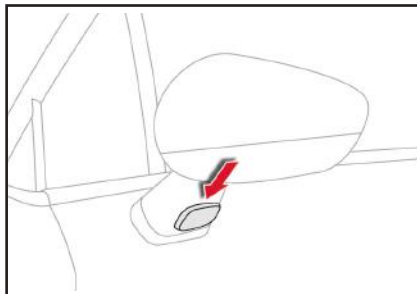
1. マイナスドライバーを矢印の位置に差し込んで、バンパーフィニッシャーを取りはずします。
2. ねじ2つをはずして、モジュールをハウジングからはずします。
3. コネクターをはずします。
4. ランプユニットを1／8回転させて引き抜きます。
5. ランプユニットを交換します。



交換ができないときは、当社指定サービス工場にお申し付けください。

*仕様により異なります。

ドアミラーウィンカー

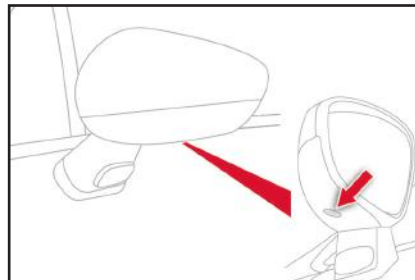


1. マイナスドライバーを矢印の位置に差し込みます。
2. マイナスドライバーを起こしてウィンカーユニットを引き抜きます。
3. ウィンカーのコネクターをはずします。
4. ランプユニットを交換します。



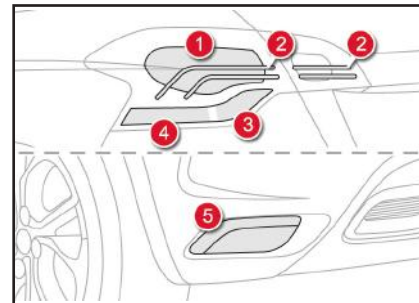
交換用ランプは、当社指定サービス工場でお求めください。

エクステリアサイドランプ(LED)



エクステリアサイドランプの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

テールランプ



- ①：ストップランプ(P21W)
- ②：ポジションランプ(LED)
- ③：方向指示灯(PY21W アンバー)
- ④：リバースランプ(P21W)
- ⑤：リアフォグランプ(P21W)

注意

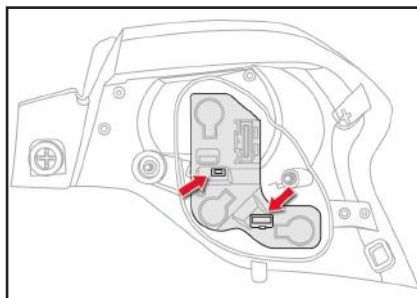
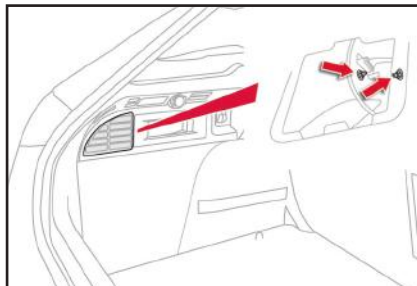
色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。



ポジションランプ(LED)の交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

お手入れ・メンテナンス

テールランプ用电球の交換



1. テールゲートを開きます。
2. テールゲート内側の格子状カバーをはずします。
3. 10mm ボックスレンチでナット 2 つをゆるめて、手でナットをはずします。
4. コネクターをはずします。

5. ランプユニットの中央を持って引きだします。
6. フォームシールをはずします。
7. ランプユニットの小さいコネクター 2 つをはずします。
8. タブ 2 つを広げてホルダーを取りはずします。
9. 電球を 1 / 4 回転させてはずして交換します。

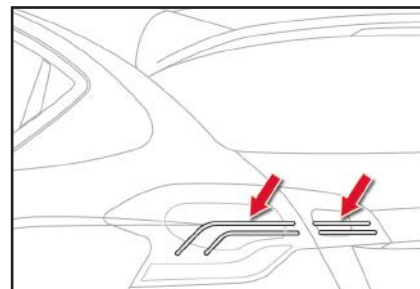
注意

電球を交換した後は、ランプユニットをガイドに固定して車体にしっかりはめ込んでください。



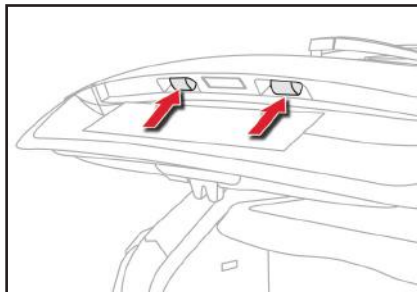
交換ができないときは、当社指定サービス工場にお申し付けください。

ポジションランプ (LED)



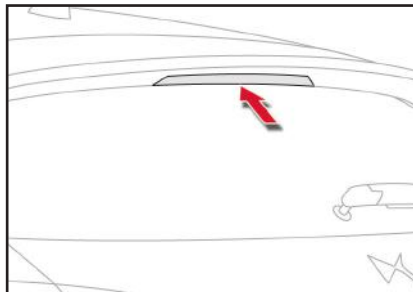
ポジションランプの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

番号灯(W5W)



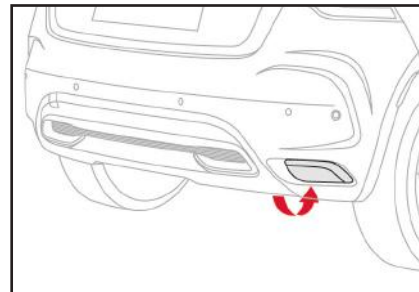
1. テールゲートを途中まで開けます。
2. マイナスドライバーの先を透明なプラスチックカバーの切り欠き部に差し込みます。
3. ドライバーでこじってランプレnzを浮かせ、ランプレnzを取りはずします。
4. 交換する電球をバルブホルダーから引き抜いて電球を交換します。
5. 戻すときは、バルブホルダーを元に戻し、ランプレnzを押してはめ込みます。

ハイマウントストップランプ (LED)



ハイマウントストップランプの交換は、当社指定サービス工場にお申し付けください。

リアフォグランプ (P21W)

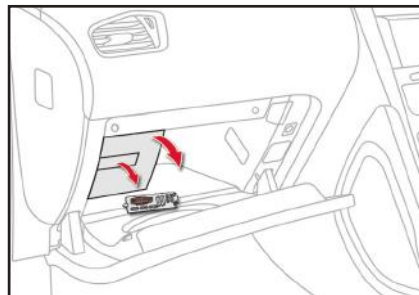


1. クリップ 1 つをはずして、アンダーカバーを取りはずします。
2. バンパーの内側からバルブホルダーを 1 / 4 回転させてはずします。
3. 電球を 1 / 4 回転させてはずして交換します。

⚠ 注意

エンジン停止後の排気管は高温になるため、バルブを交換するときは排気管に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

ヒューズの交換



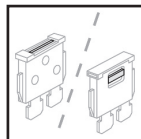
ヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内とエンジンルームにあります。

ヒューズ交換を行うときは、エンジンを停止し、すべての電気系統が停止したことを確認してください。

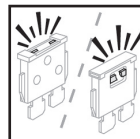
注意

交換する前に、ヒューズが不良となった原因を見つけて処置をしておいてください。正しい処置をしておかないと、再発するおそれがあります。

ヒューズは容量によって色分けされています。必ず同じ色(容量)のヒューズと交換してください。



正常なヒューズ



切れたヒューズ

警告

- 誤った容量のヒューズに交換した場合、不具合を引き起こし、火災の原因となります。
- 次の表に記載されていないヒューズの交換をした場合、車の重大な不具合を引き起こす原因となります。当社指定サービス工場へご連絡ください。

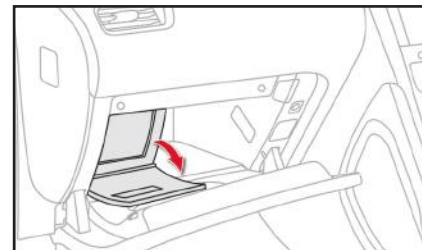
ヒューズを交換するときは、カバーに備えてある専用ピンセットを使用してください。

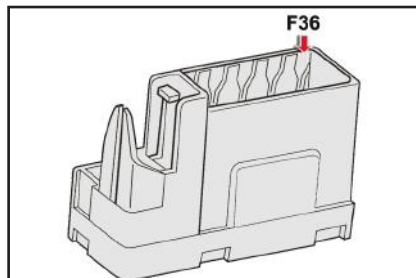
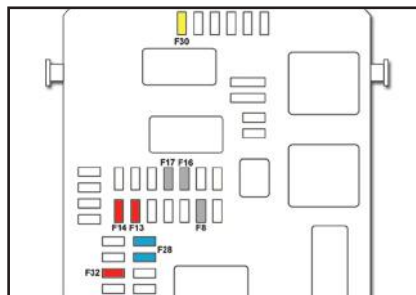


専用ピンセット

室内側ヒューズ

室内側のヒューズボックスは、助手席のグローブボックス内にあります。ヒューズを交換するときは、グローブボックスを開き、ヒューズボックスカバーの上部左右を引いてカバーを開きます。





ヒューズ位置	容量	機能 (仕様により装備が異なるため、ここでは全車に適合する表記をしています。)
F8	3A	アラーム、アラームECU
F13	10A	シガーライター
F14	10A	ラゲッジルーム12Vソケット
F16	3A	センターコンソールボックス照明、リアマップランプ、グローブボックス照明
F17	3A	サンバイザー照明、フロントマップランプ
F28	15A	オーディオ、ラジオ (アフターマーケット)
F30	20A	リアワイパー
F32	10A	HiFiアンプ
F36	15A	センターコンソールリア12Vソケット

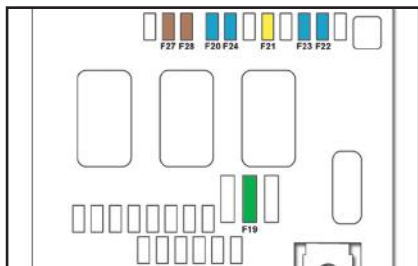
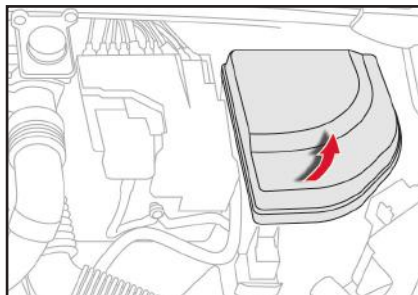
お手入れ・メンテナンス

エンジンルーム側ヒューズ

ヒューズボックスは、バッテリーの横に取り付けられています。

ヒューズを点検、交換するときは、ヒューズボックスカバーをはずします。

作業後は、カバーがきちんと掛かっていることを確認してください。



ヒューズ位置	容量	機能（仕様により装備が異なるため、ここでは全車に適合する表記をしています。）
F19	30A	フロントワイパー(低速／高速)
F20	15A	ウィンドウウォッシャーポンプ(フロント、リア)
F21	20A	ヘッドライトウォッシャーポンプ
F22	15A	ホーン
F23	15A	右ハイビームヘッドランプ
F24	15A	左ハイビームヘッドランプ
F27	5A	左ロービームヘッドランプ
F28	5A	右ロービームヘッドランプ

⚠ 注意

車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。

当社では、当社が供給や推奨していない、10mA以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。

エンジンルーム内ヒューズボックスにある大容量ヒューズには手を触れないでください。

整備が必要な場合は、必ず当社指定サービス工場に依頼してください。

アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、当社指定サービス工場にご依頼ください。

注意

ヒューズボックス内に水が入ると、電気系統が故障する原因になります。次のことに注意してください。

- ・ヒューズボックスカバーを正しく取り付けてください。
- ・ヒューズボックス内に水などの液体をこぼさないでください。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費を良くするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

エンジンコンディション

主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

エアフィルター

フィルターがつかるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

積載物

ラゲッジルームに不用な積載物が積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。必要がなくなったら速やかに取りはずしてください。

タイヤ

交換するときは、現車と同一サイズで当社が推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。

運転方法

エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。

運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。

走行中はなるべく高いギアを選択し、一定のスピードを保つようにしてください。走行速度が上がると燃費も悪化します。法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。

エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。

あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または20,000kmごと
オイルフィルター	1年または20,000kmごと
ブレーキフルード	2年または60,000kmごと
エアフィルターエレメント	2年または40,000kmごと
スパークプラグ	2年または40,000kmごと
室内フィルター	1年または20,000kmごと
燃料フィルター（ディーゼル車）	4年または20,000Kmごと

●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO FIRST OW-30）を使用した場合です。

●AdBlue® 補充頻度について（ディーゼル車）

AdBlue® の補充は、1年または10,000Km ごとに当社指定サービス工場で行ってください。

油脂類容量

エンジンオイル	4.25リットル (オイルフィルター内0.25リットルを含む)
---------	------------------------------------

推奨油脂類

エンジンオイル

TOTAL QUARTZ INEO FIRST
(OW-30)

ブレーキフルード

DOT4 (DOT4)

クーラント

GLYSANTIN G33

注 意

ターボエンジン車には、必ず指定されたオイルのみを使用してください。

お手入れ・メンテナンス

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

タイミングキットおよびクーラントポンプの点検	100,000Km ごと
補機ドライブベルトキットの点検	初回 3 年、次回から 2 年ごと
クーラント PH の点検	初回 3 年、次回から 2 年ごと

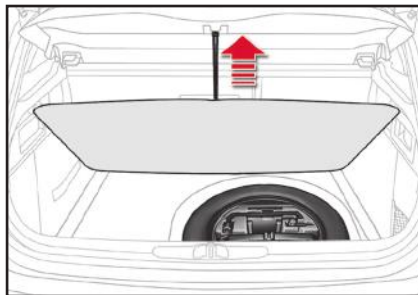
もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換	7-2
パンク修理キット	7-6
バッテリーが上がったとき	7-12
けん引されるとき	7-15
AdBlue [®] （尿素水）の補充（ディーゼル車）	7-17
燃料切れしたとき（ディーゼル車）	7-18

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換

●スペアタイヤと工具の位置

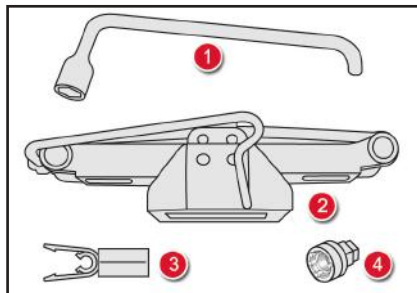


スペアタイヤ、ジャッキ、および工具は、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

●工具の取り出し

1. 中敷板を引き上げ、吊りひもをリアシェルフのフックに引っかけて保持します。
2. スペースセーバータイヤ装備車は、スペースセーバータイヤを持ち上げ、下にある収納ボックスから工具を取り出します。

ジャッキと工具



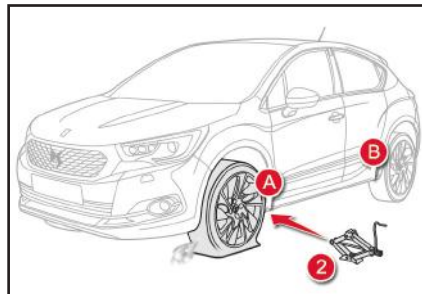
- ①：ホイールレンチ
②：ジャッキ
③：専用ピンセット*
④：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*

スペースセーバータイヤ*

スペースセーバータイヤはラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

*仕様により異なります。

●ホイールの取りはずし



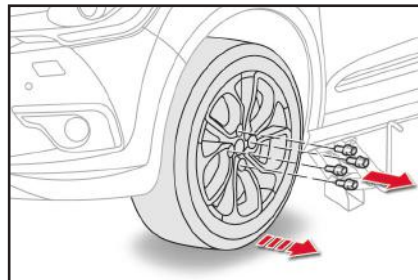
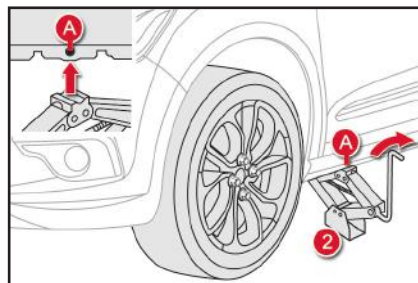
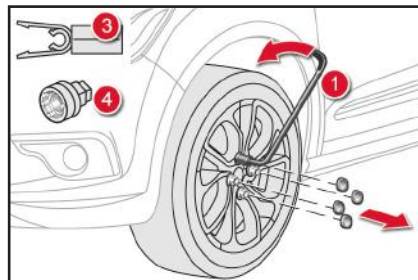
固く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。

エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認し、シフトレバーを**1速**（マニュアル車）または**P**（オートマチック車）の位置に入れてイグニッションをオフにします。インストルメントパネルのブレーキ警告灯が点灯していることを確認します。

取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、市販の輪止めを当てます。ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ①の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。

*仕様により異なります。

手順



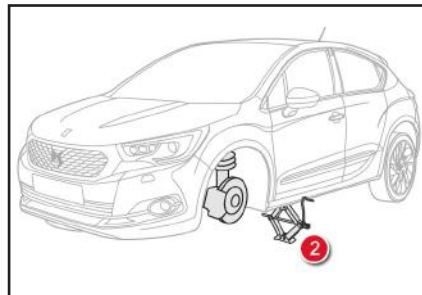
1. 専用ピンセット③を使用して、ボルトカバーをはずします。*
2. ホイールレンチアダプター④をホイールレンチ①に取り付けて、盗難防止ボルトをゆるめします。*
3. ホイールレンチ①で他のボルトを少しゆるめします。
4. ジャッキ②を車の下側フレーム **A** 部分（リアは **B** 部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキが **A**（もしくは **B**）に確実に収まっていることを確認します。
5. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
6. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
7. ホイールをはずします。

注意

プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

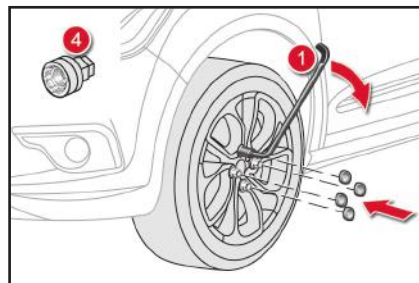
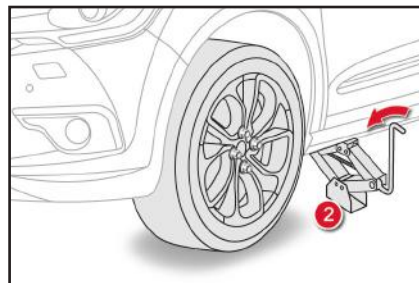
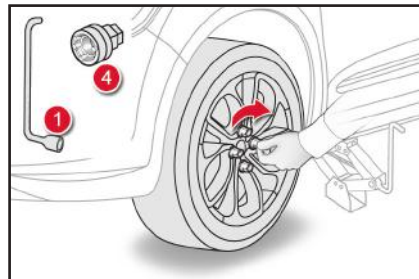
もしものとき

●タイヤの取り付け



ホイールボルトの締め付けトルクは
10daNm(約9.5kgm)です。

手順



1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. 盗難防止ボルトをホイールレンチアダプター④を取り付けたホイールレンチ①で軽く締めます。*
4. 他のボルトをホイールレンチ①で軽く締めます。
5. ジャッキ②を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。
6. ホイールレンチアダプター④を取り付けたホイールレンチ①で盗難防止ボルトをしっかりと締めます。*
7. 他のボルトをホイールレンチ①を使ってしっかりと締めます。
8. はずしたボルトカバーをそれぞれのボルトに取り付けます。*

*仕様により異なります。

●タイヤの格納

スペースセーバータイヤ*

1. 工具を収納ボックスに戻します。
2. タイヤを入れます。
3. 中敷板を戻します。



スペースセーバータイヤは、取りはずしたタイヤとサイズが異なるため、タイヤを格納すると、中敷板は平らに取り付けられません。

⚠ 警告

- ジャッキアップするときは、必ず輪止めを使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
- ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジが緩み、タイヤがはずれるおそれがあります。
- ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
- ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジンの振動により、ジャッキが外れるおそれがあります。
- 指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキが外れるおそれがあります。
- スペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。

⚠ 注意

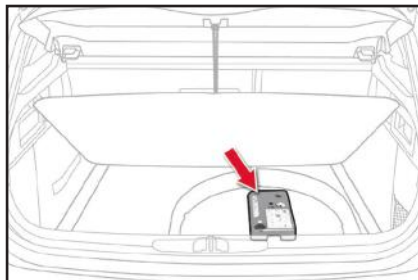
- タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響を及ぼします。
- スペースセーバータイヤの空気圧は420kPaです。定期的に点検してください。また、このタイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。
- スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
- 搭載されているジャッキやレンチ、スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用しないでください。

*仕様により異なります。

もしものとき

パンク修理キット*

●パンク修理キットの場所

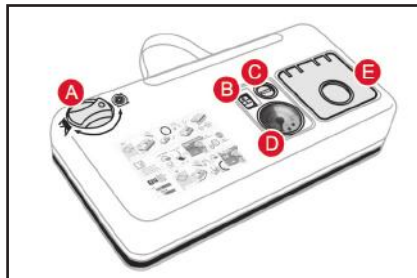


パンク修理キットは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。

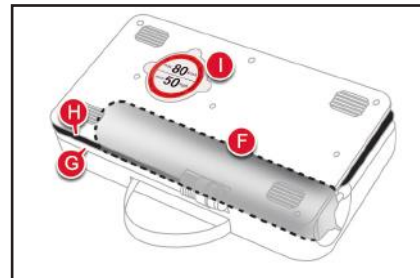


- パンク修理キットは当社販売店で買い求めいただけます。
- タイヤのトレッド部またはショルダー部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- 修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

各部の名称



- A. 「SEALANT」／「AIR」切り替えノブ
- B. オン「I」／オフ「O」スイッチ
- C. 減圧ボタン
- D. 空気圧計(bars/p.s.i)
- E. 収納ボックス
 - ・ケーブル(12V電源ソケットアダプター)
 - ・各種コンプレッサーアタッチメント



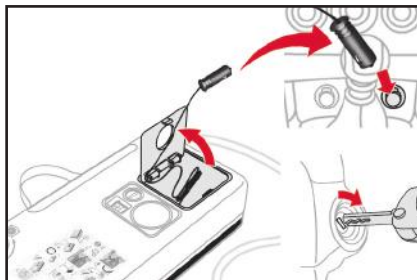
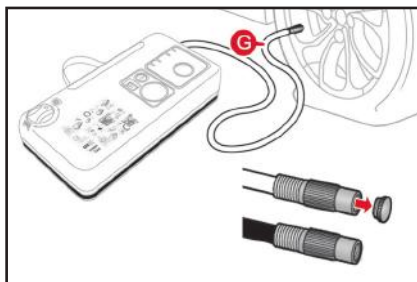
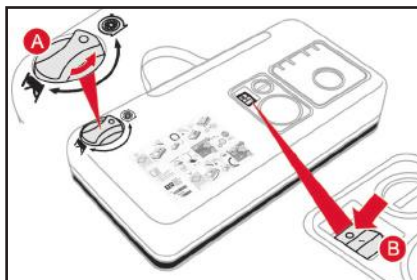
- F. 修理剤カートリッジ
- G. 白いホース(修理用)
- H. 黒いホース(コンプレッサー用)
- I. 注意ステッカー

⚠ 警告

- パンク修理キットで修理した後は、ケースに貼付されている注意ステッカーをステアリングホイールに必ず貼り付けてください。
- パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速80km以下**で走行してください。

*仕様により異なります。

●使いかた



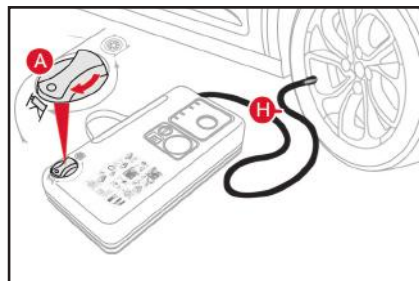
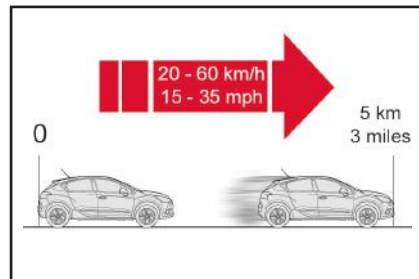
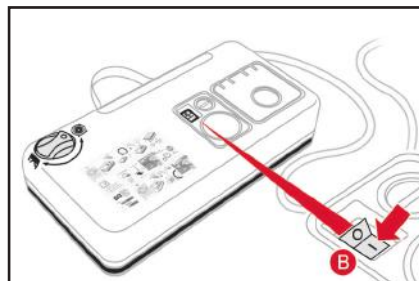
1. イグニッションをオフにします。
2. 切り替えノブ **A** を「SEALANT」に合わせます。
3. スイッチ **B** が **0** になっていることを確認します。

4. 白いホース **G** を引き出し、キャップをはずします。
5. 白いホース **G** を修理するタイヤのバルブに接続します。

6. コンプレッサーの電源コードを 12 V 電源ソケットに差し込みます。
7. ケースに貼付されている注意ステッカーをはがして、ステアリングホイールに貼り付けます。
8. エンジンを開始します。

警告

白いホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が吹き出すおそれがあります。



9. スイッチ **B** を **I** にして、空気圧を **2.0bars** まで昇圧します。

10. パンク修理キットを取りはずして白いホースにキャップを戻し、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速 **20～60km** で約 **5km** 走行します。

11. 空気圧を点検して空気の漏れがないことを確認します。

12. 切り替えノブ **A** を「**AIR**」に合わせます。

13. 黒いホース **H** を引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。

⚠ 警告

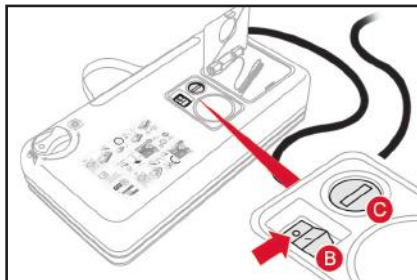
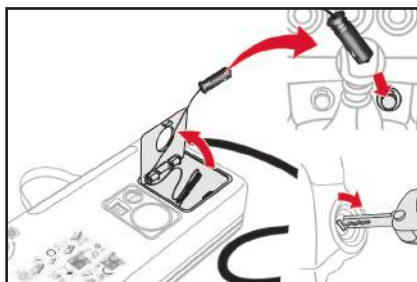
- パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中に白いホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が吹き出すおそれがあります。
- 修理剤にはエチレングリコールなどが含まれています。目や口に入らないように十分注意してください。
- パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠ 注意

5～7分以内に2.0barsまで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。



パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。



14. コンプレッサーの電源コードを 12 V 電源ソケットに差し込みます。
15. エンジンを始動します。
16. 空気圧が運転席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
 - ・ 昇圧：スイッチ **B** を **I** にする。
 - ・ 減圧：スイッチ **B** を **O** にしてボタン **C** を押す。
17. 空気の漏れがないことを確認します。
18. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
19. 時速 **80km** 以下で走行し、できるだけ早く当社指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 警告

パンク修理キットで修理した後は、約 **200km** 以上走行しないでください。できるだけ早く当社指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 注意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

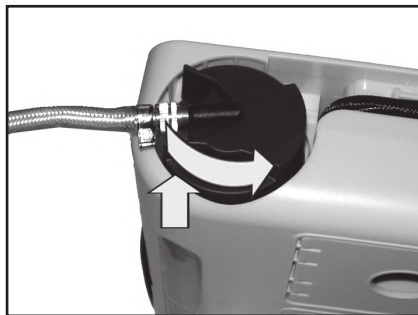
- 修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤を当社指定サービス工場でお買い求めください。
- 使用済みの修理剤カートリッジは当社指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

もしものとき

●修理剤カートリッジの交換方法

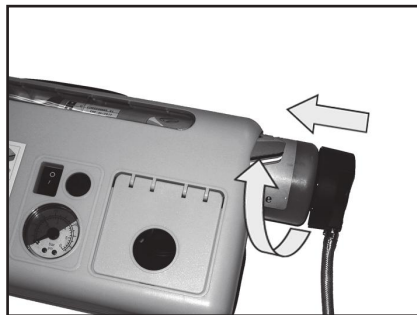
一度使用したカートリッジは、中身が残っていても再使用できません。販売店で新品のカートリッジをお求めください。

取り外し



カートリッジのホース出口を反時計方向に回すと外れます。

取り付け



新しいカートリッジのOリングの状態を確認してからケースに差し込み、時計方向に回してねじこんでください。

⚠ 注意

パンク修理剤の有効期限は、製造後約**8年**です。有効期限はカートリッジに表示されています。

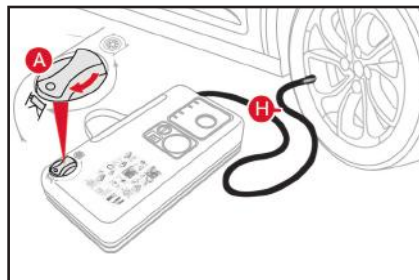
例：EXP：04/2017

Ⅱ

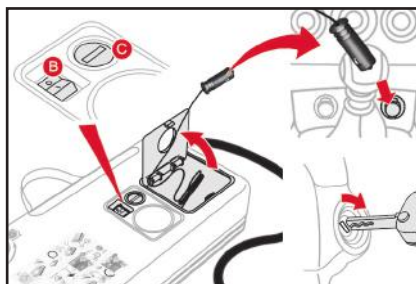
2017年4月まで

●コンプレッサーとして使用する場合／ タイヤの空気圧を点検する場合

黒いホースを使用することで、汎用のコンプレッサーとして使用できます。また、タイヤの空気圧を点検することができます。



1. 切り替えノブ **A** を「AIR」に合わせます。
2. ホース **H** をいっぱいまで引き出します。
3. 黒いホース **H** を車や自転車のタイヤのバルブに接続します。必要に応じて付属のアタッチメントを使用します。



4. コンプレッサーの電源コードを 12V 電源ソケットに差し込みます。
5. エンジンを開始します。
6. 空気圧が車や自転車の空気圧ラベルに表示されている適正值になるように調整します。
 - ・昇圧：スイッチ **B** を **I** にする。
 - ・減圧：スイッチ **B** を **O** にしてボタン **C** を押す。
7. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

もしものとき

バッテリーが上がったとき

万一バッテリーが上がってしまったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。

接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

●バッテリーの位置

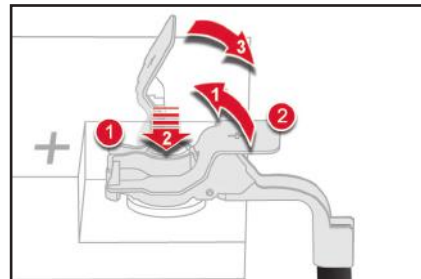


バッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。

●充電器を使用して充電

1. バッテリーの（+）ケーブルをはずし、バッテリーの端子に汚れがないことを確認します。
2. 最初に充電器のマイナス端子（-）をボディに接続し、次にプラス端子（+）をバッテリーのプラス端子（+）に接続します。
3. 充電器の取説に従って充電します。

ケーブルのはずしかた／接続のしかた

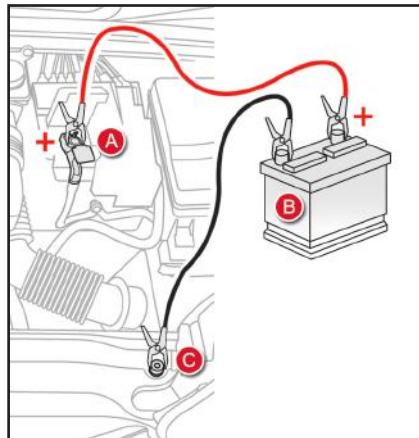


1. ロックタブ②をいっぱいまで起こします。
2. クリップ①がバッテリーのプラス端子（+）の上部に来るように位置を合わせ、クリップ①の位置がずれないように、上からバッテリーに押し当てます。
3. ロックタブ②を倒してクリップ①をロックします。

注意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

●他のバッテリーで始動



1. バッテリー **A** (上がったバッテリー)・**B** (電源を供給するバッテリー) のプラス端子 (+) を赤いケーブルで接続します。
2. 電源を供給する側の車のバッテリー **B** のマイナス端子 (-) に、黒いケーブルを接続します。
3. 未接続の黒いケーブルを、バッテリー上がりを起こした車両の車体 **C** に接続します。このとき、ケーブルはバッテリーのマイナス端子からなるべく離れた箇所に接続します。
4. スターターを回してエンジンを始動します。
5. アイドリング状態になるのを待ってからエンジンを停止し、ケーブルをはずします。

●バッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、イグニッションをオンにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。

長時間バッテリーの接続を外していたときは、つぎの機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

- ・リモコン
- ・ナビゲーションシステム

また、ストップ&スタート車では一度バッテリーの接続を外すと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。

注意

電子機器に異常を感じたら、当社指定サービス工場にご連絡ください。



お車を1ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーの接続をはずしてください。

⚠ 警告

- エンジンの回転中は、バッテリーのターミナルから車両ケーブルをはずさないでください。
- バッテリーの車両ケーブル(+)を接続したまま充電しないでください。
- アイドリング状態になる前にバッテリーのターミナルからケーブルをはずさないでください。
- ケーブルのプラス端子とマイナス端子を絶対に接触させないでください。
- バッテリーは可燃性のガスを発生しますので、バッテリーの近くでは火気を避けてください。
- バッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。
- 凍ったバッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。バッテリーが凍ったら新品と交換してください。
- 電源を供給するバッテリーは12Vのものを使用してください。

⚠ 警告

- 黒いケーブル(マイナスケーブル)を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
- ケーブルやエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

注意

- イグニッションをオフにして2分経過してからバッテリーの接続をはずしてください。
- バッテリーからケーブルをはずす前に、パワーウィンドウを閉めてください。
閉めていないと、充電後に再度の初期化が必要になります。



バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。

バッテリー上がり防止モード

バッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、バッテリーの電圧が回復した後、自動的にオンに戻ります。

エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を最大30分行います。電源が切れると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。

すぐにアクセサリを使用したいときは、エンジンを始動して数分間まわしてください。

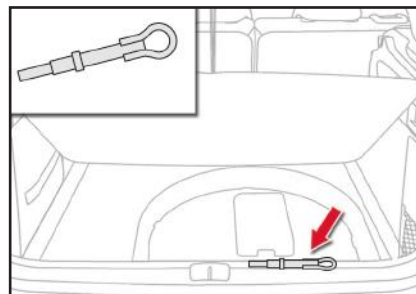
エンジンをかけていた時間の倍の間、アクセサリを使用できます。ただし、この時間は5～30分に限られます。



- バッテリーが弱っている時は、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
- バッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

●けん引ボルトの場所



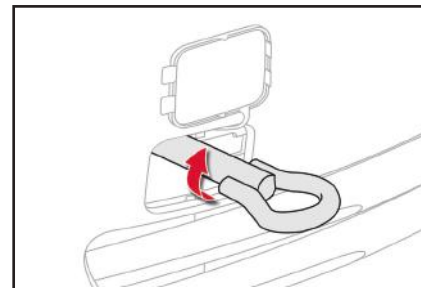
けん引ボルトはラゲッジルーム下に入っています。

●けん引について

吊り上げずに（4輪が接地した状態）けん引されるとき

けん引時は、シフトレバーをNにしてください。

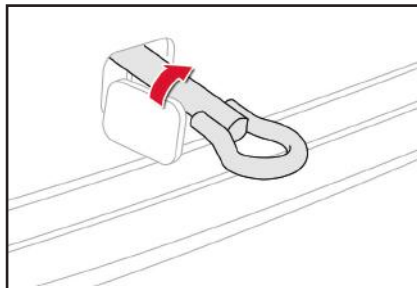
前からけん引される場合



カバーの左側を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

もしものとき

後ろからけん引される場合



カバーの上側を押してはすし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。

吊り上げて（2輪が接地した状態）けん引されるとき

けん引用の車輪に乗せて移動してください。

警告

エンジンが始動していない状態でけん引される車両は、ブレーキペダルが重く効きが悪くなっています。けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。また、パワーステアリングも作動していません。ハンドルも重くなっていますので注意してください。

注意

- 以下の場合、けん引は専門業者に依頼ください。
 - ・ 高速道路で走行中に車両が故障した。
 - ・ シフトレバーが**N**に入らない、ステアリングのロックが解除できない、またはパーキングブレーキが解除できない。
 - ・ 2輪が接地した状態でけん引される。
 - ・ この車専用のけん引ボルトが使用できない。

注意

- けん引されるときは、以下の点に注意ください。
 - ・ シフトレバーは**N**にしてください。
 - ・ シフトレバーを**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを作動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
 - ・ 50km以内の距離を、低速（時速30km以下）で移動してください。
- この車より重量の重い車両でけん引してください。
- 4輪が接地した状態で車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
- けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。
- けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

AdBlue® (尿素水) の補充 (ディーゼル車)

DS4 は AdBlue® を使用することで、排気ガス中の窒素酸化物を低減します。AdBlue® は走行すると消費され、減少します。

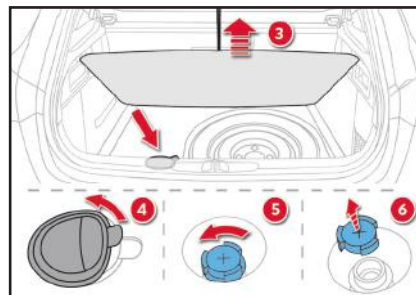
AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場にお申し付けください。



- AdBlue® の補充は、当社指定サービス工場での定期点検整備毎に行われます。
- AdBlue® は最大まで補充した状態から約 20000km 走行すると残量がなくなりますが、走行状況により、早く残量がなくなる場合があります。
- AdBlue® の残量がなくなるとエンジンを始動できなくなります。AdBlue® の補充は早めに行ってください。

緊急時にお客様がご自分で AdBlue® を補充する

AdBlue® の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなったときは、約 3.8 リットル以上の AdBlue® を補充すると、エンジンを始動できるようになります。AdBlue® タンクは、ラゲッジルームの中敷板の下に格納されています。



1. 平坦な路面で安全な場所に車を停めます。
2. エンジンを停止します。
3. ラゲッジルームの中敷板を取り外します。
4. 黒色のキャップを取り外します。
5. 青色のキャップをゆるめます。
6. 青色のキャップを取り外します。
7. 補充が終わったら、青色のキャップを締め、黒色のキャップを取り付けます。



- AdBlue® の残量がなくなった場合は、AdBlue® の補充後、約 5 分以上待ってからエンジンを始動してください。また、約 5 分以上待つ間、以下の操作は行わないでください。
 - ・ 解錠する
 - ・ 運転席ドアを開ける
 - ・ 車内にスマートキーを持ち込む
- AdBlue® の補充後は、エンジンの始動に通常よりも数秒間長くなる場合があります。
- AdBlue® は ISO 規格 (ISO 22241-1) に準拠したものを使用してください。
- AdBlue® タンクの容量は約 17 リットルです。
- AdBlue® (アドブルー) はドイツ自動車工業会 (VDA) の登録商標です。

⚠ 注意

AdBlue[®] は、無色、透明、無臭で、身体に触れても無害の尿素水溶液です。万が一目に入ったり、皮膚に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。違和感がある場合は、すぐに医師の診断を受けてください。また、誤って飲み込んでしまったときは、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

注意

- AdBlue[®] を補充するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷するおそれがあります。
 - AdBlue[®] 以外の尿素水を使用しないでください。
 - AdBlue[®] を水道水などで希釈しないでください。
 - AdBlue[®] を他の薬品と混ぜたりしないでください。
 - AdBlue[®] が車両の塗装面に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

注意

- AdBlue[®] を保管するときは次のことをお守りください。車両の部品や塗装などを損傷したり、AdBlue[®] の成分が変質して刺激臭が発生するおそれがあります。
 - AdBlue[®] を車内に放置しないでください。
 - AdBlue[®] を指定以外の容器で保管しないでください。
 - AdBlue[®] は容器を密閉し、直射日光の当たらない風通しの良い、気温が 25℃ を超えない場所に保管してください。



- AdBlue[®] は凍結しても、解凍すればそのまま使用できます。
- 使用済みの AdBlue[®] の容器は、地域条例に従って廃棄してください。

燃料切れしたとき(ディーゼル車)

燃料を補給後、以下の操作を行い、燃料系統内のエア抜きをしてください。

1. シフトレバーを **P** の位置にします。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. ブレーキペダルを踏まずに **START/STOP** スイッチを押し、イグニッションをオンにします。
4. 約 6 秒間待って、イグニッションをオフにします。
5. 手順 3 から手順 4 の操作を 10 回繰り返します。
6. エンジンを始動します。



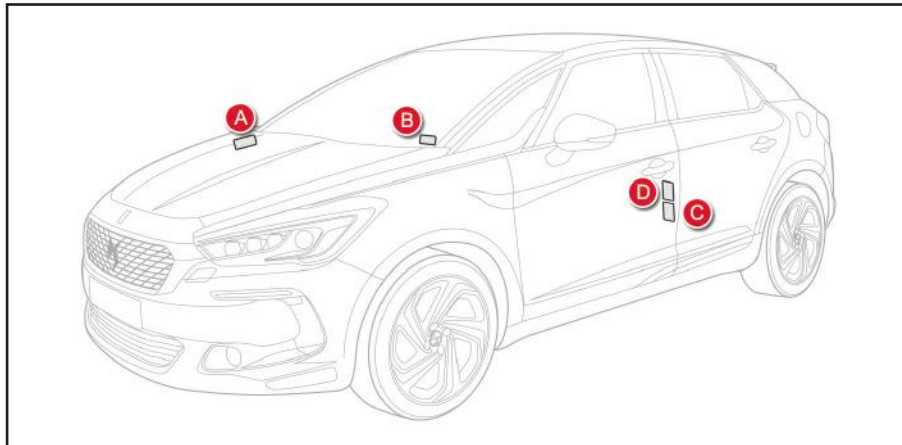
- エンジンがかからないときは、イグニッションをオフにし、再度エア抜きをしてください。
- エア抜きの操作を繰り返してもエンジンがかからないときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

車両データ・アクセサリ類・索引

識別表示	8-2
外形寸法	8-3
アクセサリ類	8-4
索引	8-5

車両データ

●識別表示



- A 車台番号(エンジンルーム内)
- B 車台番号(フロントガラス下側)
- C 認証ラベル(助手席側ピラー部)
- D タイヤ仕様と車体塗色コードラベル
タイヤとホイールサイズ、メーカー名、
適正空気圧、車体色などが記載され
たラベルが、助手席側のピラー部に
貼られています。

⚠ 注意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響を及ぼします。

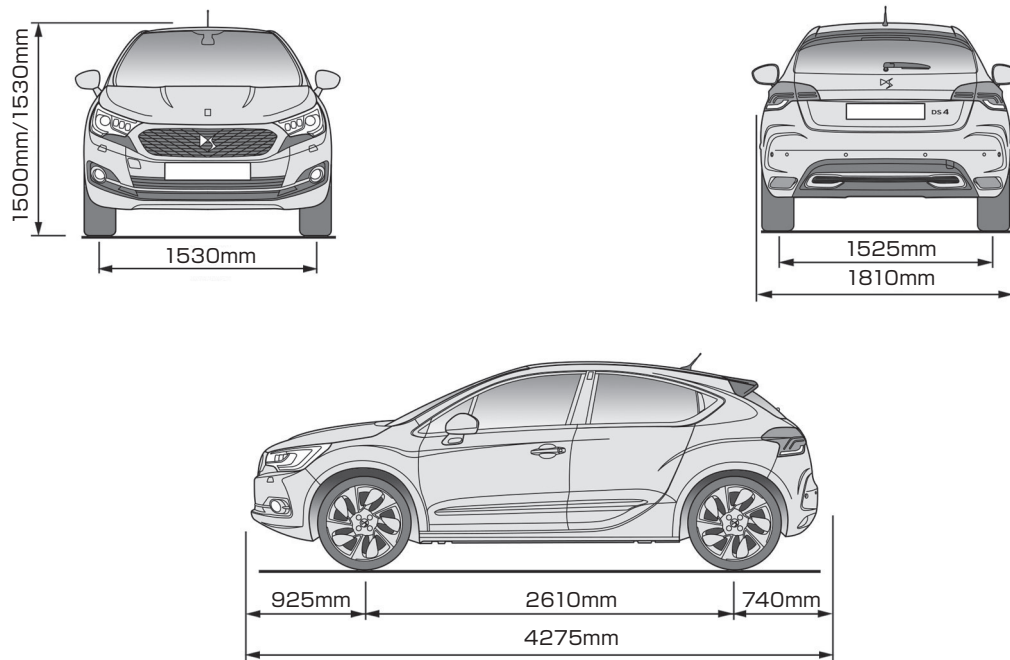
注意

- タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくは当社販売店へお問い合わせください。
- タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ず当社が指定する空気圧に調整してください。



タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

●外形寸法



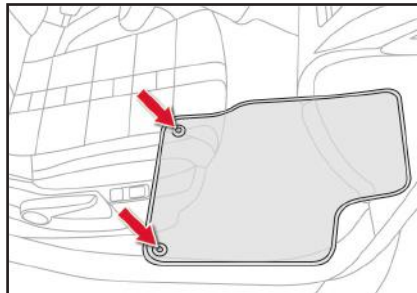
*数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリ類

アクセサリ類

アクセサリ類は、当社純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

フロアマット



取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠ 警告

- 車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。
- 当社未指定のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

数字

- 6速マニュアルトランスミッション 3-5
 12V電源ソケット 5-17

アルファベット

- ABS(アンチロックブレーキシステム) 3-16
 AdBlue® 3-19、7-17
 ASR(アンチスケーティングレギュレーション) ... 3-17
 ESC(エレクトロニックスタビリティプログラム) ... 3-17
 FAP(ディーゼルパティキュレートフィルター) ... 3-22
 ISOFIXチャイルドシート 1-16、1-17
 SCR(選択式還元触媒) システム 3-19

あ

- アクセサリ類 8-4
 アクティブランバーサポート 1-5
 イモビライザー(盗難防止システム) 2-8
 インストルメントパネル 12、4-2

- ウィンドウウォッシャー 4-27
 エアコンディショナー(エアコン) 5-2
 エアバッグ 1-18
 エアフィルター 6-7、6-18
 エコノミーモード 7-15
 エマージェンシーシートーチ 5-10
 エレクトリックパーキングブレーキ 3-9
 エンジンオイル 6-19
 エンジンオイルの点検 6-5
 エンジンの始動 3-2
 エンジン油量インジケーター 4-15
 エンジンルームの点検 6-3
 オートドアロック 2-10
 オートマチックトランスミッション 3-6
 オートライト 4-20
 オイル交換 6-5

か

外形寸法	8-3
給油	7、2-17
緊急用キー	2-9
クルーズコントロール	15、3-29
グローブボックス	5-12
警告灯	4-8
けん引されるとき	7-15
コーナリングライト	4-23
工具	7-2

さ

サービスインジケーター	4-16
サンバイザー	2-14
シートの調整	8、1-2
シートヒーター	1-4
シートベルト	1-10
識別表示	8-2
シフトポジション	3-6

シフトレバー	3-5、3-6
シフトロック	3-8
ジャッキ	7-2
使用燃料について	1-23
触媒コンバーター	1-25
助手席エアバッグキャンセルスイッチ	10、1-19
推奨交換時期	6-19
推奨点検時期	6-20
推奨油脂類	6-19
スーパードアロック	2-6
ストップ&スタート	3-23
スノーチェーン/スノーネット	1-24
スピードリミッター	15、3-32
スペアタイヤ	7-2
スマートキー	7、2-2
センターコンソール	5-13

た

タイヤ空気圧	1-23、8-2
タイヤの交換	6-18、7-2

タイヤの点検 1-23
 チャイルドシート 1-13
 チャイルドセーフティ 12、2-13
 チルトステアリング 9、3-4
 テールゲート 2-16
 ディレクショナルヘッドライト 4-24
 電球の交換 6-8
 電池の交換 (スマートキー) 2-6
 ドアミラー 10、1-6
 ドアロック 2-9
 ドライブコンピューター 4-33
 トリップメーター 4-18

は

パーキングアシスタンス 3-36
 パーキングスペースセンサー 3-35
 パーキングブレーキ 3-9
 ハザードランプ 4-26
 バックミラー 10、1-7
 パッシング 4-20

バッテリーが上がったとき 7-12
 パノラミックフロントウィンドウ 2-14
 パワーウィンドウ 10、2-11
 ヒューズの交換 6-14
 表示言語の設定 4-32
 ヒルスタートアシスタンス 3-13
 フォグランプ 4-21
 フォローミーホーム 4-22
 フュエルリッド 7、2-17
 ブラインドスポットモニター 15、3-26
 ブレーキ 3-16
 ヘッドライトウォッシャー 4-28
 ヘッドランプ 4-19
 ヘッドレスト 9、1-4、1-8
 ホーン 3-4
 保安炎筒 1-25
 方向指示器 11、4-26
 ボンネット 2-15

索引

ま

マルチファンクションディスプレイ	4-30
ミラー	1-6
モードセクター	3-7

ら

ライトスイッチ	11、4-19
ラゲッジルーム	5-16
リアシート	1-8
リモコン	2-2
ルームランプ	5-8

わ

ワイパー	11、4-27
ワイパーブレードの交換	4-29

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

オートモビル・シトロエン社の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行 **Groupe PSA Japan株式会社** 2016/08

